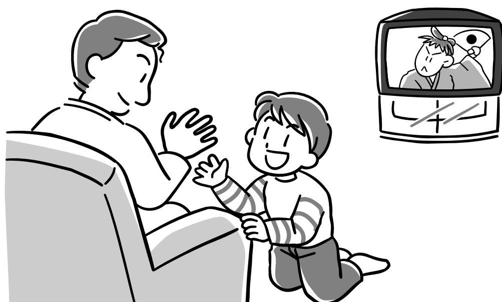
DVD ディスクの編集

録画したディスクを編集します。

• タイトルや各機能の説明に表示されている DVD RW（VRモード） DVD RW（ビデオモード） DVD R のマークは機能ごとに使えるディスクの種類を表しています。



おしらせ

• ハードディスクに録画した番組は編集できません。（再生シーン設定で再生するシーンを指定することはできます。）
• 他のDVDレコーダーで編集したディスクにチャプターマークが201以上あるときは、本機で編集（録画）の操作はできません。
• 他のDVDレコーダーでシーンの追加やシーンの消去を1タイトルあたり51回以上行ったディスクや、ディスク保護が設定されているディスクでは、編集（録画）の操作ができません。

本機はフレーム精度での編集ができません

• チャプターマークの追加やシーン消去などの編集を行った場合、編集画面と実際に編集された画面では、多少のズレが発生する場合があります。
• 他のDVDレコーダーでフレーム単位の編集をしたディスクを再生したときは、開始地点、終了地点がずれたり、ディスクナビの画面が違った画面になる場合があります。

編集を行う前に必ずお読みください

編集について

録画するモードによって編集できる内容や操作が異なります。

● VRモードで録画した場合

録画したタイトルからお好みの場面を集めてお気に入りの映像集を作ったり、不要な場面を消去するなど、本機1台で編集を行うことができます。

おしらせ

• 本機ではプレイリストの作成、編集はできません。（オリジナルのみ編集できます。）
• 他のDVDレコーダーで作成、編集されたプレイリストを再生することができます。

● ビデオモードで録画した場合

編集できる内容に制限があります。編集できる内容は、次の通りです。

• タイトル名の入力（変更）（**93**ページ）
• タイトルの消去（**100**ページ）

※ ビデオモードで録画した場合の「タイトル消去」は、再生時にそのタイトルが見えなくなるように設定するためのもので、実際に映像が消去されるわけではありません。（空き時間は増えません。ただし、ビデオモードで録画したDVD-RWで、最後に録画したタイトルを消去したときに限り、空き時間が増えます。）
※ ファイナライズ（**145**ページ）を行うと、編集はできなくなります。
※ ファイナライズするまでは、本機のみにて追加録画、編集が可能です。

編集の手順

VRモードで録画したオリジナルのタイトルを編集するときの基本的な手順。

ディスクをセットします。

▼

編集したいタイトルを選び、編集します。

• 選んだシーンを消去する（**91**ページ）
• タイトル名を入力/変更する（**93**ページ）
• タイトル内で区切りを作る（**94**ページ）
• ディスクナビの画面を変更する（**96**ページ）
• 編集・消去を不可にする（**97**ページ）
• 録画したタイトルを消去する（**100**ページ）

録画したタイトルを編集する

タイトルの「シーンの消去」「タイトル名の変更」「タイトル内で区切る」「ディスクナビのナビ画面の変更」「タイトルの保護」について、説明します。

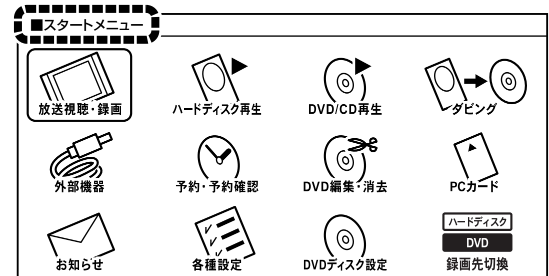


選んだシーンを消去する(シーン消去)

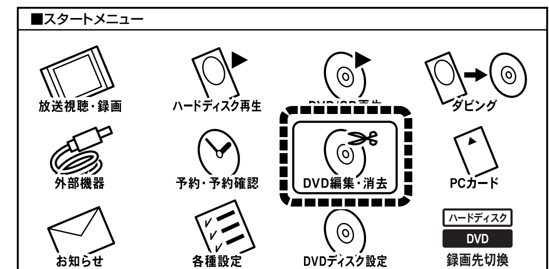
DVD RW
VRモード

- タイトル内の映像から、不要なシーンを選んで消去することができます。CMなどをカットするときに便利です。（タイトルごと消去したいときは（**101**ページ））
- ファイナライズを行ったビデオモード記録のディスクでは、編集操作ができません。

1 (スタートメニュー)を押し、スタートメニュー画面を表示する

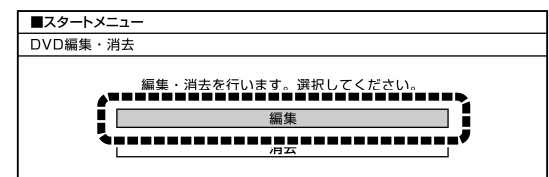


2 ▲▼◀▶で「DVD編集・消去」を選び、(決定)を押す



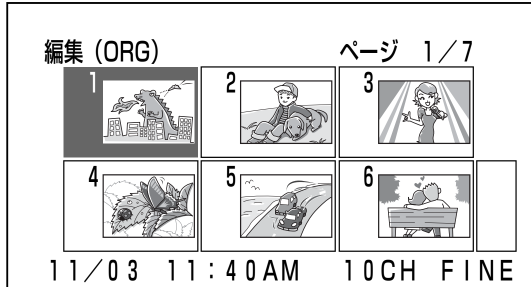
3 ▲▼で「編集」を選び、(決定)を押す

- タイトルの編集画面になります。

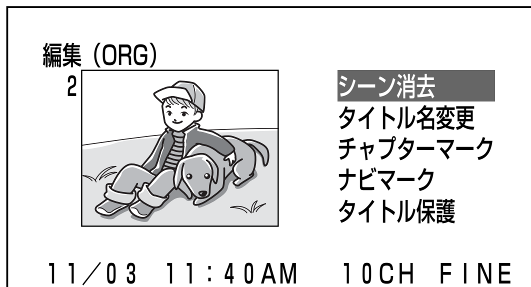


次ページの手順4へつづく

4 で編集するタイトルを選び、(決定)を押す

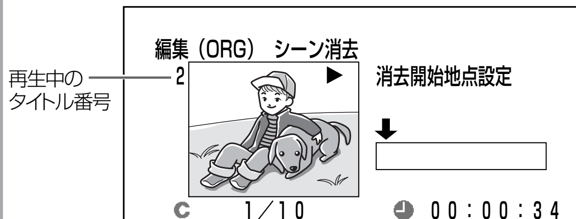


5 ① で「シーン消去」を選ぶ



② (決定)を押す

- 選択したタイトルの再生がはじまります。



- リモコンの 再生 早送り 早戻し 一時停止 スキップ スキップ スロー を使い、消去したいシーンを探します。各ボタンの働きについてくわしくは（**99**ページ）をご覧ください。

6 消去したいシーンになったら、(決定)を押す

- 消去開始地点が設定されます。（再生中のタイトルは、そのまま続けて再生されます。）



7 消去したいシーンの終わりで、(決定)を押す

- 消去終了地点が設定されます。（再生中のタイトルが、一時停止状態になります。）



8 ①内容を確認するときは で「はい」を選ぶ

- 「いいえ」を選んだときは、手順**9**に進みます。

② (決定)を押す

- 消去するシーンを抜いたタイトルが再生されます。

9 で「はい」を選び、(決定)を押す



- 選んだ場面が消去されます。

10 終了するときは 戻る を2回押す

- 編集が終了します。

ヒント

開始地点・終了地点の再設定

- シーン消去を実行するまでは、開始地点・終了地点を再設定することができます。 戻る で「開始地点」、「終了地点」の設定に戻してから手順**6**、**7**の操作を行い、シーンを選び直します。
- 開始地点を決定したあと、 早戻し や スキップ を押して開始地点より前に戻したときは、開始地点が解除されます。
- シーンを探すときは、再生操作ボタンを使うことができます。（**99**ページ）

ご注意

シーンの消去で開始地点や終了地点を選ぶとき

- 編集するタイトルの最初と最後の5秒間は、シーンの消去(開始・終了)地点として選べません。
  タイトルの始まりから5秒までの間で開始地点を選ぶと、タイトルの先頭が開始地点になります。
  タイトルの最後から5秒前までの間を開始地点や終了地点として選んだときは、タイトルの5秒前の地点が開始地点や終了地点として選ばれます。タイトルの最後を選んだときは、最後の地点が終了地点として選ばれます。
  また、シーンの追加やシーンの消去を行い自動的に追加されたチャプターマークの前後5秒間を消去するときも、同じようにシーン消去(開始・終了)地点として選べません。
- 一度消去した範囲は、完全に消去されます。もとに戻すことはできませんので、十分注意し、内容を確認してから操作してください。

おしらせ

- 開始地点、終了地点がずれることがあります。
- シーンの消去を行うときは、5秒以上の連続したシーンで選んでください。5秒未満のシーン消去はできません。
- オリジナルのタイトルから選んだ場面を消して空き時間を増やす場合には、連続した約2分以上の映像を消去してください。またシーン消去した位置には、チャプターマークが自動的に入ります。
- 他のDVDレコーダーでプレイリストを作成している場合に、シーン消去を行ったタイトルからプレイリストに含まれていると、プレイリストのチャプターもその分増えます。ディスク1枚あたり200チャプターをこえる場合、シーン消去はできません。
- シーンの追加やシーンの消去は、1タイトルあたり50回までしか行えません。
- 他のDVDレコーダーでシーンの追加やシーンの消去を1タイトルあたり51回以上行ったディスクでは、再生および初期化以外の操作が行えません。

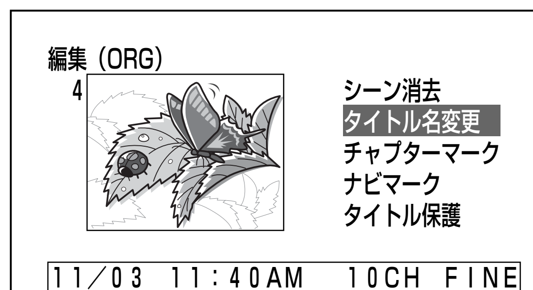
タイトル名を入力／変更する(タイトル名変更)

DVD RW VRモード　DVD RW ビデオモード　DVD R

録画すると、日時、時刻、チャンネル番号などを含むタイトル名が自動的に作成されます。
タイトル名は自由に変更することができます。
（ビデオモード記録のディスクをファイナライズすると、タイトル名変更ができなくなります。）

1 **91〜92ページの手順1〜4を行い、タイトルを選ぶ**

2 ① **▲ ▼で「タイトル名変更」を選ぶ**



② **決定を押す**

3 **タイトル名を変更する**

- 最大24文字まで入力できます。
- 入力は、「変更する文字の選択」→「不要な文字（変更する文字）の削除」→「新しい文字の入力」という流れで行います。

① **変更する文字にカーソルを合わせる**

- ▲ ▼ ◀ ▶で「進む」または「戻る」を選択して、決定を押すとカーソルが移動します。

② **▲ ▼ ◀ ▶で「消去」を選択して、決定を押す**

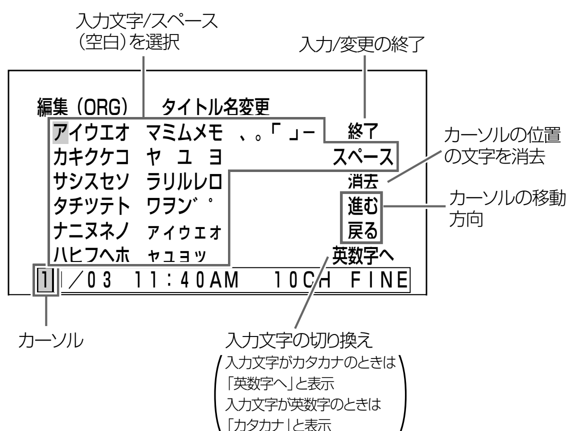
- カーソルの位置の文字が消えます。

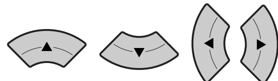
③ **▲ ▼ ◀ ▶で入力する文字を選択して、決定を押す**

- カーソルの位置に、文字が入力されます。

次ページの手順3の④へつづく

④すべての文字の変更が終了するまで、手順①〜③を繰り返す





4 すべての文字の変更が終了したら、▲ ▼ ◀ ▶ で「終了」を選択し、決定 を押す

- 新しいタイトルが確定します。

おしらせ

- 他のDVDレコーダーで付けたタイトルが本機で表示できない文字（漢字など）の場合は、「****‥‥」（最大24文字分）の表示となります。

5 終了するときは 戻る を2回押す

- 編集が終了します。

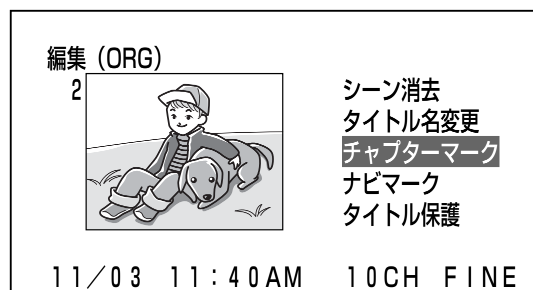
タイトル内で区切りを作る（チャプターマーク）

DVD RW
VRモード

チャプターマークを使って、タイトル内に区切りを作ることができます。
チャプターマークとチャプターマークの間が1つのチャプター（章）となります。
（ビデオモード記録のディスクでは操作できません。）

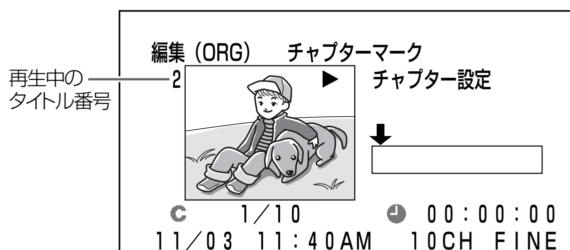
1 91〜92ページの手順1〜4を行い、タイトルを選ぶ

2 ① ▲ ▼ で「チャプターマーク」を選ぶ



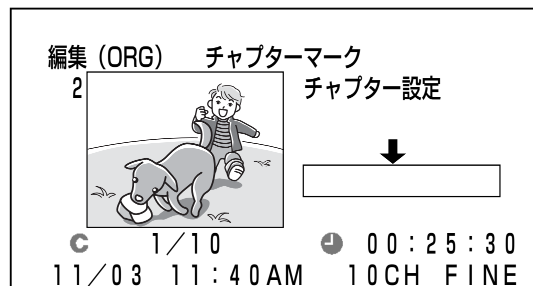
② 決定 を押す

- 選択したタイトルの再生がはじまります。



3 チャプターマークを付けたいシーンを選ぶ

- リモコンの 再生 一時停止 早送り 早戻し スキップ スキップ スロー が使えます。各ボタンの働きについてくわしくは**99**ページをご覧ください。



次ページの手順4へつづく

4 チャプターマークを追加するシーンで (決定) を押す

- 再生中の映像が一時停止し、追加したチャプターマークが、黄色で表示されます。



おしらせ

チャプターマークを追加する間隔

- 既存のチャプターマークと追加したいチャプターマークの間隔を5秒以上空けてください。チャプターマークの間隔が短いと、チャプターマークが追加できません。

5 ◁で「はい」を選ぶ

- シーンを選び直したいときは、▷を押して「いいえ」を選びます。手順**3**の画面に戻ります。

6 (決定) を押す

- 追加されたチャプターマークは青色で表示されます。
- さらにチャプターマークを追加するときは、手順**3**〜**6**を繰り返します。
- 続けて (戻る) を押すと、手順**2**の①の画面に戻ります。

7 終了するときは (戻る) を2回押す

- 編集が終了します。

おしらせ

- チャプターは1枚のディスクあたり最大200までしか作成できません。(プレイリスト含む)

チャプターマークを消去する

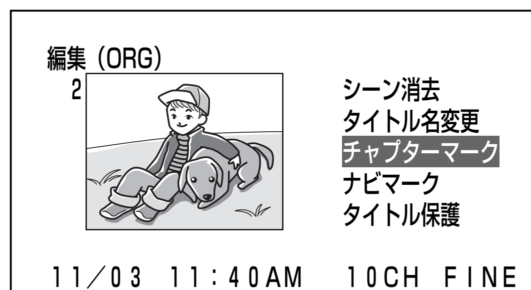
いらなくなったチャプターマークは、消去することができます。消去できるマークは、編集操作(**94**ページ)で追加されたチャプターマークです。
下記の操作で自動的に付けられたチャプターマークは、消去できません。(手順**3**でチャプターマークが赤色表示されます。)

- 録画時に自動的に設定されたタイトルの先頭にあるチャプターマーク
- シーン消去(**91**ページ)したときに自動的に追加されたチャプターマーク

(ビデオモード記録のディスクでは操作できません。)

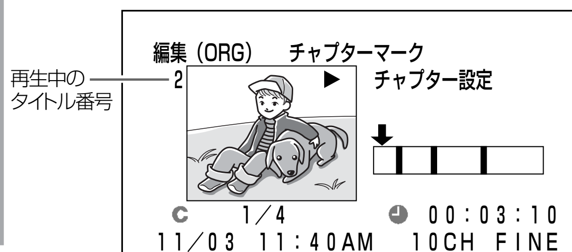
1 91〜92ページの手順1〜4を行い、タイトルを選ぶ

2 ① △ ▽ で「チャプターマーク」を選ぶ



② (決定) を押す

- 選択したタイトルの再生がはじまります。



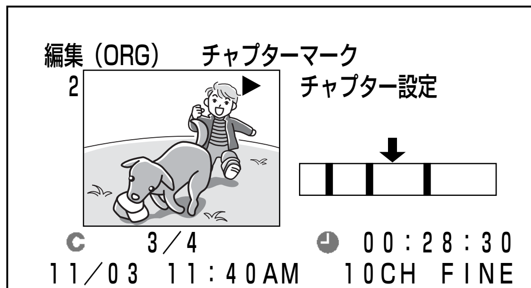
DVDディスクの編集

録画したタイトルを編集する　つづき

次ページの手順3へつづく

3 消去したいチャプターマーク（青色）のチャプターを再生する

- リモコンの 再生 一時停止 早送り 早戻し スキップ スキップ スロー が使えます。各ボタンの働きについてくわしくは99ページをご覧ください。
- 赤色のチャプターマークは選べません。



おしらせ

- 赤色のチャプターマークは消去できません。

4 そのチャプターの再生中に、◀を押す

- 再生中の映像がチャプターの先頭に戻り、チャプターマークが黄色になります。



5 ◀で「はい」を選ぶ

- チャプターマークを選び直したいときは、▶を押して「いいえ」を選びます。手順3の画面に戻ります。

6 決定 を押す

- チャプターマークが消去され、前のチャプターと結合されます。
- さらにチャプターマークを消去するときは、手順3〜6を繰り返します。
- 続けて 戻る を押すと、手順2の①の画面に戻ります。

7 終了するときは 戻る を2回押す

- 編集が終了します。

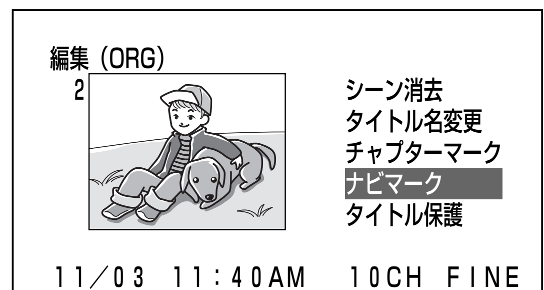
ディスクナビの画面を変更する（ナビマーク）

DVD RW
VRモード

ディスクナビで一覧表示される各タイトルのナビ画面を好きなシーンに変更することができます。

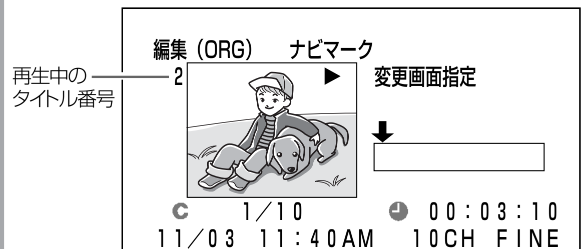
1 91〜92ページの手順1〜4を行い、タイトルを選ぶ

2 ① ▲ ▼ で「ナビマーク」を選ぶ



② 決定 を押す

- 選択したタイトルの再生がはじまります。



3 ナビ画面にしたいシーンを選ぶ

- リモコンの 再生 一時停止 早送り 早戻し スキップ スキップ スロー が使えます。各ボタンの働きについてくわしくは99ページをご覧ください。



次ページの手順4へつづく

4 ナビ画面にしたいシーンで (決定) を押す

- 再生中の映像が一時停止します。



5 ◀ で「はい」を選ぶ

- シーンを選び直したいときは、▶ を押して「いいえ」を選び (決定) を押します。手順**2**の①画面に戻ります。

6 (決定) を押す

- 手順**2**の①画面に戻ります。

7 終了するときは (戻る) を2回押す

- 編集が終了します。

編集・消去を不可にする（タイトル保護）

DVD RW
VRモード

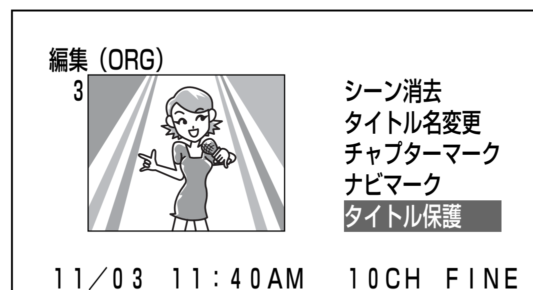
誤ってディスクの内容を変更しないように、編集や消去ができないようにします。
編集中のディスクを安全に保管するときに便利です。
（ビデオモード記録のディスクでは操作できません。）

おしらせ

- プレイリストおよびビデオモードで録画したディスクの場合、保護する機能はありません。

1 91〜92ページの手順1〜4を行い、タイトルを選ぶ

2 ① ▲ ▼ で「タイトル保護」を選ぶ



② (決定) を押す

3 ◀ で「はい」を選び (決定) を押す

- 「いいえ」を選ぶときは ▶ を押します。

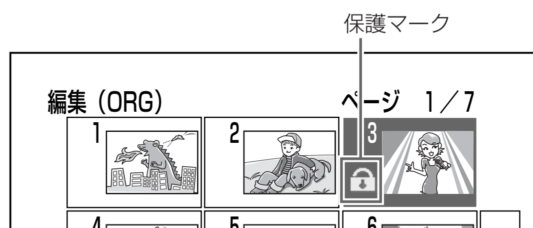


- 保護されたタイトルには、保護「🔒」マークが付きます。

4 (戻る) を押す

- 編集画面で保護マーク「🔒」が確認できます。

保護マーク



次ページの手順5へつづく

5 終了するときは 戻る を押す

- 編集が終了します。

再び編集を行うときは

おしらせ

- スタートメニュー→「DVDディスク設定」の「ディスク保護」でディスク保護を設定したときは、全タイトルに保護マークが付きます。
  この場合、各タイトルの保護解除はできません。
  (「ディスク保護」の設定で、ディスク保護を解除してください。)

1 97ページの手順1〜2を行い、「タイトル保護」を選ぶ



2 ◀で「はい」を選び 決定 を押す

- 「いいえ」を選ぶときは▶を押します。
- タイトル保護が解除され、保護マークが消えます。

3 編集を終了するときは 戻る を2回押す

- 編集が終了します。

ディスクを書き換え禁止にする（ディスク保護）

DVD RW
VRモード

録画したディスクを保護します。保護したディスクは、録画・編集などディスクの内容を変更する操作ができなくなります。また、ディスク保護を解除するときもこの操作を行います。保護を解除したディスクは、再び録画や編集が可能になります。

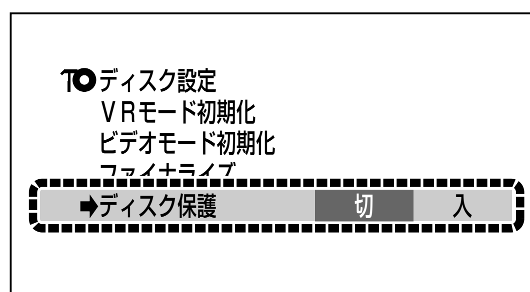
おしらせ

- ビデオモードで録画したディスクの場合、保護する機能はありません。
- ディスク保護を設定したディスクは、初期化ができません。
- 「ディスク保護」はDVD-RW（VRモード）でのみ働きます。
- タイトル数が多い場合など、ディスクの記録状態によっては処理に2分程度かかる場合があります。

1 スタートメニュー を押し、スタートメニュー画面を表示する

2 ▲▼◀▶で「DVDディスク設定」を選び、決定 を押す

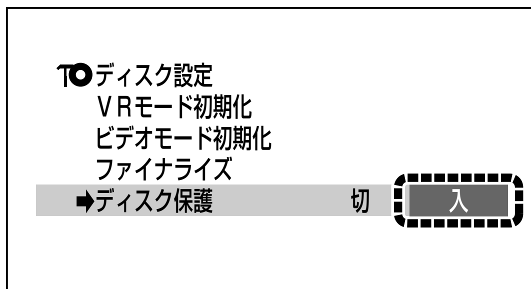
3 ▲▼で「ディスク保護」を選ぶ



次ページの手順4へつづく

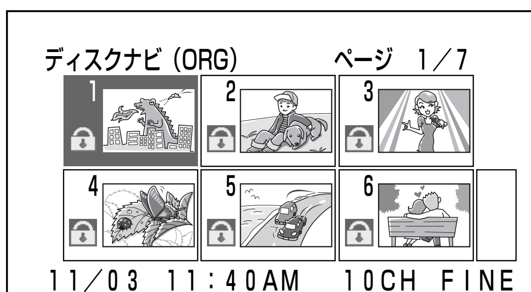
4 で「入」を選び、(決定) を押す

- 「切」を選ぶときは◀を押します。



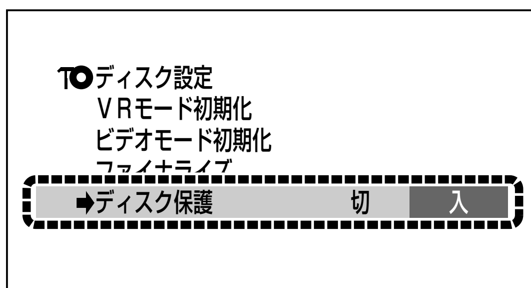
5 (戻る) を押す

- DVDディスク設定が終了します。
- 保護されたディスクには、全てのタイトルに保護マークが付きます。（ディスクナビ画面で保護マークが確認できます。）



ディスク保護を解除する

1 98ページの「ディスクを書き換え禁止にする（ディスク保護）」の手順1～3を行い、「ディスク保護」を選ぶ



2 ◀で「切」を選び、(決定) を押す

- 「入」を選ぶときは▶を押します。
- ディスク保護が解除され、保護マークが消えます。

3 (戻る) を押す

- DVDディスク設定が終了します。

開始地点や終了地点のシーンを探すとき

「開始地点」や「終了地点」のシーンを探すときは、下記のような再生時の操作が可能です。

●再生

(再生) を押すと、一時停止している現在のタイトルを再生します。

●チャプター内のシーンを探す

- チャプター内でシーンを探すときは (早戻し) または (早送り) が便利です。

●タイトルやチャプターの頭出し

選択するシーンが離れているタイトルやチャプター内にある場合、(スキップ◀◀) や (スキップ▶▶) で、まずタイトルやチャプターを探します。

●一時停止

開始地点や終了地点に近いシーンになったら (一時停止) を押し、一時停止するとシーンが探しやすくなります。編集はフレーム精度ではできません。開始地点、終了地点がずれることがあります。

●コマ送り/コマ戻し

一時停止したシーンから (スキップ▶▶) を押すと、コマ送り再生されます。(スキップ◀◀) を押すと、コマ戻し再生されます。（コマ戻し再生では、2～3フレームの誤差が発生します。）

●シーンの最終選択

一時停止したシーンから (スロー) を押し、スロー再生して開始地点や終了地点のシーンを選びます。

録画したタイトルを消去する

録画した映像から、すべてのタイトル、または選んだタイトルを消去することができます。
（ビデオモード記録のディスクをファイナライズすると、タイトル消去ができなくなります。）



全タイトルを消去する

DVD RW VRモード　DVD RW ビデオモード　DVD R

すべてのタイトルを消去します。（他機で作成したDVD-RWディスクでプレイリストがあった場合、オリジナルの映像が消去されるため、プレイリストのタイトルもすべて消去されます。）

ヒント

初期化とは下記の点で異なります。
- タイトル保護（**97**ページ）されているタイトルは消去されません。

1 （スタートメニュー）を押し、スタートメニュー画面を表示する

2 ▲▼◀▶で「DVD編集・消去」を選び、（決定）を押す

3 ▲▼で「消去」を選び、（決定）を押す

■スタートメニュー
DVD編集/消去
ＤＶＤのディスクに行う操作を選択してください。
編集
消去

4 ▲▼で「全タイトル消去」を選び（決定）を押す

タイトル消去（ORG）
1タイトル消去
全タイトル消去（保護タイトルを除く）
はい　いいえ
プレイリストへの影響に
ご注意ください

5 ◀で「はい」を選び（決定）を押す

- すべてのタイトルが消去され、（スタートメニュー）を押す前の画面に戻ります。
- 「いいえ」を選ぶときは▶を押します。

おしらせ
- タイトル数が多い場合などディスクの記録状態によっては、処理に2分程度時間がかかる場合があります。

タイトル単位で消去する

DVD RW VRモード　DVD RW ビデオモード　DVD R

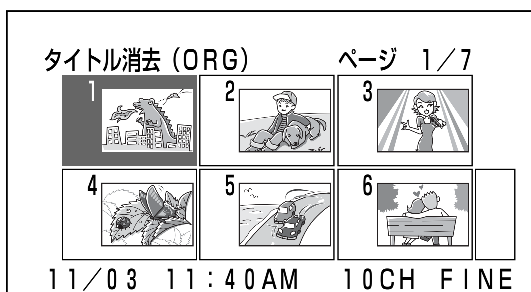
タイトルを選んで消去します。
不要なタイトルを消すと空き時間が増えるため、くり返し録画したいときに便利です。

- DVD-RW（ビデオモード）では、最後のタイトルを消去したときのみ、空き時間が増えます。
- DVD-Rでは、空き時間は増えません。

プレイリストが作成されていた場合、プレイリストを再生したときに、消去された部分がなくなります。

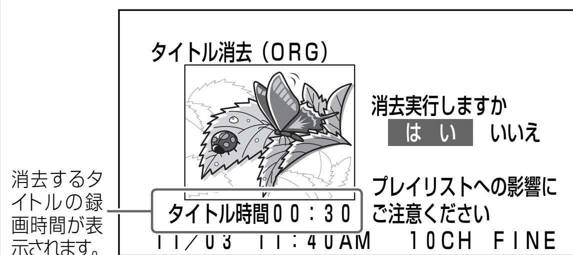
1 「全タイトルを消去する」（100ページ）と同じ手順で「1タイトル消去」を選び（決定）を押す

2 ▲▼◀▶で消去したいタイトルを選び（決定）を押す



3 ◀で「はい」を選び（決定）を押す

- 選んだタイトルが消去され、手順2の画面に戻ります。
- 「いいえ」を選ぶときは▶を押します。



4 タイトル消去を終了するときは、（戻る）を押す

5 （戻る）を押す

おしらせ

- 保護されたタイトルは、消去されません。
- プレイリストおよびビデオモードで録画したディスクの場合、保護する機能はありません。

DVDディスクの編集

録画したタイトルを消去する

静止画を楽しむ

- 本機は、メモリーカード（PCカード）やディスク内の静止画（JPEGファイル）を再生することができます。また、デジタルカメラなどで撮影したメモリーカード（PCカード）内の映像をテレビで再生したり、ディスクにコピーしたりできます。
- 本機で再生できる静止画（JPEGファイル）とメモリーカード（PCカード）については、「本機で再生できる静止画（JPEGファイル）について」（**14**〜**15**ページ）をご覧ください。

PCカードランプについて

緑色点灯:カード再生中
橙色点灯:カードへコピー中
緑色点滅:カード読み込み中

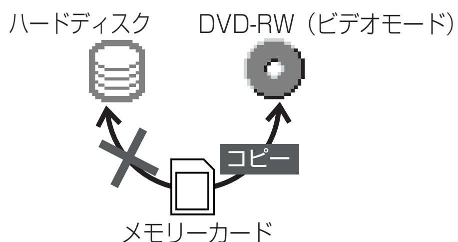
画面表示内容

JPEGリスト



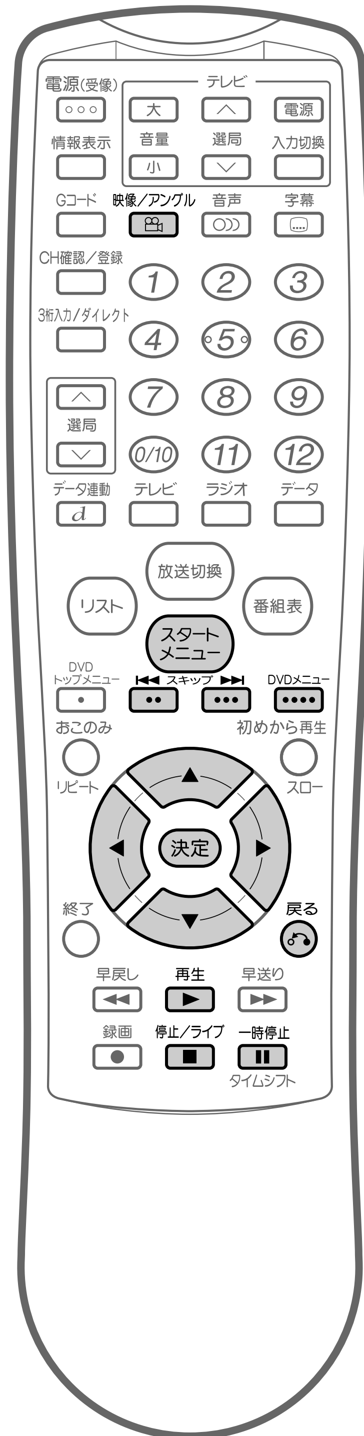
静止画をコピーするとき

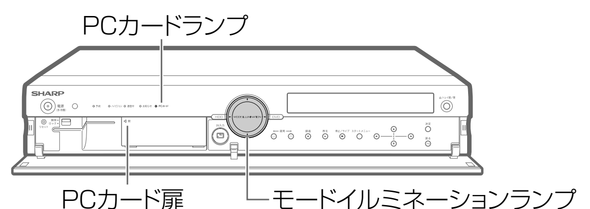
- ハードディスクには静止画（JPEGファイル）はコピーできません。



静止画を再生する

本機は、メモリーカードやDVD-RWに記録されているJPEG形式の静止画ファイルを再生できます。





メモリーカード内の静止画を再生する

メモリーカード

メモリーカードの入れかた

ご 注 意

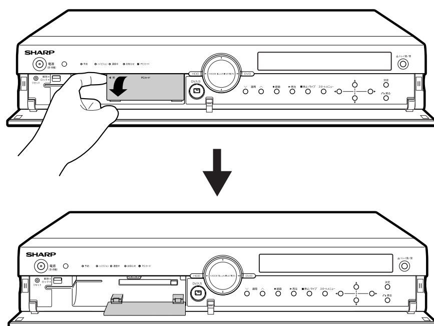
- メモリーカードをセットするときは、本機の電源を切った状態でセットしてください。セット後、電源を入れてください。

1 本機の電源が切れていることを確認する

- モードイルミネーションランプが消灯していることを確認してください。

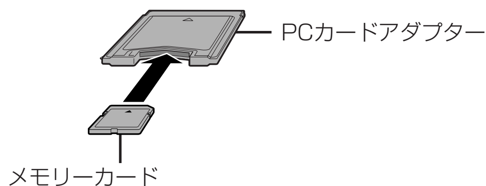
2 PCカード扉を開ける

- 図のようにPCカード扉の端に指をかけて開きます。

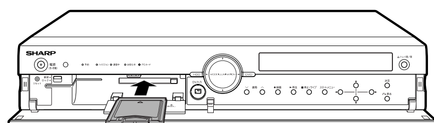


3 メモリーカード（PCカードアダプター）をセットする

① PCカードアダプターにメモリーカードをセットする。



② PCカードアダプターをセットする



- 奥まで確実に差し込んでください。

4 PCカード扉を閉める

- PCカード扉を閉めないとカードが認識されません。

メモリーカードの取り出しかた

ご 注 意

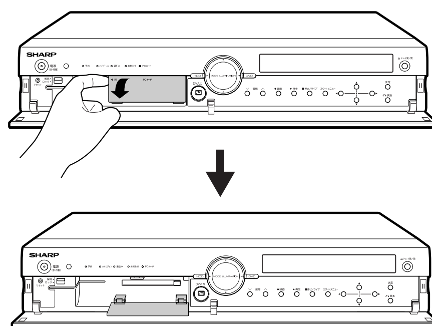
- メモリーカードの取り出しは、必ず本機の電源を切った状態で行ってください。

1 本機の電源が切れていることを確認する

- モードイルミネーションランプが消灯していることを確認してください。

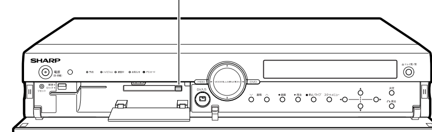
2 PCカード扉を開ける

- 図のようにPCカード扉の端に指をかけて開きます。

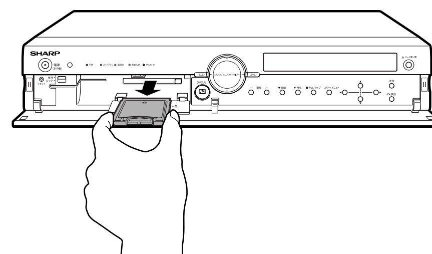


3 PCカード取り出しボタンを押す

- PCカードアダプターが少し飛び出します。



4 メモリーカード（PCカードアダプター）を引き抜く



PCカードアダプターの挿入/取り出し時の注意事項

- PCカードアダプターの挿入/取り出しは、必ず本機の電源を切った状態で行ってください。
- 本体のPCカードランプが点灯/点滅しているときは、メモリーカードの読み込み、書き込みを行っておりますので、電源を切ったりメモリーカードを取り出したりしないでください。データが消失したり、メモリーカードが破壊される場合があります。電源の切断やメモリーカードの取り出しは、PCカードランプが消灯していることを確認してから行ってください。

メモリーカード内の静止画を再生する

ご注意

- 2MB以上の静止画（JPEGファイル）は、再生できません。
- 本機が再生できる静止画は、DCFフォーマットに準拠したJPEGファイルです。
- メモリーカードを楽しむためには、録画先をDVDに設定してください。（**120**ページ）
  録画先が「DVD」になっていないときは、メモリーカードの再生ができません。

1 ① **メモリーカードが装着されたPCカードアダプターをセットし、本機の電源を入れる**

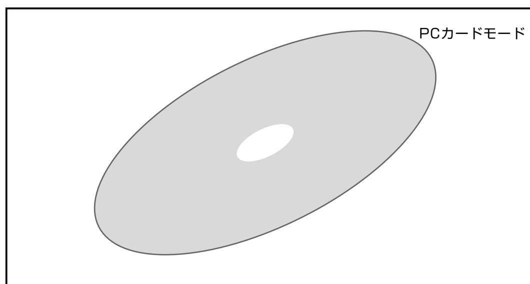
② **録画先をDVDに設定する**

- DV入力以外のチャンネルにしてください。
- （スタートメニュー）を押し、「録画先切換」で「DVD」にします。（**121**ページ）
- 「各種設定」の「録画機能設定」項目にある「録画先・モード設定」でも設定が行えます。（**120・124**ページ）

2 **（スタートメニュー）を押し、スタートメニュー画面を表示する**

3 **（▲）（▼）（◀）（▶）で「PCカード」を選び、（決定）を押す**

- カードモードになり、メモリーカードの読み込みが始まります。
- 読み込み中はPCカードランプが点滅し、読み込みが終了すると点灯します。



おしらせ

- カードモード時はディスクトレイ開閉以外のディスク操作は行えません。
- ディスクトレイを開/閉すると、テレビ放送に戻ります。

- テレビ放送に戻したいときは、（戻る）を押します。カードモードが解除されテレビ放送画面に戻ります。

4 **（DVDメニュー）を押す**

- JPEGメニュー画面が表示されます。
  押すたびに、「JPEGメニュー」←→「解除」になります。

JPEGメニュー（カード）
⇨ JPEGリスト
ディスクへコピー
ディスクへ全てコピー
消去
全消去
スライドショー

- （再生）を押したときは、最初のフォルダ内の静止画（JPEGファイル）が全画面再生されます。再生を止めるときは手順9の（停止/ライブ）を押します。

JPEGメニュー（カード）について

- メモリーカード内の静止画（JPEGファイル）が操作の対象となります。
- ディスクの操作は、行えません。

JPEGリスト:	選択したフォルダ内の静止画（JPEGファイル）をサムネイル（6画面）表示します。（**105**ページ）
ディスクへコピー:	選択した静止画（JPEGファイル）をディスクへコピーします。（**107**ページ）
ディスクへ全てコピー:	カード内の全ての静止画（JPEGファイル）をディスクへコピーします。（**109**ページ）
消去:	選択した静止画（JPEGファイル）を消去します。（**110**ページ）
全消去:	カード内の静止画（JPEGファイル）を全て消去します。（**111**ページ）
スライドショー:	選択したフォルダ内の静止画（JPEGファイル）をスライドショー再生します。（**106**ページ）

おしらせ

- フォルダについては、「フォルダ」（**174**ページ）をご覧ください。

5 **（▲）（▼）で「JPEGリスト」を選び、（決定）を押す**

- フォルダ選択画面が表示されます。

フォルダ選択
3／8

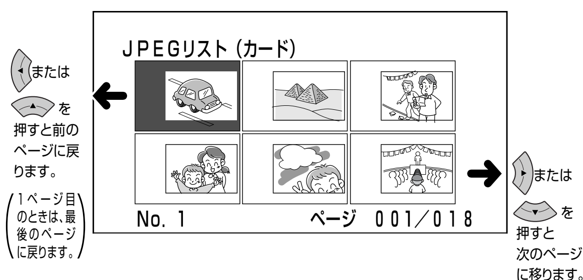
SHARP1　SHARP2
SHARP3　SHARP4
SHARP5　SHARP6
SHARP7　SHARP8

次ページの手順6へつづく

6 で再生したいフォルダを選択し 決定 を押す

- 選択したフォルダ内の静止画（JPEGファイル）が一覧表示されます。
- 戻る を押すとフォルダ選択画面に戻ります。

7 で再生したい静止画（JPEGファイル）を選ぶ



8 決定 を押す

- 全画面表示になります。
- スキップ または スキップ を押すと、前または次の静止画（JPEGファイル）が選択できます。
- JPEGリスト表示に戻したいときは、戻る を押します。
- DVDメニュー を押すと、JPEGメニュー画面になります。

9 再生を止めるときは 停止／ライブ を押す

- カードモードが解除され手順**3**の画面に戻ります。テレビ放送を見たいときは、戻る を押します。

ご注意

- 静止画（JPEGファイル）を再生中にPCカード扉を開けると、再生は中止されます。
- メモリーカード内の静止画（JPEGファイル）を再生中に電源プラグを抜くと、再生中の静止画（JPEGファイル）が壊れることがあります。電源プラグを抜かないでください。
- PCカード再生中にディスクトレイを開けると、再生が中止されます。

ディスクの静止画を再生する

DVD RW ビデオモード　CD R　CD RW

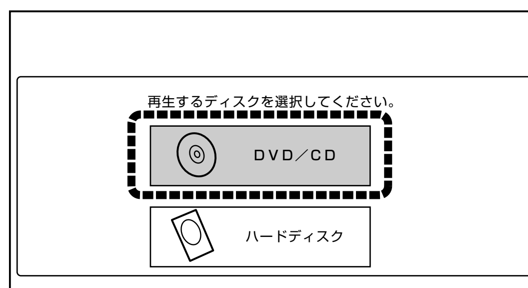
ご注意

- 2MB以上の静止画（JPEGファイル）は、再生できません。
- 本機が対応しているフォルダ数は32個、またファイル数は各フォルダ内に128個です。それ以上のフォルダ/ファイルが記録されているディスクは、再生できません。

1 本機の電源を入れる

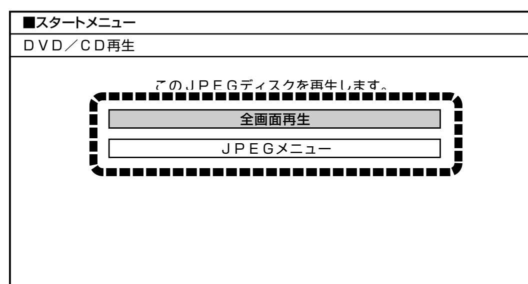
2 JPEGファイルの記録されたディスクをセットする

3 再生 を押す



- スタートメニューの「DVD/CD再生」を選んでも操作が行えます。
- 再生方法選択画面が表示されます。

4 で「DVD/CD」を選び、決定 を押す

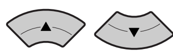


全画面再生：最初のフォルダ内の静止画（JPEGファイル）を全画面再生します。
- スキップ または スキップ を押すと、前または次の静止画（JPEGファイル）が選択できます。
- 再生を止めるときは 停止／ライブ を押します。

JPEGメニュー：JPEGメニュー画面が表示されます。

静止画を楽しむ

次ページの手順5へつづく

5  で「JPEGメニュー」を選び、(決定) を押す

- JPEGメニュー画面が表示されます。

JPEGメニュー（ディスク）
⇨ JPEGリスト
カードへコピー
カードへ全てコピー
消去
全消去
スライドショー

JPEGメニュー（ディスク）について

- ディスク内の静止画（JPEGファイル）が操作の対象となります。
- メモリーカードの操作は、行えません。

JPEGリスト:	選択したフォルダ内の静止画（JPEGファイル）をサムネイル（6画面）表示します。（**105**ページ）
カードへコピー:	選択した静止画（JPEGファイル）をメモリーカードへコピーします。（**107**ページ）
カードへ全てコピー:	ディスク内の全ての静止画（JPEGファイル）をメモリーカードへコピーします。（**109**ページ）
消去:	選択した静止画（JPEGファイル）を消去します。（**110**ページ）
全消去:	ディスク内の静止画（JPEGファイル）を全て消去します。（**111**ページ）
スライドショー:	選択したフォルダ内の静止画（JPEGファイル）をスライドショー再生します。（**106**ページ）

6 「メモリーカード内の静止画を再生する」（104～105ページ）の手順5～8を行い、ディスク内の静止画（JPEGファイル）を再生する

7 再生を止めるときは 停止/ライブ（■） を押す

- テレビ放送画面に戻ります。

静止画再生中の便利な機能

静止画（JPEGファイル）再生中に、回転ができます。

回転表示する

1 静止画（JPEGファイル）再生中に、映像/アングル を押す

- 押すたびに、90°ずつ時計周りで画像が回転します。

おしらせ

- 画像を回転表示させたとき、画像によっては縮小された画面に見える場合があります。

静止画をスライドショー再生する（スライドショー）

メモリーカード　DVD RW（ビデオモード）　CD R　CD RW

- メモリーカードやディスク内の静止画（JPEGファイル）を、スライドのように連続して再生できます。
- ここでは、例としてメモリーカード（PCカード）内の静止画（JPEGファイル）を再生するときの画面で説明します。

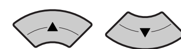
1 メモリーカードが装着されたPCカードアダプターまたはディスクを本機にセットする

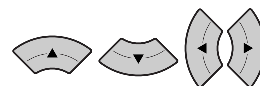
ご注意

- メモリーカードをセットするときは、本機の電源を切った状態でセットしてください。セット後、電源を入れてください。

2 JPEGメニュー画面を表示する

- メモリーカードから再生するときは、「メモリーカード内の静止画を再生する」（**104**ページ）の手順**1**～**4**を行います。
- ディスクから再生するときは、「ディスクの静止画を再生する」（**105**～**106**ページ）の手順**1**～**5**を行います。

3  で「スライドショー」を選び、(決定) を押す

4  で再生したいフォルダを選び、(決定) を押す

フォルダ選択
3／8

SHARP1	SHARP2
SHARP3	SHARP4
SHARP5	SHARP6
SHARP7	SHARP8

- スライドショーが開始されます。
- スライドショーを再生しているとき、画面の切り換わる時間はファイルの容量により異なります。
- 違うフォルダを選択したいときは、戻る を押します。

おしらせ

- 一時停止したいときは、一時停止（❚❚） を押します。
- 再度、再生したいときは、再生（▶） または 一時停止（❚❚） を押します。

5 再生を止めるときは 停止/ライブ（■） を押す

静止画をコピーする

- メモリーカードからディスクへ、またはディスクからメモリーカードへコピーできます。
- 選択した静止画（JPEGファイル）のみコピーする方法と、全静止画（JPEGファイル）をコピーする方法があります。

ディスクからメモリーカードに静止画（JPEGファイル）をコピーすると
- DCFに準拠するファイル名が自動的に付けられます。
- ＤＣＦに準拠したフォルダが自動的に選ばれ、静止画（JPEGファイル）が格納されます。
- メモリーカードの状態によっては、メモリーカードの空き容量があっても、コピーすることができない場合があります。

- ここでは、例としてメモリーカード内の静止画（JPEGファイル）をコピーするときの画面で説明します。

ご注意

コピーできるディスクについて
- **静止画（ＪＰＥＧファイル）をコピーできるディスクは、DVD-RW（ビデオモード）であらかじめ初期化しておいたものです。**
- DVD-RW（ビデオモード）のディスクであっても、すでに放送など動画が記録されているディスクには、コピーできません。
- DVD-RW（VRモード）のディスクは、静止画（JPEGファイル）をコピーできません。
- 静止画（JPEGファイル）をディスクからメモリーカードにコピーしたとき、ファイルによってはデジタルカメラで再生できない場合があります。



静止画を選択してコピーする

メモリーカード　DVD RW ビデオモード

1 メモリーカードが装着されたPCカードアダプターとディスクを本機にセットする

ご注意
- メモリーカードをセットするときは、本機の電源を切った状態でセットしてください。セット後、電源を入れてください。
- コピーできるディスクは、DVD-RW（ビデオモード）で初期化し、動画が記録されていないものです。

2 JPEGメニュー画面を表示する
- メモリーカードからコピーするときは、「メモリーカード内の静止画を再生する」（**104**ページ）の手順**1**～**4**を行います。
- ディスクからコピーするときは、「ディスクの静止画を再生する」（**105**～**106**ページ）の手順**1**～**5**を行います。

3 メモリーカードからディスクへコピーするとき

ご注意
- DVD-RW（ビデオモード）で動画が記録されているディスク、またはDVD-RW（VRモード）のディスクをセットしているときは、コピーを行うことはできません。

- ▲▼で「ディスクへコピー」を選び、決定を押す
- 初めてディスクにコピーするときは、自動的に32個のALBUM（アルバム）フォルダを作成するため、多少時間がかかります。
- メモリーカード内の静止画（JPEGファイル）をディスクにコピーすると、ファイル名が「PICT××××.JPG」に変更されます。（「PICT××××」には、ファイル番号が連番で付加されます。）

ディスクからメモリーカードへコピーするとき

① ▲▼で「カードへコピー」を選び、決定を押す
② 手順**5**へすすむ

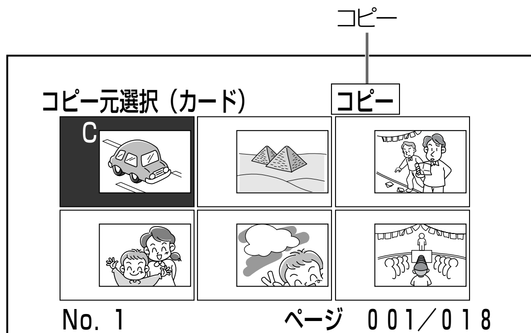
4 ▲▼◀▶でコピー先のフォルダを選び、決定を押す

5 ▲▼◀▶でコピーしたいファイルが記録されているフォルダを選び、決定を押す

次ページの手順6へつづく

6 でコピーするファイルを選び、(決定)を押す

- 手順**6**をくり返し行うと、コピーするファイルを複数選択することができます。
- 選択されたファイルは、「C」が表示されます。
- 選択を解除したいときは、そのファイルを選択し、(決定)を押します。(「C」が消えます。)
- コピー先のディスクやフォルダがいっぱいになったときは、選択できません。「これ以上選択できません」と表示されます。
- 静止画(JPEGファイル)によっては、コピーを実行してもコピーされない場合があります。

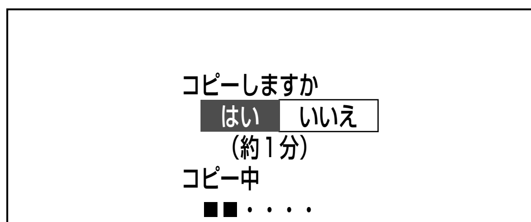


7 で「コピー」を選び、(決定)を押す

- (決定)を押さずに、さらにを押すとページが変わります。

8 で「はい」を選び、(決定)を押す

- コピーが開始されます。



9 コピーを終了するときは 戻る を押す

- JPEGメニュー画面に戻ります。

ご注意

コピー中の注意事項
- コピー中に電源プラグを抜くと、静止画(JPEGファイル)が壊れることがあります。
- 電源を切らないでください。
- ディスクトレイを開けないでください。
- PCカード扉を開けないでください。静止画(JPEGファイル)が壊れることがあります。

おしらせ

- 表示されるコピー時間は、目安です。(正確ではありません。)
- ご購入後初めてお使いになるメモリーカードにコピーするときは、あらかじめデジタルカメラでフォーマットしておいてください。
- 拡張子が.jpgでもデータ形式がJPEGでないファイルは、コピーはされますが再生はできません。
- ディスクへ静止画(JPEGファイル)をコピーしているとき、失敗したり、中断したディスクは、本機で認識できなくなる場合があります。
  そのようなときは、ビデオモードで再度フォーマット(初期化)し直してください。フォーマット(初期化)できない、フォーマット(初期化)しても本機で認識できないときは、傷や埃がないか確認してください。

すべての静止画をコピーする

メモリーカード　DVD RW ビデオモード

1 メモリーカードが装着されたPCカードアダプターとディスクを本機にセットする

ご注意

- メモリーカードをセットするときは、本機の電源を切った状態でセットしてください。セット後、電源を入れてください。
- コピーできるディスクは、DVD-RW（ビデオモード）で初期化し、動画が記録されていないものです。

2 JPEGメニュー画面を表示する

- メモリーカードからコピーするときは、「メモリーカード内の静止画を再生する」（**104**ページ）の手順**1**～**4**を行います。
- ディスクからコピーするときは、「ディスクの静止画を再生する」（**105**～**106**ページ）の手順**1**～**5**を行います。

3 メモリーカードからディスクへコピーするとき

ご注意

- DVD-RW（ビデオモード）で動画が記録されているディスク、またはDVD-RW（VRモード）のディスクをセットしているときは、コピーを行うことはできません。

- ▲▼で「ディスクへ全てコピー」を選び、決定を押す

おしらせ

メモリーカード内の静止画（JPEGファイル）を全てコピーしたとき

- 静止画（JPEGファイル）は、何も記録されていないフォルダに順番に記録されます。すでに静止画（JPEGファイル）が記録されているフォルダはスキップされます。

ディスクからメモリーカードへコピーするとき

- ▲▼で「カードへ全てコピー」を選び、決定を押す

4 ◀▶で「はい」を選び、決定を押す

- コピーが開始されます。
- コピーが終了すると、「コピーが終了しました」の表示が出ます。
- すべての静止画（JPEGファイル）のコピーを実行したときにコピーできなかった静止画（JPEGファイル）があった場合は、コピー終了後に「コピーできないファイルがありました」と表示されます。

5 コピーを終了するときは 戻る を押す

- JPEGメニュー画面に戻ります。

ご注意

コピー中の注意事項

- コピー中に電源プラグを抜くと、静止画（JPEGファイル）が壊れることがあります。
- 電源を切らないでください。
- ディスクトレイを開けないでください。
- PCカード扉を開けないでください。静止画（JPEGファイル）が壊れることがあります。

おしらせ

- ご購入後初めてお使いになるメモリーカードにコピーするときは、あらかじめデジタルカメラでフォーマットしておいてください。
- 本機でDVD-RW（ビデオモード）ディスクにコピーした静止画（JPEGファイル）をパソコン等のDVDドライブでご覧になりたいときは、ファイナライズを必ず行ってください。（すべてのDVDドライブでの再生を保証するものではありません。）

静止画を消去する

- メモリーカード内またはディスク内の静止画（JPEGファイル）を消去できます。
- 選択した静止画（JPEGファイル）のみ消去する方法と、全静止画（JPEGファイル）を消去する方法があります。
- ここでは、例としてメモリーカード内の静止画（JPEGファイル）を消去するときの画面で説明します。



おしらせ

ファイナライズと静止画の消去について

- ファイナライズ前の場合、最後にコピーした静止画（JPEGファイル）を消去すると、ディスクの空き容量は増えます。その他の静止画（JPEGファイル）を消去したときは、ディスクの空き容量は増えません。
- ファイナライズ後は、静止画（JPEGファイル）の消去は行えません。
- メモリーカード内のプリントマーク（DPOF情報）が付いている静止画（JPEGファイル）を本機で消去したとき、静止画（JPEGファイル）は消去されますが、プリントマーク（DPOF情報）は消去されません。プリントマーク（DPOF情報）が付いている静止画（JPEGファイル）の消去は、お使いのカメラで行うことをおすすめします。
- ディスク内の静止画（JPEGファイル）を消去しているとき、失敗したり、中断したディスクは、本機で認識できなくなる場合があります。
  そのようなときは、ビデオモードで再度フォーマット（初期化）し直してください。フォーマット（初期化）できない、フォーマット（初期化）しても本機で認識できないときは、傷や埃がないか確認してください。

静止画を選択して消去する

メモリーカード　DVD RW ビデオモード

1 メモリーカードが装着されたPCカードアダプターまたはディスクを本機にセットする

ご注意

- メモリーカードをセットするときは、本機の電源を切った状態でセットしてください。セット後、電源を入れてください。

2 JPEGメニュー画面を表示する

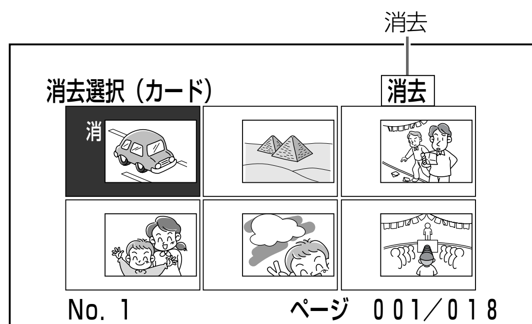
- メモリーカードから消去するときは、「メモリーカード内の静止画を再生する」（**104**ページ）の手順**1**〜**4**を行います。
- ディスクから消去するときは、「ディスクの静止画を再生する」（**105**〜**106**ページ）の手順**1**〜**5**を行います。

3 ▲ ▼ で「消去」を選び、（決定）を押す

4 ▲ ▼ ◀ ▶ で消去するファイルが記録されているフォルダを選び、（決定）を押す

5 ▲ ▼ ◀ ▶ 消去するファイルを選び、（決定）を押す

- 手順**5**をくり返し行うと、消去するファイルを複数選択することができます。
- 選択されたファイルは、「消」が表示されます。
- 選択を解除したいときは、そのファイルを選択し、（決定）を押します。（「消」が消えます。）



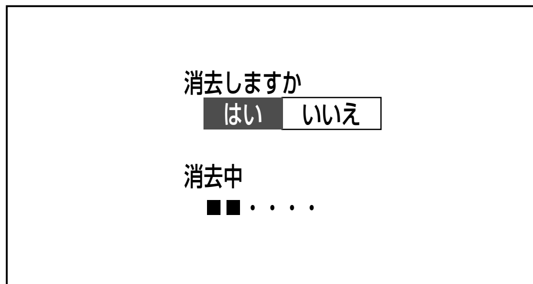
6 ▲ で「消去」を選び、（決定）を押す

- （決定）を押さずに、さらに ▲ を押すとページが変わります。

次ページの手順7へつづく

7 ◀▶で「はい」を選び、(決定)を押す

- 消去が開始されます。



- 消去が終わると、「消去が終了しました」の表示が出て終了します。

8 消去を終了するときは (戻る) を押す

- JPEGメニュー画面に戻ります。

すべての静止画を消去する

メモリーカード　DVD RW ビデオモード

1 メモリーカードが装着されたPCカードアダプターまたはディスクを本機にセットする

ご注意

- メモリーカードをセットするときは、本機の電源を切った状態でセットしてください。セット後、電源を入れてください。

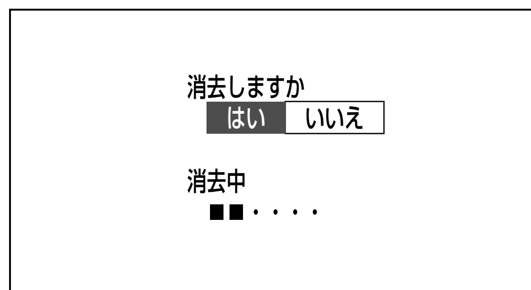
2 JPEGメニュー画面を表示する

- メモリーカードから消去するときは、「メモリーカード内の静止画を再生する」（**104**ページ）の手順**1**～**4**を行います。
- ディスクから消去するときは、「ディスクの静止画を再生する」（**105**～**106**ページ）の手順**1**～**5**を行います。

3 ▲▼で「全消去」を選び、(決定)を押す

4 ◀▶で「はい」を選び、(決定)を押す

- 消去が開始されます。
- 消去が終了すると、テレビ放送画面に戻ります。
- メモリーカード内の静止画（JPEGファイル）を全て消去したときはテレビ画面に戻りません。
  (戻る) を押してテレビ画面に戻してください。



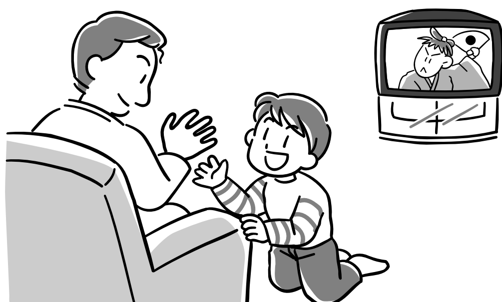
ご注意

消去中の注意事項

- 消去中に電源プラグを抜くと、静止画（JPEGファイル）が壊れることがありますのでご注意ください。
- 電源を切らないでください。
- PCカード扉を開けないでください。静止画（JPEGファイル）が壊れることがあります。

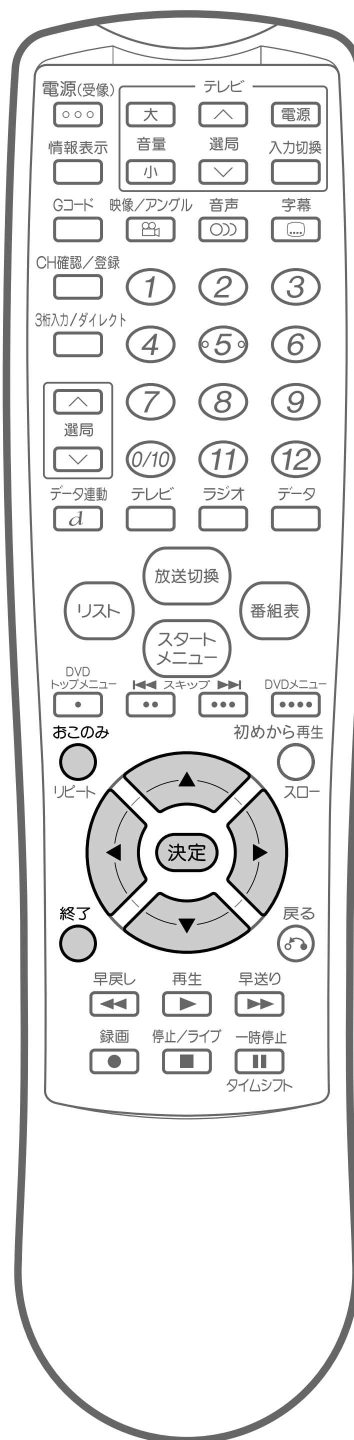
便利な機能

• ここでは、本機の便利な機能を説明します。



おこのみ番組機能を使う

毎日、毎週など同じ時間に放送しているお気に入りの番組を番組予約の設定時に、「おこのみ番組登録」で登録・設定しておくと、その時間帯、チャンネルの番組を、指定した周期で録画予約をくり返します。自動的に上書き録画をして最新の番組を保存します。おこのみ を押すと、録画保存された最新の番組が再生されます。(「おこのみ番組」として登録できる番組数は1つだけです。)



おこのみ番組を登録する

HDD

番組予約（電子番組表（EPG）予約、日時指定予約、Gコード予約）の設定時に、お気に入りの番組を「おこのみ番組」として登録します。

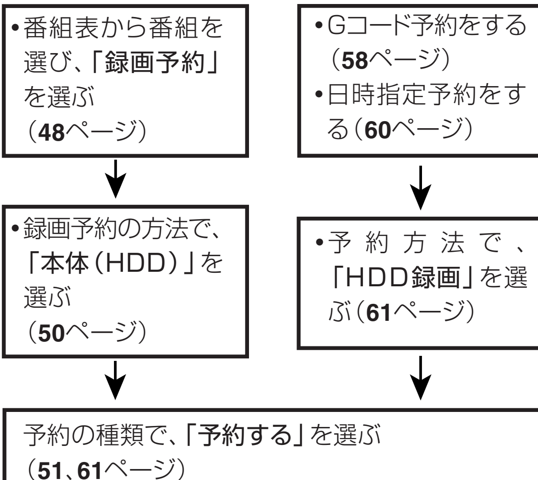
ご注意

- 「おこのみ番組登録」は、内蔵ハードディスク（HDD）への設定です。録画予約の方法で、同時にi.LINK機器を選択しているときは設定できません。

ここでは、電子番組表（EPG）から番組予約したときの画面で説明します。

1 番組予約の操作で下記の手順を行う

- 操作について詳しくは参照ページをご覧ください。



- 上記手順を行ったときのみ、詳細情報取得の後、予約内容設定画面内に「おこのみ番組登録」が表示されます。

■予約　テレビ　ラジオ　データ
101 NHK　BS１　おはよう世界のトップニュース
BS 午前 9:00〜午前 9:50
追加購入グループ ▶
おこのみ番組登録
設定の確認
［追加購入グループ１］
映像：主映像１１２５ｉ　データ：なし
音声：主音声ステレオ　録　画：あり
字幕：日本語　金　額：￥５００
グループ１　グループ２
グループ３　グループ４
グループ５　グループ６
グループ７
現在購入金額　￥５００

2

① ▲ ▼ で「おこのみ番組登録」を選び、決定を押す

② ◀ ▶ で「登録する」または「登録しない」を選び、決定を押す

■予約　テレビ　ラジオ　データ
101 NHK　BS１　おはよう世界のトップニュース
BS 午前 9:00〜午前 9:50
おこのみ番組登録 ▶　−−／−− ［−］
おこのみ番組に選択した番組を登録しますか？
登録する　登録しない

おしらせ

- 予約内容の設定には、「追加購入グループ」「録画連動機器の確認」「おこのみ番組登録」があり、録画方法、番組によって表示される項目が異なります。

3

- 手順2で「登録する」を選んだときに表示されます。

くり返す周期を ▲ ▼ ◀ ▶ で選び、決定を押す

■予約　テレビ　ラジオ　データ
101 NHK　BS１　おはよう世界のトップニュース
BS 午前 9:00〜午前 9:50
追加購入グループ
おこのみ番組登録 ▶
設定の確認
繰り返し予約する間隔を選んでください。
毎週　毎日
月ー金　月ー土

4 55ページ、予約設定の確認を行う

- 「おこのみ番組登録」を設定すると、電子番組表の予約リストに★が表示されます。

ご注意

- 「おこのみ番組登録」のくり返す周期は、お間違いのないよう番組表などで確認をしてから設定してください。
- おこのみ番組を登録後、2回目以降の録画のとき、番組編成などで最初に登録した番組と違う番組が設定時間に放送されても、その番組を録画します。

次ページへつづく ▶▶▶

おこのみ番組を再生する

HDD

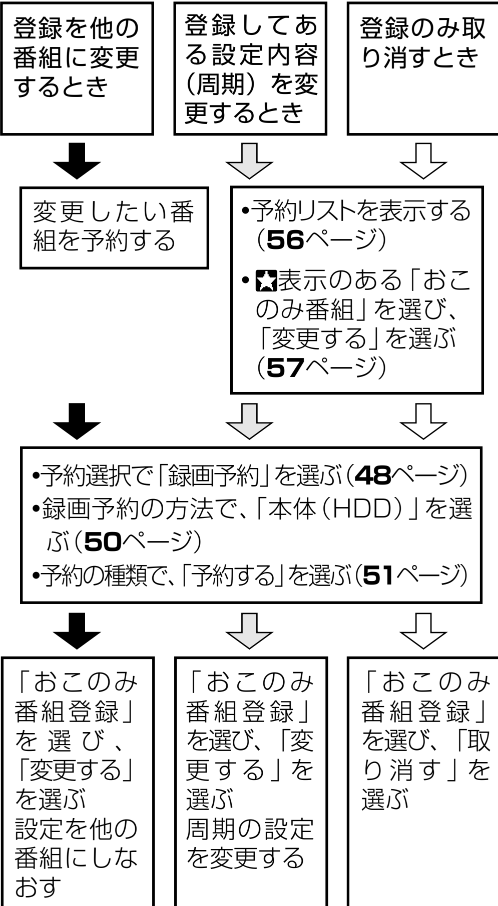
1 おこのみ ◯ **を押す**

- 録画されている番組の再生が開始されます。



おしらせ

- おこのみ ◯ を押したとき、「おこのみ番組」が未登録の場合、または録画されていない場合は、その内容のメッセージが表示されます。内容を確認したうえで操作を行ってください。
- おこのみ番組を、おこのみ ◯ を押し再生したときは、番組の最初から再生されます。
  再生シーン設定通りの再生をしたいときは、リスト画面から再生してください。



お知らせを見る

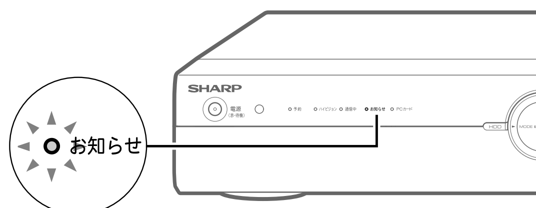
受信契約したBS･110度CSデジタル放送の放送局から視聴者に向けてメッセージが発信されます。
また、有料放送に関するレポートやB-CASカード番号なども確認できます。



おしらせ

お知らせランプについて

- 放送局から送られてきたメッセージを受信すると、本機前面のお知らせランプが点灯します。



受信メッセージを見る

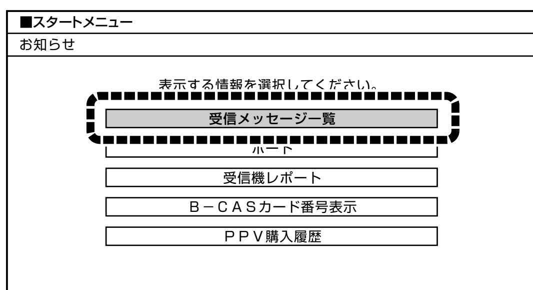
受信契約した放送局から発信されるメッセージを見ることができます。
常時更新されていますので、定期的にメッセージをお読みください。

[例] 加入登録のお知らせを見る

1 ① (スタートメニュー)を押し、スタートメニュー画面を表示する

② (▲)(▼)(◀)(▶)で「お知らせ」を選び、(決定)を押す

③ (▲)(▼)で「受信メッセージ一覧」を選び、(決定)を押す

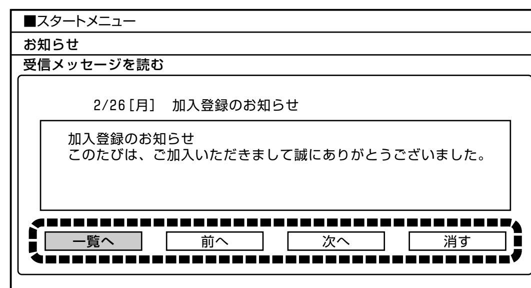


2 見たいメッセージを(▲)(▼)で選び、(決定)を押す



3 ① メッセージの内容を確認する

② 「一覧へ」「前へ」「次へ」「消す」のいずれかを(◀)(▶)で選び、(決定)を押す



「一覧」‥ 受信メッセージが一覧表示されます。
「前へ」‥ 前のメッセージが見られます。
「次へ」‥ 次のメッセージが見られます。
「消す」‥ メッセージが消去されます。

4 (スタートメニュー)を押し、スタートメニュー画面を終了する

受信メッセージ一覧でダウンロードを実行する

「設置調整」の「ダウンロード設定」（**139**ページ）で、ソフトウェアの自動更新を「しない」に設定した場合のみ、「お知らせ」受信メッセージ一覧でソフトウェア更新の実行が可能です。
※自動更新を「する」に設定している場合は、手順**2**の画面メッセージと選択の「実行」は表示されません。

1 ① このページの「受信メッセージを見る」の手順1を行う

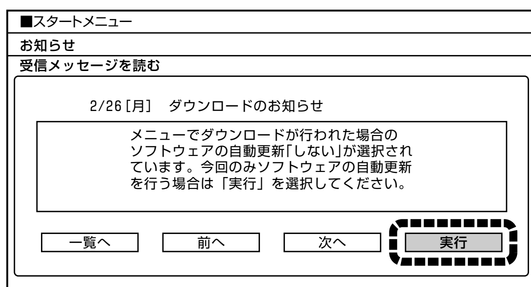
② (▲)(▼)で「ダウンロードのお知らせ」を選び、(決定)を押す



次ページの手順2へつづく

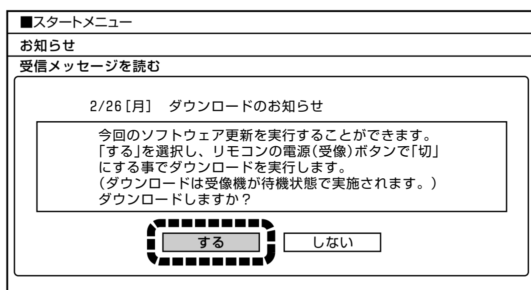
2 ① メッセージの内容を確認する

② ▶ で「実行」を選び、(決定) を押す



3 ① メッセージの内容を確認する

② ◀ で「する」を選び、(決定) を押す



- DVD/CDディスクが本機にセットされている場合は、ディスクを取り出した後リモコンの 電源(受像) で本機を「切」にし、電源待機（待機ランプ赤色点灯）状態にします。

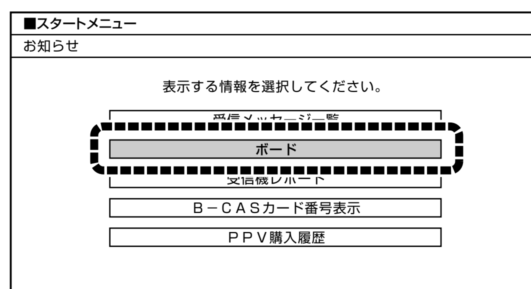
ボードを表示して情報を見る

送られている、CS各ネットワークの掲示板（ボード）のタイトル一覧を表示して、ご覧になりたいタイトルを選び、メッセージを表示することができます。

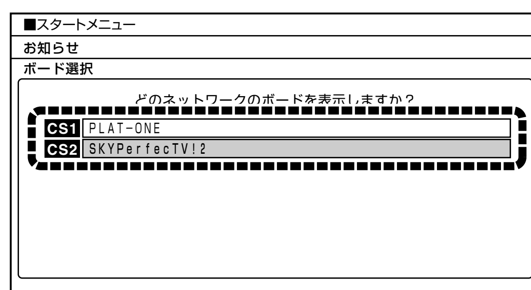
1 ① (スタートメニュー) を押し、スタートメニュー画面を表示する

② ▲ ▼ ◀ ▶ で「お知らせ」を選び、(決定) を押す

③ ▲ ▼ で「ボード」を選び、(決定) を押す

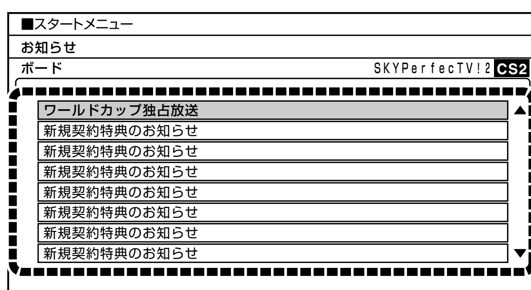


2 表示したいネットワークを ▲ ▼ で選び、(決定) を押す



- 選んだネットワークのボードが表示されます。

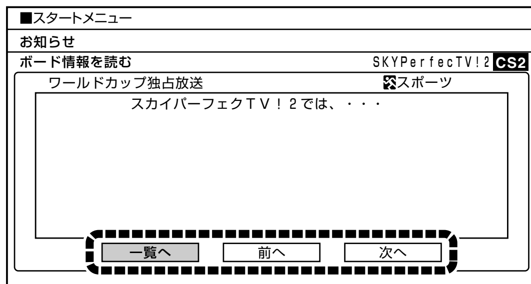
3 見たい情報のタイトルを ▲ ▼ で選び、(決定) を押す



（スカイパーフェクTV！2のボード表示例）

次ページの手順4へつづく

4 ① メッセージの内容を確認する
② 「一覧へ」「前へ」「次へ」のいずれかを ◀ ▶ で選び、(決定) を押す



5 (スタートメニュー) を押し、スタートメニュー画面を終了する

おしらせ

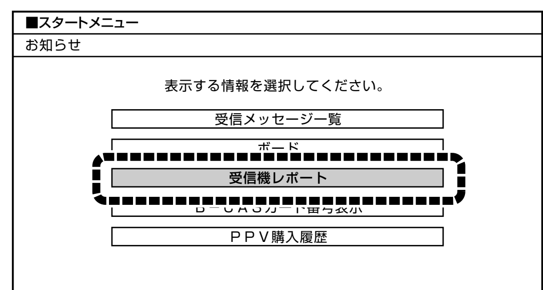
- ボード情報は、そのとき放送で送られているものを表示しますので、消去はできません。

受信機レポートを見る

B-CASカードが壊れたときや、課金情報のアップロード（視聴履歴の送信）に失敗したとき、予約を実行できなかったときなど、受信機に関係したレポートを表示します。

[例] アップロード失敗のレポートを見る

1 ① (スタートメニュー) を押し、スタートメニュー画面を表示する
② ▲ ▼ ◀ ▶ で「お知らせ」を選び、(決定) を押す
③ ▲ ▼ で「受信機レポート」を選び、(決定) を押す



2 見たいレポートを ▲ ▼ で選び、(決定) を押す



次ページの手順3へつづく

3 ① レポートの内容を確認する
② 「一覧へ」「前へ」「次へ」「再発信」のいずれかを ◀ ▶ で選び、決定 を押す

■スターメニュー
お知らせ
レポートを読む

2/26［月］　アップロード失敗

2/26　20:00　センターへの接続に失敗しました。
電話線の接続を確認してから、
下の「再発信」を選択してください。
（注意）選択後はすぐに電源を切らないでください。

一覧へ　前へ　次へ　再発信

4 スタートメニュー を押し、スタートメニュー画面を終了する

おしらせ

- アップロードに失敗したときは、「再発信」を選んで 決定 を押すと、アップロードしなおすことができます。

B-CASカード番号を見る

受信機レポートで報告された不具合に関して、放送事業者のカスタマーセンターに連絡されるときに、お客さまの契約確認のためB-CASカード番号を表示するものです。

1 ① スタートメニュー を押し、メニュー画面を表示する
② ▲ ▼ ◀ ▶ で「お知らせ」を選び、決定 を押す
③ ▲ ▼ で「B-CASカード番号表示」を選び、決定 を押す

■スタートメニュー
お知らせ

表示する情報を選択してください。

受信メッセージ一覧
ボード
受信機レポート
Ｂ－ＣＡＳカード番号表示
ＰＰＶ購入履歴

2 「実行」で 決定 を押し、B-CASカード番号表示を実行する

■スタートメニュー
お知らせ
Ｂ－ＣＡＳカード番号表示

Ｂ－ＣＡＳカードのカード番号を表示します。
実行

次ページの手順3へつづく

3 ① カード番号を確認する

② 「確認」で (決定) を押す

■スタートメニュー
お知らせ
B－CASカード番号表示

カード識別	カードＩＤ
Ａ００１	００００－００００－００００－００００－００００

カード識別	グループＩＤ
Ａ００１	００００－００００－００００－００００－００００
Ａ００１	００００－００００－００００－００００－００００

B－CASカードのカード番号が確認できました。

確認

カード識別 ････ メーカー識別用のアルファベット1文字と3桁の数字からなります。

カードID ･･････ カード固有の番号です。

グループID ････ 複数セットで同一契約が可能になります。このときに同一のグループIDが異なるB-CASカードに書き込まれます。

4 (スタートメニュー)を押し、スタートメニュー画面を終了する

PPV購入履歴を見る

購入した最新24番組のPPV番組の購入日時、チャンネル、番組名、購入金額を画面に表示して確認することができます。

1 ① (スタートメニュー)を押し、メニュー画面を表示する

② ▲ ▼ ◀ ▶ で「お知らせ」を選び、(決定) を押す

③ ▲ ▼ で「PPV購入履歴」を選び、(決定) を押す

■スタートメニュー
お知らせ

表示する情報を選択してください。

受信メッセージ一覧
ボード
受信機レポート
B－CASカード番号表示
ＰＰＶ購入履歴

- PPV購入履歴画面が表示されます。

2 ① 画面を確認する

② 「確認」で (決定) を押す

■スタートメニュー
お知らせ
ＰＰＶ購入履歴

購入日時	ＣＨ	番組名	購入金額
1/24［木］午前10:00	ＢＳ １０１	ＳＴＡＲ ＷＡＲＳ	500円▲
1/26［土］午後11:00	ＢＳ １６１	ＳＴＡＲ ＴＲＥＫ	500円
1/27［日］午後11:00	ＢＳ １４１	ＳＴＡＲ ＴＲＥＫ	500円
1/28［月］午後11:00	ＢＳ １４１	ＳＴＡＲ ＴＲＥＫ	500円▼

本日までに購入したＰＰＶ番組を最新２４番組表示します。

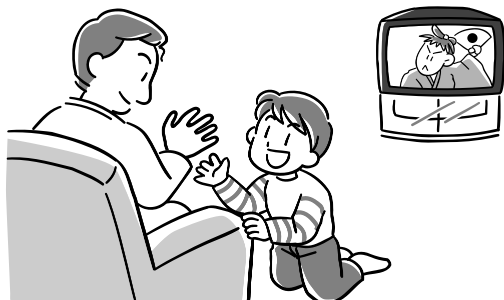
確認

3 (スタートメニュー)を押し、スタートメニュー画面を終了する

いろいろな設定

ここでは、本機の機能をより活用していただくため再生や録画などに関するいろいろな設定について説明しています。

• タイトルや各機能の説明に表示されている HDD　DVD VIDEO　DVD RW（VRモード）　DVD RW（ビデオモード）　DVD R　ビデオCD　音楽用CD　メモリーカード のマークは機能ごとに使えるディスクの種類を表しています。



録画に関する設定を行う（録画機能設定）

ここでは、「録画機能設定」について説明します。

録画機能設定の種類

基本的な操作方法は**124**ページをご覧ください。

録画先・モード設定

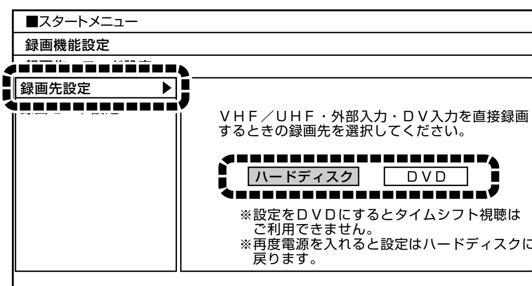
HDD　DVD RW（VRモード）　DVD RW（ビデオモード）　DVD R

• ダイレクト録画するときの録画先と録画モードの設定をします。
DVDには、デジタル放送を直接録画することはできません。
• 「録画機能設定」から「録画先・モード設定」を選びます。
• 工場出荷時、録画先は、「ハードディスク」に設定されています。
• 電源を入れると、録画先が「ハードディスク」に、録画モードが「FINE」に戻ります。

■録画先設定

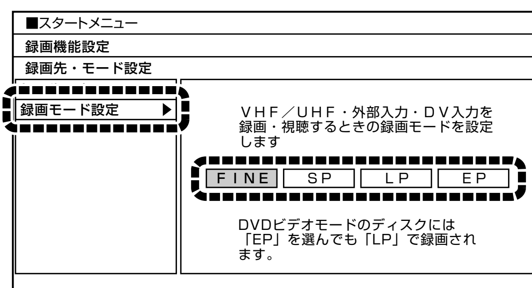
●「ハードディスク」: [録画] を押したとき、ハードディスクに録画するように設定します。

●「DVD」: [録画] を押したとき、DVDに録画するように設定します。
「DVD」に設定するとタイムシフトは働きません。
• PCカードを楽しむときは「DVD」にします。



■録画モード設定

●「FINE」: 高画質な映像で録画したいときに選びます。
●「SP」: 標準的な録画モードです。
●「LP」: 多少画質が落ちても長く記録したいときに選びます。
●「EP」: 録画時間を優先したいときに選びます。



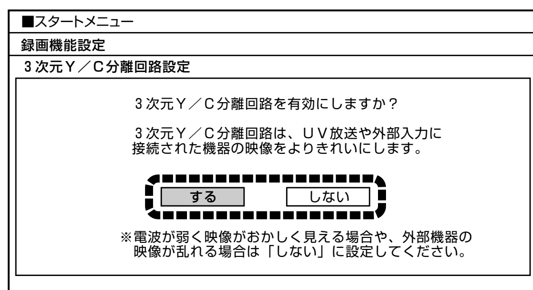
おしらせ

• ハードディスクにデジタル放送を録画するときは、放送の画質に合わせ本機が自動で画質（HD/SD）を設定します。
• 録画モードの設定はVHF/UHF放送・外部入力・DV入力時に有効になります。デジタル放送録画においてはハイビジョン放送はHDで、標準放送はSDで録画されます。（デジタル放送の画質に準じて録画されます。）

3次元Y/C分離回路設定

HDD　DVD RW（VRモード）　DVD RW（ビデオモード）　DVD R

• 3次元 Y/C分離回路は、テレビ放送や外部入力に接続された機器の映像をよりきれいに見たり、録画したりする機能です。
• 「録画機能設定」から「3次元Y/C分離回路設定」を選びます。



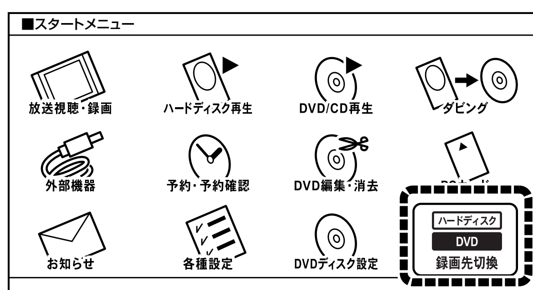
●**入**: より高画質の録画ができます。
（通常は「入」に設定します。）

●**切**: 電波の弱い放送を受信していて映像がおかしく見える場合や、本機の外部入力端子にビデオやゲーム機などを接続したときに映像が乱れる場合は「切」にします。

※DV入力、i.LINKやS映像では働きません。

録画先切換について

120ページに記載の録画先設定はスタートメニューの「録画先切換」項目からも行えます。



• 「録画先切換」を選び 決定 を押す。

録画先が「ハードディスク」または「DVD」に切り換わります。

DVD録画設定の種類

DVDに録画するときに関する設定をします。
基本的な操作方法は**124**ページをご覧ください。

オートチャプター設定

DVD RW ビデオモード　DVD R

- ビデオモードで録画するとき、自動的に入るチャプターの間隔を設定します。
- 「DVD録画設定」から「オートチャプター設定」を選びます。

■スタートメニュー
録画機能設定
オートチャプター設定
録画開始設定
外部音声入力設定
ビデオモード音声設定
自動初期化モード設定
ビデオモードで録画するとき、自動的に入るチャプターの間隔を設定してください。
3 分
※「－－」を選んだ場合はオートチャプターを行いません。

3	5	10	15	30	—
約3分おき	約5分おき	約10分おき	約15分おき	約30分おき	オートチャプターなし

※ジャスト録画が「入」のときは、オートチャプター間隔が少し短くなります。(最大約1分)

ジャスト録画設定

DVD RW VRモード　DVD RW ビデオモード　DVD R

- タイマー予約録画「Gコード予約/日時指定予約」や「ダビング/ダビング予約」時、ディスクの空きが少なく設定した録画モードでは録画しきれないときに、本機が自動的に録画モードを変更し、録画切れを防ぐ機能です。ジャスト録画された映像は、設定された録画モードより低い録画モードとなりますので多少画質が落ちて録画されます。

※ • ジャスト録画は、予約した順に録画していき、次に予約されている番組が、設定されている録画モードではディスクの空き容量が少なく録画しきれないときに働く機能です。(録画時間に対しディスク空き容量が多めに残る場合があります。)
 • ディスクの空きが著しく足りないときは、ジャスト録画を設定しても録画しきれないことがあります。
 • 録画モードを「EP」に設定したVRモードでの日時指定予約録画や、録画モードを「LP」に設定したビデオモードでの日時指定予約録画では働きません。

- 「DVD録画設定」から「ジャスト録画設定」を選びます。

■スタートメニュー
録画機能設定
ＤＶＤ録画設定
ジャスト録画設定
外部音声入力設定
ビデオモード音声設定
自動初期化モード設定
ＤＶＤへの予約録画またはダビング時、ディスクの空きが少なく録画しきれない場合、録画モードを自動変更しますか？
する　しない
※「しない」に設定した場合は予約時に設定したモードで録画が続きます。

●**する:** 予約録画時に、自動的に録画モードを変更して録画切れを防ぎます。
●**しない:** 予約時に設定した録画モードで録画が続きます。

録画開始設定

DVD R

- DVD-Rの録画開始操作を、DVD-RWの録画時と同様、録画 を1回押すだけで開始するように変更することができます。出荷時の設定は、録画 を2回押さないと録画を開始しない「2回」になっています。
- 「DVD録画設定」から「録画開始設定」を選びます。

■スタートメニュー
録画機能設定
ＤＶＤ録画設定
オートチャプター設定
録画開始設定
ビデオモード音声設定
自動初期化モード設定
ＤＶＤ－Ｒへの録画開始時、録画ボタンを押す回数を選択してください。
２回　１回

●「2回」: 録画 を2回押すとDVD-Rの録画を開始する
●「1回」: 録画 を1回押すとDVD-Rの録画を開始する

外部音声入力設定

DVD RW VRモード　DVD RW ビデオモード　DVD R

- 外部機器から入力される音声を選びます。
- 「DVD録画設定」から「外部音声入力設定」を選びます。

■スタートメニュー
録画機能設定
ＤＶＤ録画設定
オートチャプター設定
ジャスト録画設定
外部音声入力設定
自動初期化モード設定
外部機器からＤＶＤへ録画する場合、入力される音声を選択してください。
ステレオ　二ヶ国語

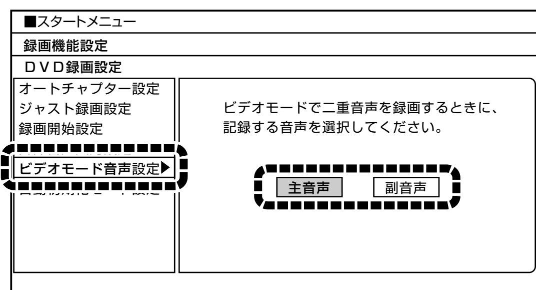
●**ステレオ:** ステレオ音声を記録します。
●**二ヶ国語:** 二ヶ国語放送などの二重音声(主音声･副音声)を記録します。

※二重音声を録画するときは、必ず「二ヶ国語」を選びます。「ステレオ」を選んで録画すると、再生時に主音声と副音声が重なって聞こえます。
※「二ヶ国語」で録画すると、VRモードでは再生時主音声と副音声を切り換えることができます。ビデオモードでは、「ビデオモード音声」で設定している方の音声のみが記録されます。

ビデオモード音声設定

DVD RW ビデオモード　DVD R

- ビデオモードで二重音声を録画（ダビング）するときに、主音声を記録するか副音声を記録するかを選びます。
- 「DVD録画設定」から「ビデオモード音声設定」を選びます。

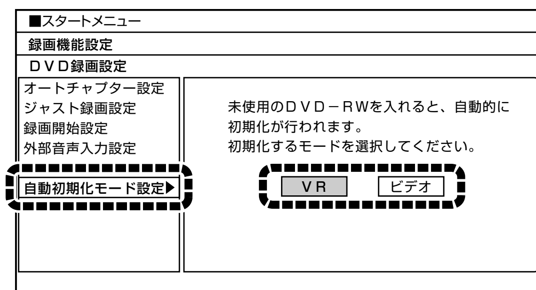


●**「主音声」**：主音声を記録します。
●**「副音声」**：副音声を記録します。

自動初期化モード設定

DVD RW VRモード　DVD RW ビデオモード

- 未使用のDVD-RWを入れると、自動的に初期化がはじまります。VRモードで初期化するか、ビデオモードで初期化するかを選びます。
  ※ DVD-RW（ver.1.1）をセットしたときに働きます。
- 「DVD録画設定」から「自動初期化モード設定」を選びます。



●**VR**：自動的にVRモードで初期化されます。
●**ビデオ**：自動的にビデオモードで初期化されます。



録画機能設定の基本操作

HDD　DVD RW（VRモード）　DVD RW（ビデオモード）　DVD R

下記の設定方法は基本的な設定方法です。項目によっては設定方法が異なる場合があります。
画面の指示に従って操作してください。

おしらせ

- ハードディスク（HDD）やディスクを再生しているときは、（停止／ライブ）を押して再生を止めます。

［例］録画先を設定するとき

1

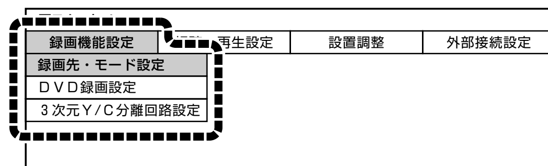
① （スタートメニュー）を押し、スタートメニュー画面を表示する

② （▲）（▼）（◀）（▶）で「各種設定」を選び、（決定）を押す

③ （◀）（▶）で「録画機能設定」を選ぶ

2

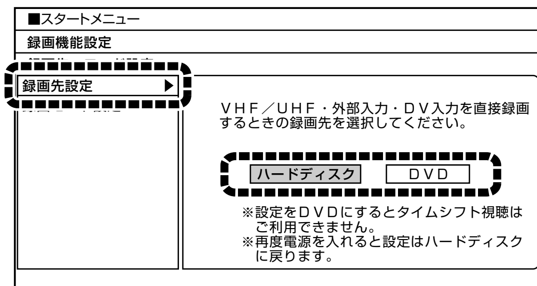
① （▲）（▼）で「録画先・モード設定」を選び、（決定）を押す



② 「録画先設定」で（決定）を押す

3

（◀）（▶）で「ハードディスク」または「DVD」を選び、（決定）を押す



- テレビ画面に戻ります。

ヒント

- スタートメニューの「録画先切換」からも行えます。「録画先切換」で（決定）を押すと録画先がハードディスクまたはDVDに切り換わります。（**121**ページ）

放送視聴・再生に関する設定を行う（視聴・再生設定）

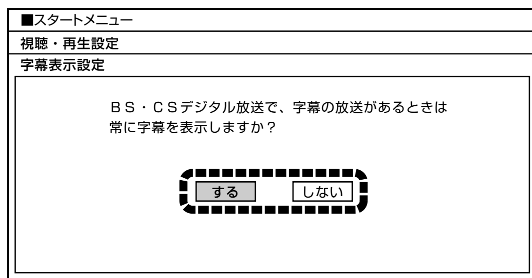
ここでは、「視聴･再生設定」について説明します。

視聴・再生設定の種類

基本的な操作方法は**128**ページをご覧ください。

字幕表示設定

- 字幕のあるデジタル放送の番組で、字幕を常に表示するかしないかを選択できます。
- 工場出荷時の状態では、「しない」に設定されています。
- 「視聴･再生設定」から「字幕表示設定」を選びます。



●「する」： 字幕のあるデジタル放送の番組では、つねに字幕を表示します。

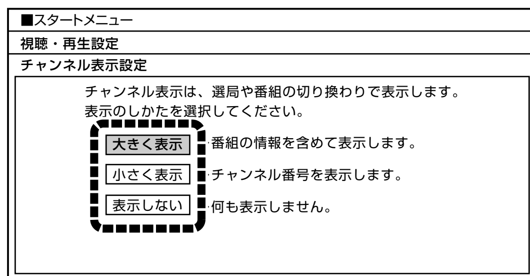
●「しない」： 通常は字幕を表示しません。リモコンの 字幕 で、字幕表示の入／切を選択できます。

おしらせ

- 番組に2つ以上の字幕があるときは、 字幕 をくり返し押してお好みの字幕を選んでください。
- 字幕表示設定を「する」に設定したときは、字幕は消せません。

チャンネル表示設定

- 番組選局や再生開始のときに表示される、チャンネル番号･番組タイトルなどの表示のしかたを選択できます。
- 「視聴･再生設定」から「チャンネル表示設定」を選びます。



●「大きく表示」： 番組タイトル、チャンネル番号、放送時間などを表示します。

●「小さく表示」： 選局時にチャンネル番号だけを表示します。

●「表示しない」： 何も表示しません。

暗証番号設定

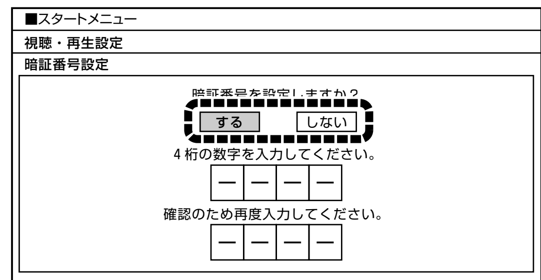
暗証番号の設定をします。
設定方法が、基本操作と少し異なります。
（設定方法について詳しくは**129**ページ）

暗証番号について

本機は、視聴する人の年齢制限や視聴料金の制限など、各種の制限を設けることができます。
これらの制限を通過するときやPPV番組などを購入するときに暗証番号を使います。

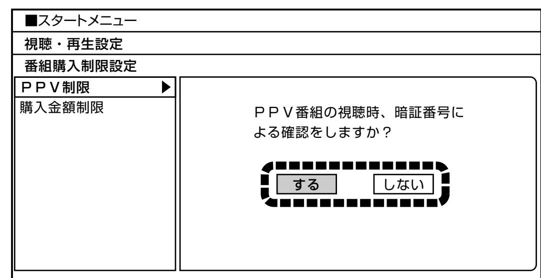
暗証番号は、必ず**４桁の数字**を入力します。

- 「視聴･再生設定」から「暗証番号設定」を選びます。



番組購入制限設定

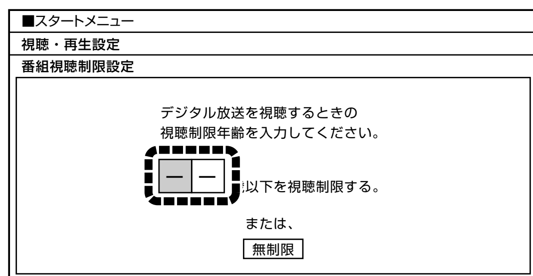
- 暗証番号を入力しないと、PPV番組を購入できないように設定できます。また、PPV番組の購入金額を制限し、設定した以上の金額の番組を購入するときは、暗証番号の入力が必要になるように設定できます。この設定をするためには、あらかじめ暗証番号の設定（**129**ページ）をしておくことが必要です。
- 「視聴･再生設定」から「番組購入制限設定」を選びます。



設定方法が、基本操作と少し異なります。
（設定方法について詳しくは**130**ページ）

番組視聴制限設定

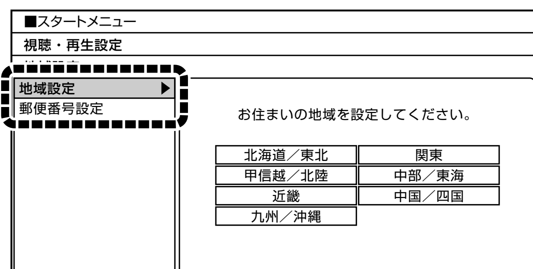
• デジタル放送で年齢制限のある番組の視聴を制限することができます。
なお、年齢制限は4～20歳の範囲で設定できます。
• 「視聴･再生設定」から「番組視聴制限設定」を選びます。



設定方法が、基本操作と少し異なります。
（設定方法について詳しくは**131**ページ）

地域設定

• 引っ越しなどでお住まいが他の地域に移動したときは、「地域設定」と「郵便番号設定」の変更が必要です。
• 緊急ニュースなどの文字スーパーやデータ放送は、地域によって放送される内容が異なることがあります。お客さまがお住まいの地域に向けた情報を受信するために、必ず地域設定を行ってください。
• 「視聴･再生設定」から「地域設定」を選びます。



●**「地域設定」**：　お住まいの地域を選択します。
●**「郵便番号設定」**：郵便番号を入力します。

設定方法が、基本操作と少し異なります。
（設定方法について詳しくは**132**ページ）

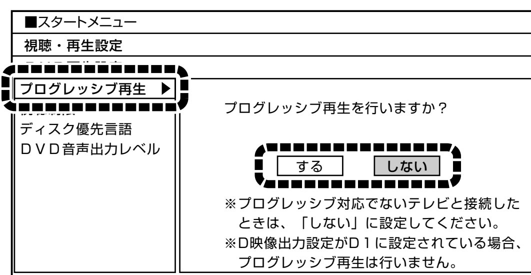
DVD再生設定の種類

DVDを再生するときに関する設定をします。
基本的な操作方法は**128**ページをご覧ください。

プログレッシブ再生

DVD VIDEO　DVD RW VRモード　DVD RW ビデオモード　DVD R

• プログレッシブ対応のテレビとD端子またはコンポーネントで接続してディスクを再生したとき、ちらつきの少ないきれいな映像を楽しむことができます。（プログレッシブ再生）
• 「DVD再生設定」から「プログレッシブ再生」を選びます。



●する（プログレッシブ）：
プログレッシブ対応のテレビで接続したときに設定します。
• お使いのテレビによっては、プログレッシブ映像で4:3画面に切り換えられない場合があります。このようなテレビで映像を4:3画面でご覧になりたい場合には、「プログレッシブ再生」を「しない（インターレース）」に設定してください。
• 本機とプログレッシブ対応テレビの互換性について
現在一部のプログレッシブ対応テレビは本機と完全な互換性が取れていないため、画像に乱れが生じる場合があります。プログレッシブ再生時に不具合が生じた場合は本機の「プログレッシブ再生」を「しない（インターレース）」に設定してください。

●しない（インターレース）：
プログレッシブ対応でないテレビと接続したときは、こちらに設定します。
• プログレッシブ対応でないテレビと接続したときに、「プログレッシブ再生」を「する（プログレッシブ）」に設定すると、映像が出力されなくなります。

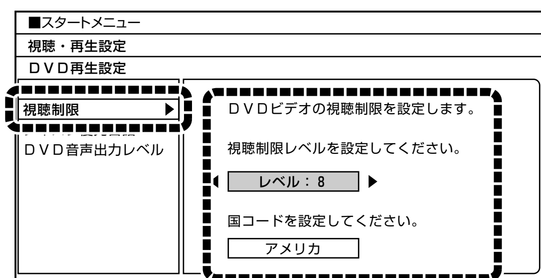
おしらせ

• 「D映像出力設定」（**137**ページ）で「D1」を選んだときは、「プログレッシブ再生」の設定は「しない」になります。
• 静止画（JPEGファイル）を再生しているときは「プログレッシブ再生」を「する」に設定していても「しない」の状態で再生されます。

視聴制限

DVD VIDEO

• 市販されているディスクには、その内容によって国コードと国コードに対応した視聴制限レベルが設定されているものがあります。(**135**ページ)
• 「DVD再生設定」から「視聴制限」を選びます。



設定方法が、基本的操作と少し異なります。
(設定方法について詳しくは**136**ページ)

ディスク優先言語

DVD VIDEO

• 複数の言語で字幕や音声、メニューが記録されているディスクを再生するときに設定します。
• 「DVD再生設定」から「ディスク優先言語」を選びます。



●字幕言語:
設定した言語が優先的に表示されます。

●音声言語:
設定した言語が優先的に再生されます。

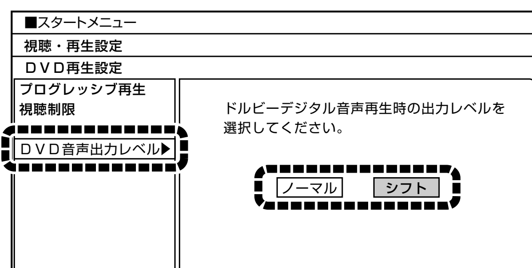
●メニュー言語:
• 設定した言語が優先的に表示されます。
• メニュー言語は、「日本語」→「スウェーデン語」→「オランダ語」→「英語」→「フランス語」→「ドイツ語」→「イタリア語」→「スペイン語」→「コード :AA…ZU」の順で切り換わります。
言語コードの言語名について詳しくは、「言語コード一覧表」(**134**ページ)で確認してください。

設定方法が、基本的操作と少し異なります。
(設定方法について詳しくは**133**ページ)

DVD音声出力レベル

DVD RW (VRモード) | DVD RW (ビデオモード) | DVD VIDEO | DVD R | ビデオCD

• 音の強弱の幅(ダイナミックレンジ)を調整し、平均的な音量で再生します。セリフが聞きづらいとき、深夜に視聴するときなどに調整します。
• 「DVD再生設定」から「DVD音声出力レベル」を選びます。



●DVD音声出力レベル:ノーマル
記録されている音声をそのまま出力します。

●DVD音声出力レベル:シフト
ドルビーデジタル音声を再生したとき、音楽用CDの音声と同じ音量に聞こえるよう、平均音量を上げます。(ディスク再生時、音声がおかしく聞こえるときはノーマルにしてください。)



視聴・再生設定の基本操作

下記の設定方法は基本的な設定方法です。項目によっては設定方法が異なる場合があります。
画面の指示に従って操作してください。

おしらせ

- ハードディスク（HDD）やディスクを再生しているときは、停止/ライブ を押して再生を止めます。

［例］字幕表示を設定するとき

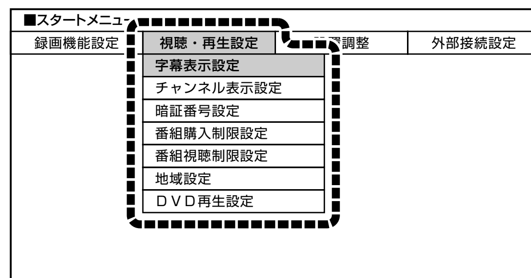
1

① スタートメニュー を押し、スタートメニュー画面を表示する

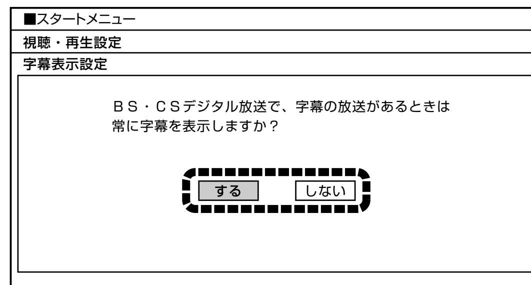
② ▲ ▼ ◀ ▶ で「各種設定」を選び、決定 を押す

③ ◀ ▶ で「視聴・再生設定」を選ぶ

④ ▲ ▼ で「字幕表示設定」を選び、決定 を押す



2 ◀ ▶ で「する」または「しない」を選び、決定 を押す



3 スタートメニュー を押し、スタートメニュー画面を終了する

暗証番号の設定

暗証番号について

本機は、視聴する人の年齢制限や視聴料金の制限など、各種の制限を設けることができます。
これらの制限を通過するときやPPV番組などを購入するときに暗証番号を使います。

暗証番号は、必ず**4桁の数字**を入力します。

おしらせ

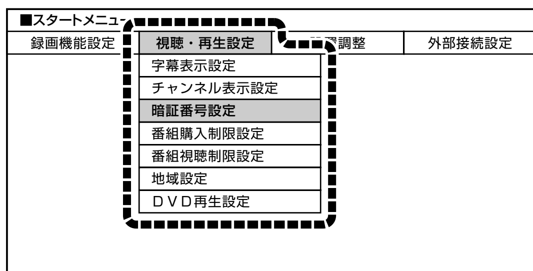
- ハードディスク（HDD）やディスクを再生しているときは、停止/ライブ［■］を押して再生を止めます。

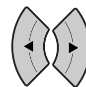
1 ① スタートメニューを押し、スタートメニュー画面を表示する

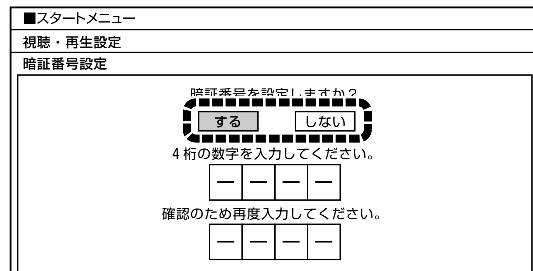
② ▲▼◀▶で「各種設定」を選び、決定を押す

③ ◀▶で「視聴・再生設定」を選ぶ

④ ▲▼で「暗証番号設定」を選び、決定を押す

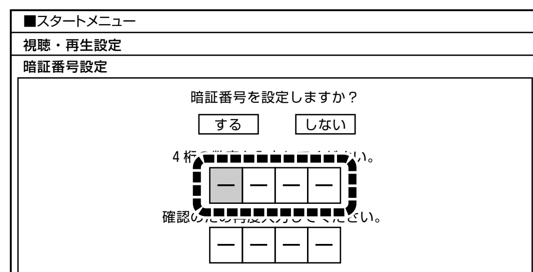


2 で「する」または「しない」を選び、決定を押す



「する」 ・・・・・・ 新しい暗証番号の設定（手順**3**）に進みます。
「しない」 ・・・・・・ 暗証番号の設定や変更をせず、メニュー画面に戻ります。

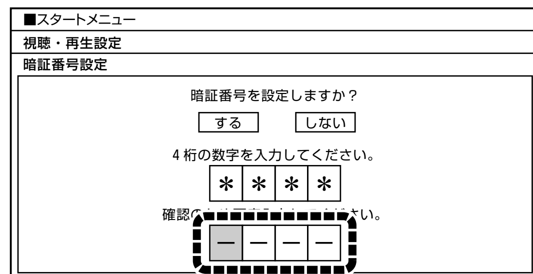
3 数字ボタンで、新しい暗証番号（4桁）を入力する



- ◀を押すと、入力した数字を1桁削除できます。

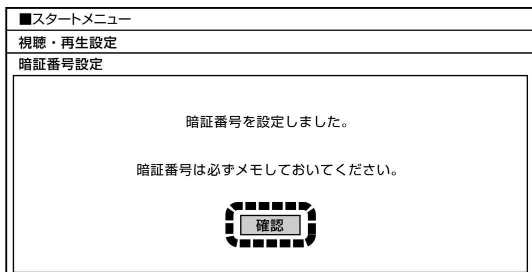
4 確認のため、再度同じ番号を数字ボタンで入力する

- 番号の入力を間違えると、手順**3**からやりなおしになります。



次ページの手順5へつづく

5 暗証番号をメモし、「確認」で（決定）を押す



6 （スタートメニュー）を押し、スタートメニュー画面を終了する

おしらせ

- 暗証番号は必ずメモしてください。

暗証番号を忘れたときは

- 受信契約されている、有料放送の放送局（WOWOWやスターチャンネルなど）までご連絡ください。放送局で前の暗証番号を消去します。
  暗証番号の消去には手数料がかかります。（2002年11月現在）

暗証番号を変更するとき

1
① （スタートメニュー）を押し、スタートメニュー画面を表示する
② ▲ ▼ ◀ ▶ で「各種設定」を選び、（決定）を押す
③ ◀ ▶ で「視聴・再生設定」を選ぶ
④ ▲ ▼ で「暗証番号設定」を選び、（決定）を押す



- 暗証番号を入力すると「暗証番号の設定」の手順**2**（**129**ページ）の画面になります。暗証番号を設定するときと同様の手順で設定しなおしてください。

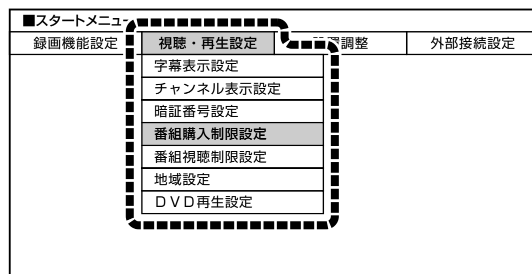
番組購入制限の設定

暗証番号を入力しないと、PPV番組を購入できないように設定できます。またPPV番組の購入金額を制限し、設定した以上の金額の番組を購入するときは、暗証番号の入力が必要になるように設定できます。この設定をするためには、あらかじめ暗証番号の設定（**129**ページ）をしておくことが必要です。

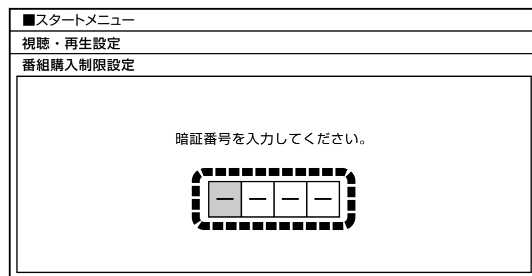
おしらせ

- ハードディスク（HDD）やディスクを再生しているときは、（停止/ライブ ■）を押して再生を止めます。

1
① （スタートメニュー）を押し、スタートメニュー画面を表示する
② ▲ ▼ ◀ ▶ で「各種設定」を選び、（決定）を押す
③ ◀ ▶ で「視聴・再生設定」を選ぶ
④ ▲ ▼ で「番組購入制限設定」を選び、（決定）を押す

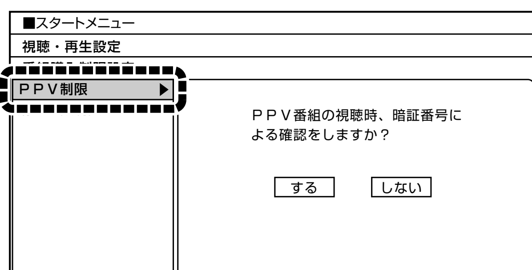


2 数字ボタンで、新しい暗証番号を入力する



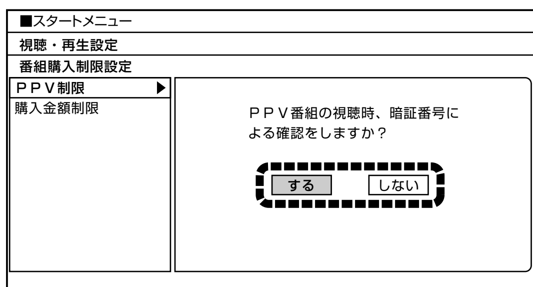
- 番組購入制限設定画面が表示されます。

3 ▲ ▼ で「PPV制限」を選び、（決定）を押す



次ページの手順4へつづく

4 で「する」または「しない」を選び、決定を押す



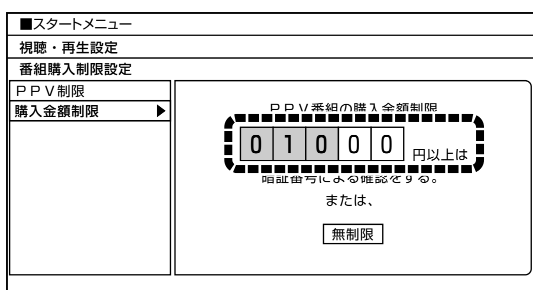
「する」‥‥ PPV番組の購入前に暗証番号の入力が必要になります。
- PPV制限の暗証番号による確認を「する」に設定したときは、実際の番組購入時「購入金額制限」は表示されません。

「しない」‥ PPV番組の購入前に暗証番号の入力は必要ありません。

5 ① ▲▼で「購入金額制限」を選び、決定を押す

② ▲▼で購入金額欄を選び、購入金額の上限を数字ボタンで入力し、決定を押す。

[例] 1,000円のとき



- 購入金額の制限を設けない場合は、▲▼で「無制限」を選び、決定を押します。

6 スタートメニューを押し、スタートメニュー画面を終了する

デジタル放送の番組視聴制限の設定

デジタル放送で年齢制限のある番組の視聴を制限することができます。
なお、年齢制限は4～20歳の範囲で設定できます。
暗証番号を入力しないと、視聴制限を変更できなくするように設定できます。この設定をするためには、あらかじめ暗証番号の設定（**129**ページ）をしておくことが必要です。

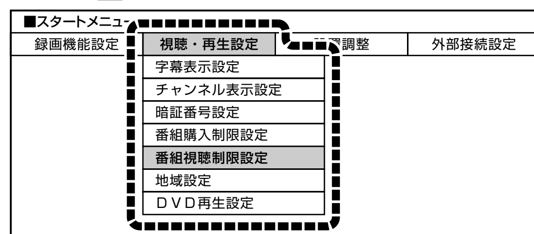
おしらせ
- ハードディスク（HDD）やディスクを再生しているときは、停止/ライブを押して再生を止めます。

1 ① スタートメニューを押し、スタートメニュー画面を表示する

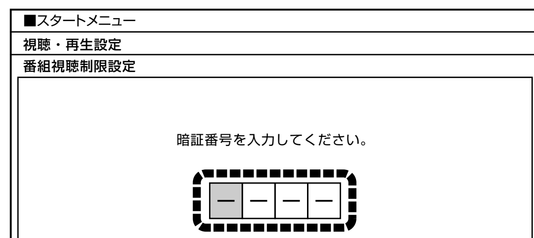
② ▲▼◀▶で「各種設定」を選び、決定を押す

③ ◀▶で「視聴・再生設定」を選ぶ

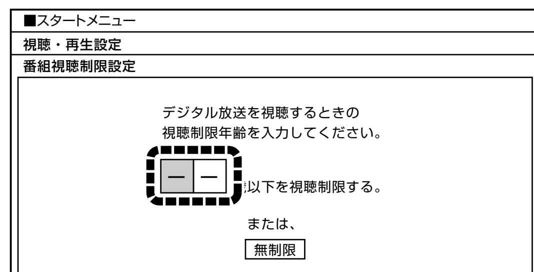
④ ▲▼で「番組視聴制限設定」を選び、決定を押す



2 数字ボタンで暗証番号を入力する



3 ▲▼で年齢入力欄を選び、制限する年齢を数字ボタンで入力し、決定を押す



- 年齢制限を設けない場合は、▲▼で「無制限」を選び、決定を押します。

4 スタートメニューを押し、スタートメニュー画面を終了する

次ページへつづく ▶▶▶

地域と郵便番号の設定

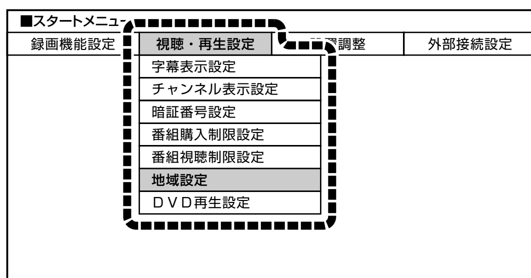
- 引っ越しなどでお住まいが他の地域に移動したときは、「地域設定」と「郵便番号設定」の変更が必要です。
- 緊急ニュースなどの文字スーパーやデータ放送は、地域によって放送される内容が異なることがあります。お客さまがお住まいの地域に向けた情報を受信するために、必ず地域設定を行ってください。

おしらせ

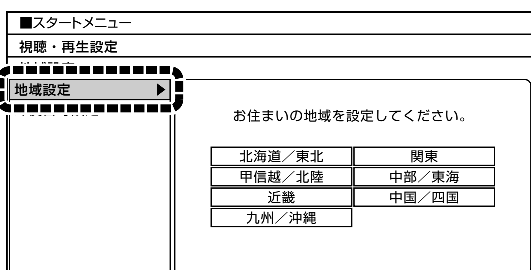
- ハードディスク（HDD）やディスクを再生しているときは、停止/ライブ［■］を押して再生を止めます。

地域設定

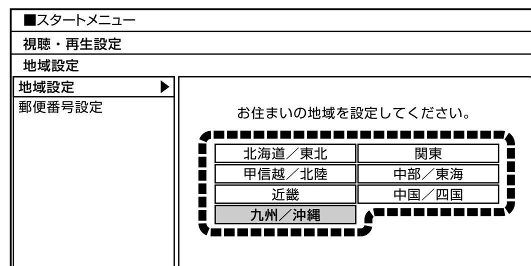
1
① （スタートメニュー）を押し、スタートメニュー画面を表示する
② ▲ ▼ ◀ ▶ で「各種設定」を選び、（決定）を押す
③ ◀ ▶ で「視聴・再生設定」を選ぶ
④ ▲ ▼ で「地域設定」を選び、（決定）を押す



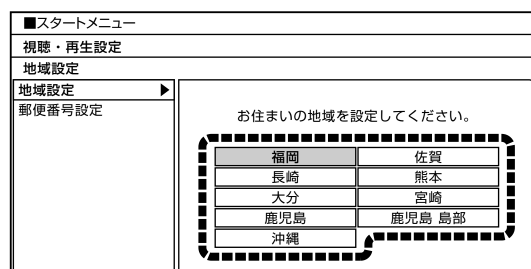
2
▲ ▼ で「地域設定」を選び、（決定）を押す



3
お住まいの地域を ▲ ▼ ◀ ▶ で選び、（決定）を押す

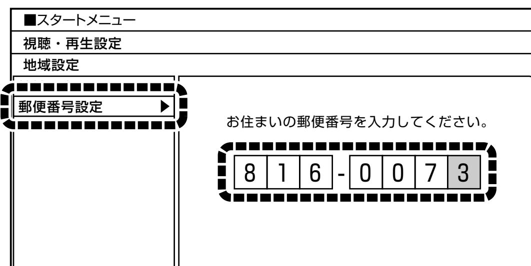


4
お住まいの都道府県を ▲ ▼ ◀ ▶ で選び、（決定）を押す



郵便番号設定

5
① ▲ ▼ で「郵便番号設定」を選び、（決定）を押す
② 数字ボタンでお住まいの郵便番号を入力し、（決定）を押す



- 入力した番号を修正するときは、◀ ▶ で修正したい欄を選び、数字ボタンで入力しなおします。

6
（スタートメニュー）を押し、スタートメニュー画面を終了する

ディスク優先言語の設定

DVD VIDEO

複数の言語で字幕や音声、メニューが記録されているディスクを再生するときに設定します。

おしらせ

- ハードディスク（HDD）やディスクを再生しているときは、停止/ライブ（■）を押して再生を止めます。

ディスク優先言語を設定する

1

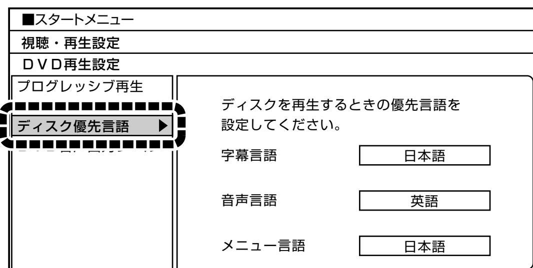
① スタートメニューを押し、スタートメニュー画面を表示する

② ▲ ▼ ◀ ▶ で「各種設定」を選び、決定を押す

③ ◀ ▶ で「視聴・再生設定」を選ぶ

④ ▲ ▼ で「DVD再生設定」を選び、決定を押す

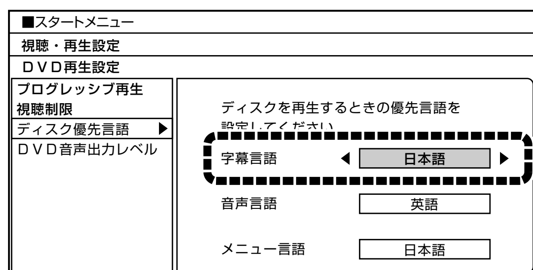
⑤ ▲ ▼ で「ディスク優先言語」を選び、決定を押す



2

① ▲ ▼ で「字幕言語」を選ぶ

② ◀ ▶ で希望の字幕言語を選ぶ

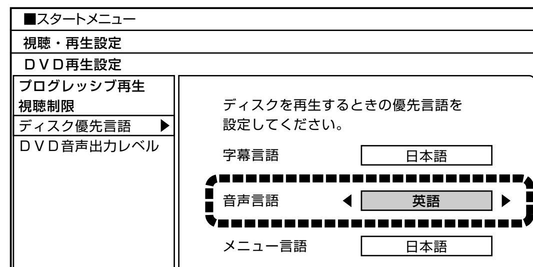


- 設定した言語が優先的に表示されます。

3

① ▲ ▼ で「音声言語」を選ぶ

② ◀ ▶ で希望の音声言語を選ぶ

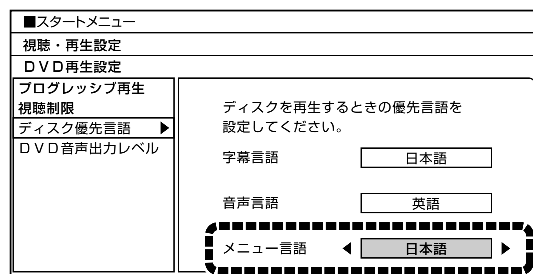


- 設定した言語が優先的に再生されます。

4

① ▲ ▼ で「メニュー言語」を選ぶ

② ◀ ▶ で希望のメニュー言語を選び、決定を押す



- 設定した言語が優先的に表示されます。
- メニュー言語は、「日本語」→「スウェーデン語」→「オランダ語」→「英語」→「フランス語」→「ドイツ語」→「イタリア語」→「スペイン語」→「コード：AA…ZU」の順で切り換わります。
  言語コードの言語名について詳しくは、「言語コード一覧表」（**134**ページ）で確認してください。

5

スタートメニューを押し、スタートメニュー画面を終了する

言語コード一覧表

記号	言語名
AA	アファル語
AB	アブバジア語
AF	アフリカーンス語
AM	アムハラ語
AR	アラビア語
AS	アッサム語
AY	アイマラ語
AZ	アゼルバイジャン語
BA	バジキール語
BE	ベラルーシ語
BG	ブルガリア語
BH	ビハーリー語
BI	ビスラマ語
BN	ベンガル語、バングラ語
BO	チベット語
BR	ブルトン語
CA	カタロニア語
CO	コルシカ語
CS	チェコ語
CY	ウェールズ語
DA	デンマーク語
DE	ドイツ語
DZ	ブータン語
EL	ギリシャ語
EN	英語
EO	エスペラント語
ES	スペイン語
ET	エストニア語
EU	バスク語
FA	ペルシャ語
FI	フィンランド語
FJ	フィジー語
FO	フェロー語
FR	フランス語
FY	フリジア語
GA	アイルランド語
GD	スコットランドゲール語
GL	ガルシア語
GN	グアラニ語
GU	グジャラート語

記号	言語名
HA	ハウサ語
HI	ヒンディ語
HR	クロアチア語
HU	ハンガリー語
HY	アルメニア語
IA	国際語
IE	国際語
IK	イヌピック語
IN	インドネシア語
IS	アイスランド語
IT	イタリア語
IW	ヘブライ語
JA	日本語
JI	イディッシュ語
JW	ジャワ語
KA	グルジア語
KK	カザフ語
KL	グリーンランド語
KM	カンボジア語
KN	カンナダ語
KO	韓国語
KS	カシミール語
KU	クルド語
KY	キルギス語
LA	ラテン語
LN	リンガラ語
LO	ラオス語
LT	リトアニア語
LV	ラドビア語、レット語
MG	マダカスカル語
MI	マオリ語
MK	マケドニア語
ML	マラヤーラム語
MN	モンゴル語
MO	モルダビア語
MR	マラータ語
MS	マレー語
MT	マルタ語
MY	ミャンマー語
NA	ナウル語

記号	言語名
NE	ネパール語
NL	オランダ語
NO	ノルウエー語
OC	プロバンス語
OM	アファン語（オロモ語）
OR	オリヤー語
PA	パンジャブ語
PL	ポーランド語
PS	パシュトー語
PT	ポルトガル語
QU	ケチュア語
RM	ラエティ=ロマン語
RN	キルンディ語
RO	ルーマニア語
RU	ロシア語
RW	キニャルワンダ語
SA	サンスクリット語
SD	シンド語
SG	サンゴ語
SH	セルビアクロアチア語
SI	シンハラ語
SK	スロバキア語
SL	スロベニア語
SM	サモア語
SN	ショナ語
SO	ソマリ語
SQ	アルバニア語
SR	セルビア語
SS	シスワティ語
ST	セストゥ語
SU	スンダ語
SV	スウェーデン語
SW	スワヒリ語
TA	タミール語
TE	テルグ語
TG	タジク語
TH	タイ語
TI	ティグリニャ語
TK	トゥルクメン語
TL	タガログ語
TN	セツワナ語
TO	トンガ語

記号	言語名
TR	トルコ語
TS	ツォンガ語
TT	タタール語
TW	トウィ語
UK	ウクライナ語
UR	ウルドゥ語
UZ	ウズベク語
VI	ベトナム語
VO	ボラピュク語
WO	ウォロフ語
XH	コーサ語
YO	ヨルバ語
ZH	中国語
ZU	ズール語

視聴制限の設定

DVD VIDEO

- 暴力シーンなどを含むDVDビデオには、視聴制限レベルを設けているものがあります。本機でレベルを設定し、暴力シーンなどを再生できないようにします。
- 停止中（またはディスクをセットしていないとき）に操作します。

視聴制限について

■国コードについて

本機は、次の国コードを設定することができます。
国コードは、ディスクに指定されている国コードを指定します。

国コード一覧表

アメリカ	フィンランド
カナダ	ベルギー
日本	香港
ドイツ	シンガポール
フランス	タイ
イギリス	マレーシア
イタリア	インドネシア
スペイン	台湾
スイス	フィリピン
スウェーデン	オーストラリア
オランダ	ロシア
ノルウェー	中国
デンマーク	—

■暗証番号について

本機で設定した視聴制限レベルを容易に変更できないようにするため、暗証番号を設定します。暗証番号は下記のようなときに必要となります。

- 本機で設定した視聴制限レベルを変更するとき。
- ディスクを再生中に視聴制限が働いたとき。（視聴制限レベル一時変更）

■一般的なパレンタルレベル設定（各レベルと、再生できる内容）

レベル	再生内容	
1	子供向けディスクを再生することができます。成人指定ディスクと一般向けディスク（R指定含む）は再生できません。	レベル1のディスクは、大人から子供まで誰でも楽しめる内容です。
2~3	一般向けディスク（R指定を除く）と子供向けディスクを再生することができます。成人指定ディスクと一般向け制限付き（R）指定ディスクは再生できません。	
4~7	一般向けディスク（R指定を含む）と子供向けディスクを再生することができます。成人指定ディスクは再生できません。	レベル4 ～7 のディスクは中学生以下が見ることができない内容です。
8	すべてのディスクを制限無しで再生することができます。	レベル8のディスクは成人しか見ることのできない内容です。
「切」	パレンタルレベルを「切」にします。	

視聴制限を設定する

おしらせ

- ハードディスク（HDD）やディスクを再生しているときは、停止/ライブ ■ を押して再生を止めます。

1

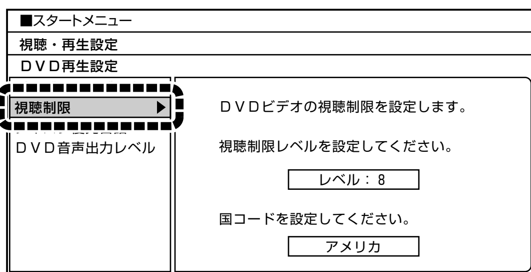
① スタートメニュー を押し、スタートメニュー画面を表示する

② ▲ ▼ ◀ ▶ で「各種設定」を選び、決定 を押す

③ ◀ ▶ で「視聴・再生設定」を選ぶ

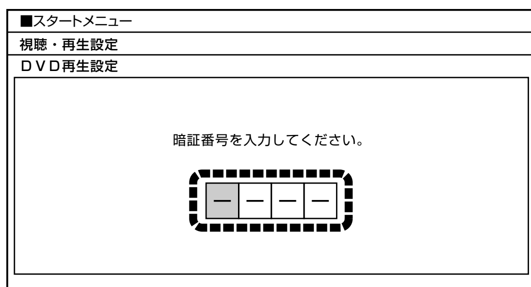
④ ▲ ▼ で「DVD再生設定」を選び、決定 を押す

⑤ ▲ ▼ で「視聴制限」を選び、決定 を押す



- 「視聴・再生設定」の「暗証番号設定」（**125**、**129** ページ）で暗証番号を設定しているときは、暗証番号入力画面になります。
- 設定を途中で止めるときは 戻る を押してください。1つ前の画面に戻ります。

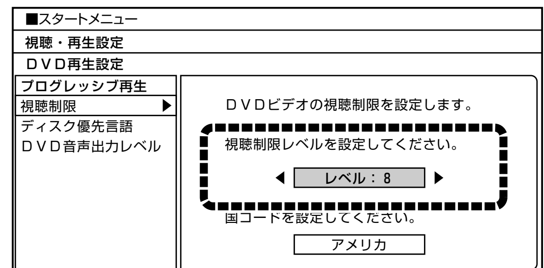
2 数字ボタンで暗証番号を入力する



3

① ▲ ▼ で「視聴制限レベルを設定してください」を選ぶ

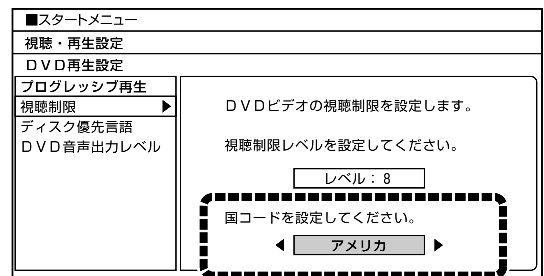
② ◀ ▶ でレベルを選ぶ



4

① ▲ ▼ で「国コードを設定してください」を選ぶ

② ◀ ▶ で国名を選び、決定 を押す



5 スタートメニュー を押し、スタートメニュー画面を終了する

ご注意

- 設定したパレンタルレベルが正しく働くかどうか、ディスクを再生してご確認ください。正しく働かないときは、国コードを変更して、再度ご確認ください。

おしらせ

- 再生中に、視聴制限が働いて見られないシーンにくると、視聴制限一時変更画面が表示されます。このとき暗証番号を入力して一時的に視聴制限レベルを変更することができます。

設置に関する調整を行う

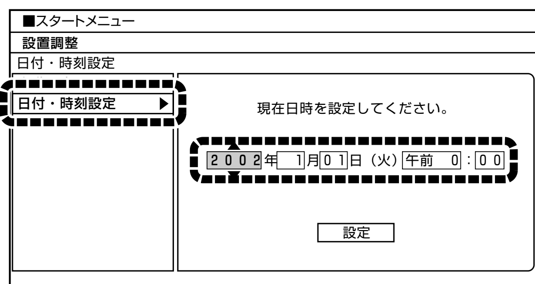
ここでは、「設置調整」について説明します。

設置調整の種類

基本的な操作方法は**140**ページをご覧ください。

日付・時刻設定

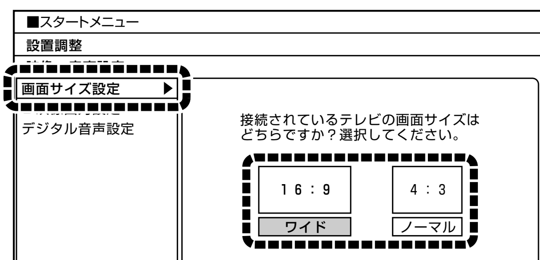
- 予約設定の前に時計が合っていることを確認し、合っていない場合は時計を合わせてください。時計合わせがされていないと、Gコード予約などの設定ができません。
- BS・110度CSデジタル放送を受信すると自動的に時計合わせされますので、その場合はこの操作は不要です。
- 「設置調整」から「日付・時刻設定」を選びます。



設定方法が、基本操作と少し異なります。
設定方法について詳しくは、別冊の取扱説明書「1.接続・準備編」**39**ページをご覧ください。

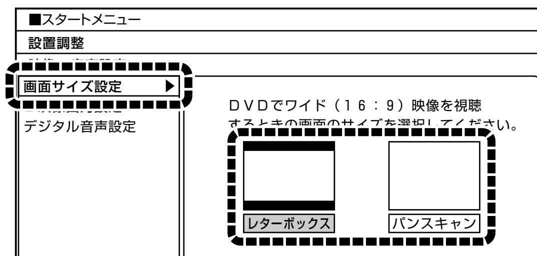
画面サイズ設定

- テレビを買い換えたときなど、接続するテレビの画面サイズが変わったときは、「画面サイズ設定」の変更が必要です。
- 接続するテレビの画面サイズ（横縦比）を設定し、映像出力を合わせます。
- 「映像・音声設定」から「画面サイズ設定」を選びます。



●「16:9ワイド」： 16:9画面サイズのテレビと接続するときに設定します。
●「4:3ノーマル」： 4:3画面サイズのテレビと接続するときに設定します。

画面サイズ設定を「4:3ノーマル」に設定したときは、下記の画面になります。
DVDでワイド（16:9）映像を再生するときの画面サイズを設定します。



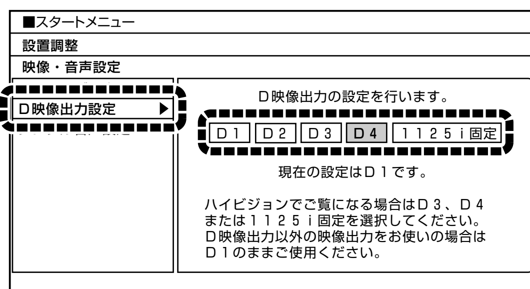
●「レターボックス」： 再生画像の比率を維持できるよう縮小し、上下に黒い帯をいれて再生します。
●「パンスキャン」： 再生画像の左右をカットし、4:3のサイズで再生します。

D映像出力設定

- テレビを買い換えたときなど、接続するテレビの端子の種類が変わったときは、「D映像出力設定」の変更が必要です。
- 接続するテレビのD端子の種類に合わせて、D映像出力（D1／D2／D3／D4／1125i固定）の設定をします。
- 「映像・音声設定」から「D映像出力設定」を選びます。

テレビ端子と本機設定の組合せ

接続するテレビの端子の種類	本機の設定
D1	D1
D2	D2
D3	D3
D4	D4
コンポーネント(Y, PB(CB), PR(CR))	1125i固定

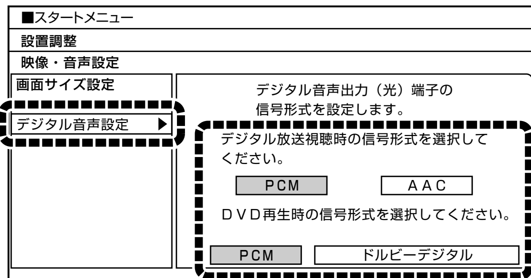


おしらせ

- S映像/映像出力端子をテレビと接続している場合、「D1」以外の設定をすると映像が出力されなくなります。
- リセットボタンを押したときは、D映像出力の設定が「D1」に戻ります。「D2」「D3」「D4」「1125i固定」を選んでいた場合は、スタートメニューで再度設定をしてください。

デジタル音声設定

- デジタル入力端子付き機器とデジタル接続して、ドルビーデジタルサラウンドなどを楽しむときに設定します。
- 「映像・音声設定」から「デジタル音声設定」を選びます。



●PCM:
2chオーディオ機器やMDとデジタル接続して楽しむことができます。ドルビーデジタル音声を、2chオーディオ機器で再生可能なPCM（非圧縮）音声にして出力します。

●AAC:
AAC対応のAVアンプなどを接続するときに選択します。

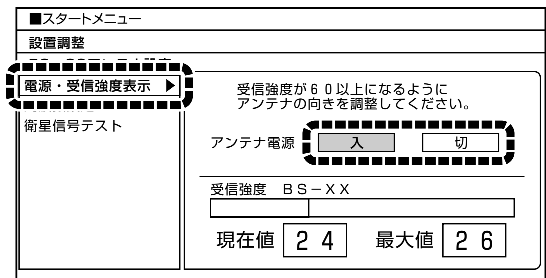
●ドルビーデジタル:
ドルビーデジタル（5.1ch）対応のオーディオ機器とデジタル接続してドルビーサラウンドが楽しめます。
DTSデジタルサラウンド対応のアンプ等と接続してDTS音声が楽しめます。
設定方法について詳しくは**158**ページをご覧ください。

BS・CSアンテナ設定

- BS・110度CSアンテナを買い換えたときや、引っ越しなどでアンテナの設置場所を移動したときは、「アンテナ設定」のしなおしが必要になります。その場合、アンテナ設定画面を表示しながら設定を行うことができます。
- 「設置調整」から「BS・CSアンテナ設定」を選びます。

おしらせ

- アンテナ設定を行うと、タイムシフト視聴用として自動録画されていたものは消去されます。



●電源・受信強度表示：　アンテナに電源を供給するしないを設定します。
また、アンテナの受信強度を確認、調整します。

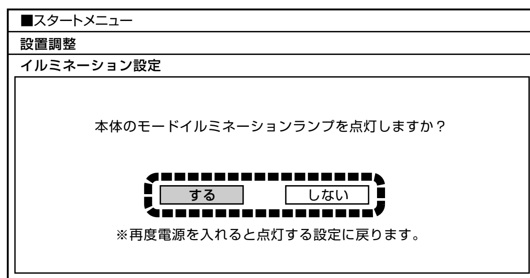
●周波数設定：　周波数を設定します。

●衛星信号テスト：　衛星信号をテストします。

設定方法が、基本操作と少し異なります。
（設定方法について詳しくは**141**ページ）

イルミネーション設定

- モードイルミネーションランプを点灯させるか消灯させるかを設定します。
- 「設置調整」から「イルミネーション設定」を選びます。



●「する」：　本機の動作中、モードイルミネーションランプを点灯するように設定します。

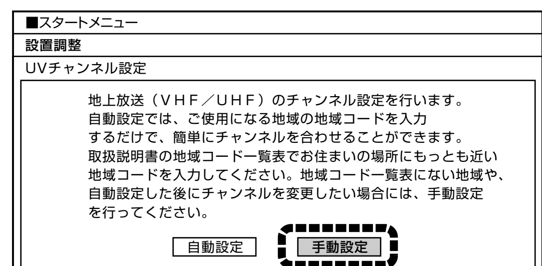
●「しない」：　動作中でも、モードイルミネーションランプを点灯しないように設定します。

おしらせ

- 再度電源を入れると、設定は「する」になります。

UVチャンネル設定

- VHF/UHF放送の受信チャンネルを、地域コードを入力して自動設定または手動設定します。
- 「設置調整」から「UVチャンネル設定」を選びます。

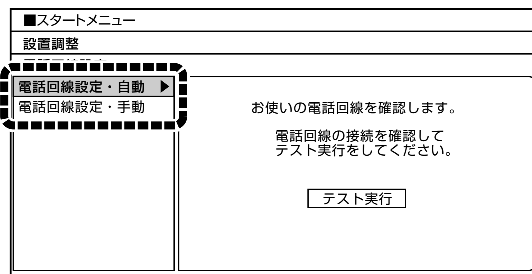


設定方法が、基本操作と少し異なります。
設定方法について詳しくは、別冊の取扱説明書「1.接続・準備編」**40**ページをご覧ください。

電話回線の設定

- 引っ越しなどで電話回線の種類を変えたときは、「電話回線設定」のしなおしが必要になります。
- 電話回線には、つぎの3つの種類があります。
- 「設置調整」から「電話回線設定」を選びます。

種類	発信音	本機の設定
ダイヤル回線20pps（パルス20）	チチチ.....または トトト.....（速）	20pps
ダイヤル回線10pps（パルス10）	チチチ.....または トトト.....（遅）	10pps
プッシュ回線（トーン）	ピポパ.....	トーン



●**電話回線設定・自動**： 電話回線の設定を自動で行います。
●**電話回線設定・手動** ：電話回線の設定を手動で行います。

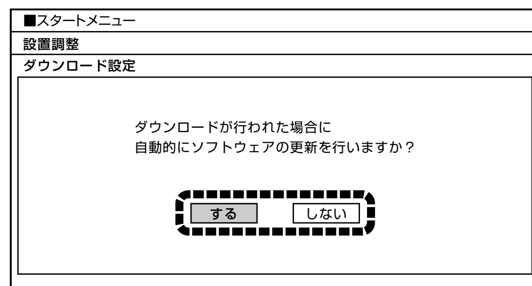
おしらせ

- 電話回線のテスト実行には、回線接続料がかかります。

設定方法が、基本操作と少し異なります。
（設定方法について詳しくは別冊の取扱説明書「1.接続・準備編」**33**ページ）

ダウンロード設定

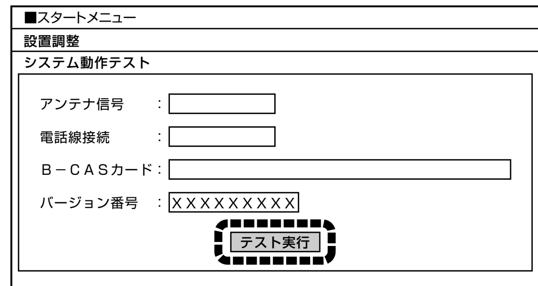
- ダウンロードとは、衛星放送の電波を使って、本機のソフトウェアを新しいソフトウェアに書き換えることです。これにより、受信機の機能を向上させたり、新たなサービスに対応することが可能となります。
- 本機では、ダウンロードを自動的に行うか否かを設定することができます。
- 「設置調整」から「ダウンロード設定」を選びます。



●**「する」**： 本機が電源「切」のとき自動ダウンロードでソフトウェアの更新を行います。（工場出荷時の設定）
●**「しない」**： ソフトウェアの自動ダウンロードを行いません。

システム動作テスト

- 本機は、アンテナや電話回線が正しく接続されているか、また、B-CASカードが正しく装着されているかなどをテストすることができます。
- 「設置調整」から「システム動作テスト」を選びます。



「テスト実行」で (決定) を押し、テストを開始する

- 表示が「テスト実行中」に変わります。
  テストが終了すると「テスト終了」になります。

システム動作テストに失敗したときは

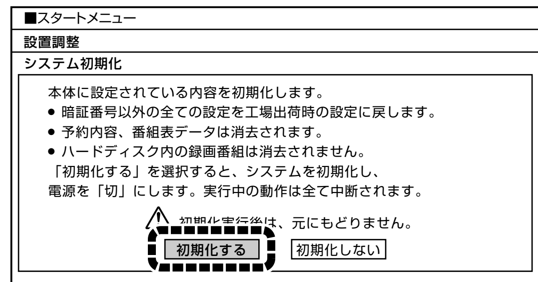
アンテナ信号
アンテナの接続と設定を確認してください。 ⇨ **141** ページ、別冊の取扱説明書「1.接続・準備編」**17**ページ

電話線接続
電話回線の接続と設定を確認してください。 ⇨別冊の取扱説明書「1.接続・準備編」**24**、**25**、**33**ページ

B-CASカード
B-CASカードが正しく挿入されているか確認してください。⇨別冊の取扱説明書「1.接続・準備編」**37**ページ

システム初期化

- システムに保存している情報を初期状態（工場出荷時の状態）に戻します。
- 初期化を実行すると、予約内容、番組表データは消去されますが、ハードディスク内の録画番組は消去されません。また、暗証番号の設定は初期化されません。
- 「設置調整」から「システム初期化」を選びます。



- 初期化実行中の表示に変わります。
- 初期化には、しばらく時間がかかります。

初期化終了

- 電源が「切」になります。
- 使用するときは、本体かリモコンの電源ボタンを押して、電源「入」にします。（このとき初期設定画面が表示されますので、再度初期設定（別冊の取扱説明書「1.接続・準備編」**28**ページ）を行ってください。）

次ページへつづく ▶▶▶



設置調整の基本操作

下記の設定方法は基本的な設定方法です。項目によっては設定方法が異なる場合があります。
画面の指示に従って操作してください。

［例］画面サイズを設定するとき

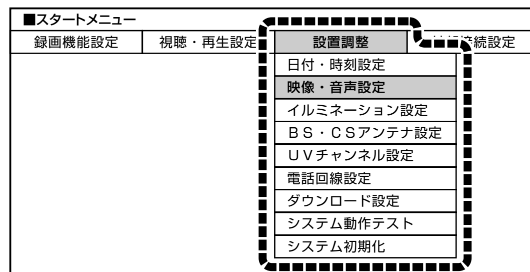
1

① (スタートメニュー)を押し、スタートメニュー画面を表示する

② ▲ ▼ ◀ ▶ で「各種設定」を選び、(決定)を押す

③ ◀ ▶ で「設置調整」を選ぶ

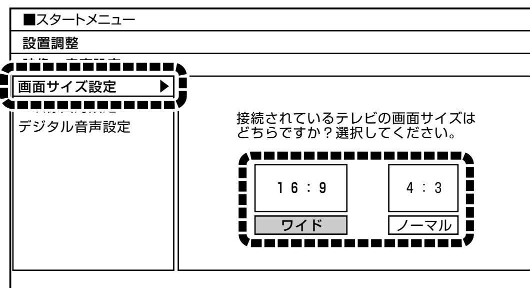
④ ▲ ▼ で「映像・音声設定」を選び、(決定)を押す



2

① ▲ ▼ で「画面サイズ設定」を選び、(決定)を押す

② ◀ ▶ で「16:9 ワイド」、「4:3ノーマル」を選び、(決定)を押す



- 「4:3ノーマル」に設定した場合、ひきつづきDVDでワイド（16:9）映像を再生するときの画面サイズを設定します。
  ◀ ▶ で「レターボックス」または「パンスキャン」を選び、(決定)を押します。

3

(スタートメニュー)を押し、スタートメニュー画面を終了する

BS・CSアンテナの設定

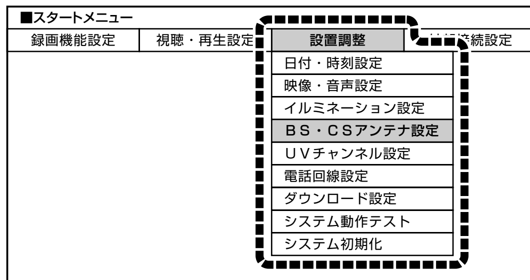
BS・110度CSアンテナを買い換えたときや、引っ越しなどでアンテナの設置場所を移動したときは、「アンテナ設定」のしなおしが必要になります。その場合、アンテナ設定画面を表示しながら設定を行うことができます。

おしらせ

- アンテナ設定を行うと、タイムシフト視聴用として自動録画されていたものは消去されます。

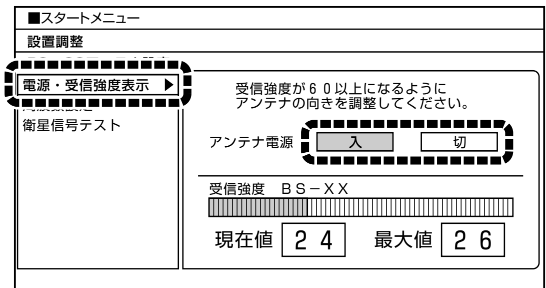
アンテナ設定画面を表示する

1
① (スタートメニュー)を押し、スタートメニュー画面を表示する
② (▲)(▼)(◀)(▶)で「各種設定」を選び、(決定)を押す
③ (◀)(▶)で「設置調整」を選ぶ
④ (▲)(▼)で「BS・CSアンテナ設定」を選び、(決定)を押す



アンテナに電源を供給する

2
① 「電源・受信強度表示」で(決定)を押す
② (◀)(▶)でアンテナ電源「入」または「切」を選ぶ



③ (決定)を押す

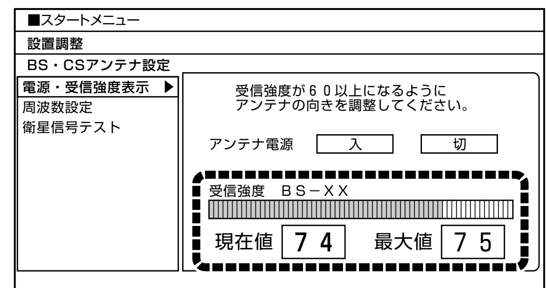
「入」……個人でアンテナを設置･接続している場合。
「切」……電源を供給しないときの設定。(共聴アンテナに接続している場合など)

受信強度を確認・調整する

個人でアンテナを設置･接続している場合に必要です。

3 受信強度が最大になるよう、アンテナの向きを調整する

- 受信強度(現在値)が60以上になるように、アンテナの向きを調整してください。
- アンテナの調整が済んでいる場合は必要ありません。



次ページの手順4へつづく

周波数設定

新しい衛星が追加されたり、現在の衛星が故障した場合、新しい周波数を入力することで、受信に必要な情報を取得できます。

4 ①「周波数設定」を ▲ ▼ で選び、決定 を押す

② 数字ボタンで新しい周波数を入力し、決定 を押す

■スタートメニュー
設置調整
BS・CSアンテナ設定
電源・受信強度表示
周波数設定
衛星信号テスト
周波数設定
1 — . — — — GHz
受信強度
現在値 0 最大値 0

• 受信強度を確認してください。

衛星信号テスト

5 ▲ ▼ で「衛星信号テスト」を選び、決定 を押す

■スタートメニュー
設置調整
BS・CSアンテナ設定
電源・受信強度表示
衛星信号テスト
衛星信号テスト
BS
CS
1 5
受信強度 BS−XX
現在値 7 4 最大値 7 5

6 ① ▲ ▼ で「BS」または「CS」を選び、決定 を押す

② テストしたいチャンネルを ▲ ▼ で選び、決定 を押す

• 受信強度の最大値が60以上あることを確認してください。

■スタートメニュー
設置調整
BS・CSアンテナ設定
電源・受信強度表示
周波数設定
衛星信号テスト
衛星信号テスト
BS
CS
1 5
受信強度 BS−XX
現在値 7 4 最大値 7 5

（「BS」を選んでテストした場合の表示例）

7 スタートメニュー を押し、スタートメニュー画面を終了する

外部接続に関する設定（外部接続設定）

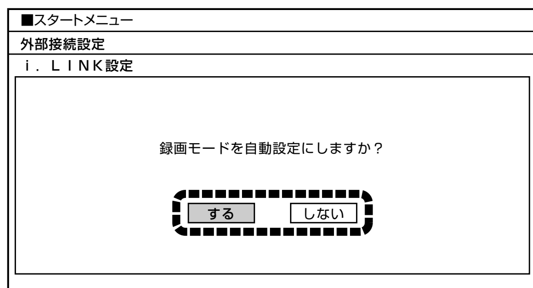
ここでは、「外部接続設定」について説明します。

外部接続設定の種類

基本的な操作方法は144ページをご覧ください。

i.LINK設定

- 本機には、録画時にD-VHSビデオデッキの録画モードを自動的に制御する機能があり、その機能を「入」にするかしないかを選ぶことができます。
- 「外部接続設定」から「i.LINK設定」を選びます。



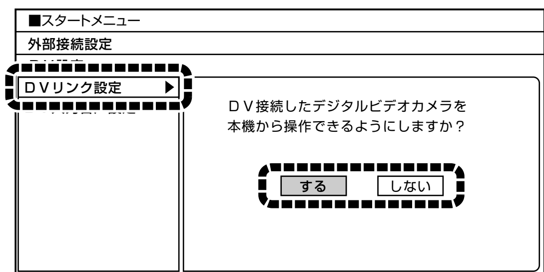
●「する」：　録画モードを自動設定にします。
●「しない」：　録画モードを自動設定にしません。

おしらせ

- 現在発売されているD-VHSビデオデッキのほとんどは、記録している映像・音声の伝送レートを自動認識し録画モードを制御するため、本機の「録画モード自動設定」は通常「しない」に設定してください。
- D-VHSビデオデッキの種類や、D-VHSビデオデッキで記録しようとしている放送の内容によっては、本機から録画モードを正常に制御できない場合があります。この場合は、本機の「録画モード自動設定」を「しない」に設定してください。

DVリンク設定

- デジタルビデオカメラをDV接続して本機で録画するとき、本機のリモコンでデジタルビデオカメラを操作することができます。
- 「外部接続設定」→「DV設定」から「DVリンク設定」を選びます。



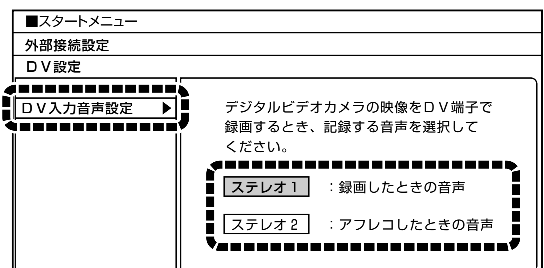
※ 本機とデジタルビデオカメラを接続したときの操作については、147ページをご覧ください。

●「する」：　デジタルビデオカメラを接続して、画面に表示された操作パネルからデジタルビデオカメラを操作することができます。
●「しない」：　デジタルビデオカメラを接続して、画面に表示された操作パネルでカメラ操作を行うと誤作動するようなときは「しない」に設定します。

※「する」の場合、DV入力を選択したときは、ディスクの再生操作はできません。

DV入力音声設定

- デジタルビデオカメラの映像をDV端子で録画するとき、記録する音声を選びます。
- 「外部接続設定」→「DV設定」から「DV入力音声設定」を選びます。



●「ステレオ1」：録画したときの音声
●「ステレオ2」：アフレコしたときの音声
※ モノラル音声は、DV入力できません。
※ 二重音声は「主音声」「副音声」の選択はできません。

接続するデジタルビデオカメラの音声出力が16bitに設定されている場合、DV入力音声設定は無効になります。



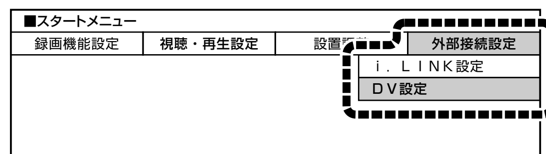
外部接続設定の基本操作

下記の設定方法は基本的な設定方法です。項目によっては設定方法が異なる場合があります。
画面の指示に従って操作してください。

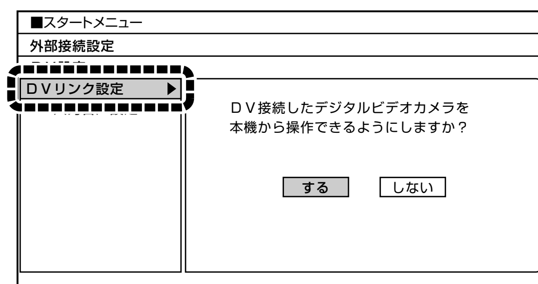
［例］ DVリンク設定を設定するとき

1
① （スタートメニュー）を押し、スタートメニュー画面を表示する
② （▲）（▼）（◀）（▶）で「各種設定」を選び、（決定）を押す
③ （◀）（▶）で「外部接続設定」を選ぶ

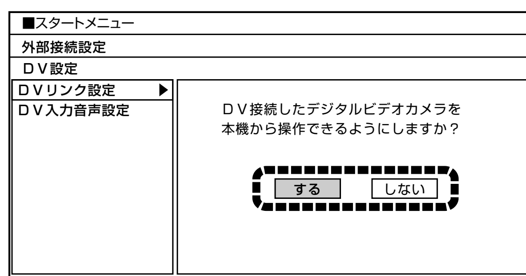
2 （▲）（▼）で「DV設定」を選び、（決定）を押す



3 （▲）（▼）で「DVリンク設定」を選び、（決定）を押す



4 （◀）（▶）で「する」または「しない」を選び、（決定）を押す



5 （スタートメニュー）を押し、スタートメニュー画面を終了する

DVD-RW／Rディスクに関する設定（DVDディスク設定）

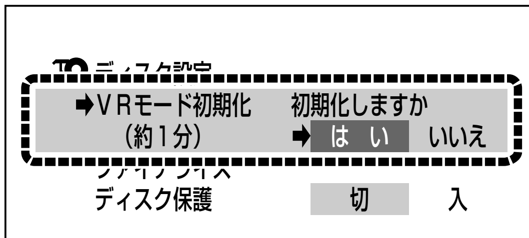
ここでは、「DVDディスク設定」について説明します。

DVDディスク設定の種類

基本的な操作方法は**146**ページをご覧ください。

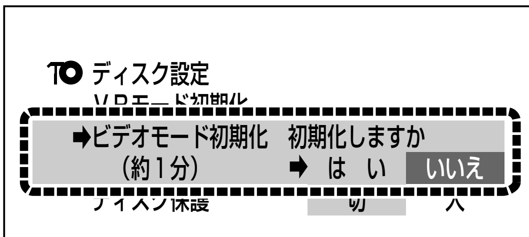
VRモード初期化

- DVD-RWを使いVRモードで録画するときは、録画を始める前にVRモードの初期化を行います。
  （録画済みディスクの内容を全て消去したいときなどに行います。ディスクの内容を誤って消去しないように中身を確認してから行ってください。）
- 「DVDディスク設定」から「VRモード初期化」を選びます。



ビデオモード初期化

- DVD-RWを使いビデオモードで録画するときは、録画を始める前にビデオモードの初期化を行います。
  録画済みディスクの内容を全て消去したいときなどに行います。（DVD-Rでは消去できません。）
- 「DVDディスク設定」から「ビデオモード初期化」を選びます。



おしらせ

VRモードで初期化したとき

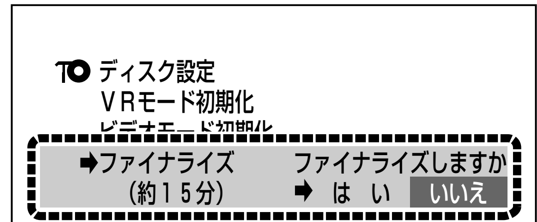
- ディスク保護が設定されているときは、初期化できません。（**98**ページ）
- DVD-Rでは初期化できません

ビデオモードで初期化したとき

- DVD-RW Ver1.0のディスクはビデオモードでの初期化は、できません。
- DVD-Rでは初期化できません。

ファイナライズ

- ビデオモードで録画したディスクを他のDVDプレーヤーで再生する場合や、VRモードで録画したディスクが他のDVD-RW対応プレーヤーで再生されない場合に、ファイナライズを行って再生できるようにします。
- ファイナライズの処理には、数分から約1時間必要です。
（DVD-RW（VRモード）の場合ディスクの空き容量が多いと、処理に時間がかかります。）
- 「DVDディスク設定」から「ファイナライズ」を選びます。

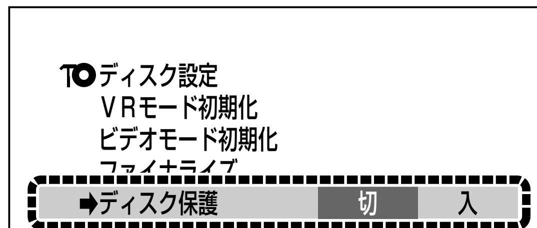


おしらせ

- 本機で一度ファイナライズしたディスクは再びファイナライズする必要はありません。
- 本機でファイナライズしたVRモードのディスクは、ファイナライズ後も通常通り録画や編集などを行うことができます。
- ビデオモードのディスクを本機でファイナライズすると、ディスクのメニューが作成されます。（**77**ページのタイトル一覧画面が作成されます。）ファイナライズした後のディスクは、録画や編集をすることができません。
- すでにファイナライズされたディスクをセットしたときは、ファイナライズが選択できません。
  他機でファイナライズされたDVD-RW（VRモード）をセットしたときは、「ファイナライズ解除」表示となる場合があります。このときに、ファイナライズ解除を行うと、本機で録画や編集が可能になります。
- VRモードのディスクでは、ファイナライズの実行中、ファイナライズの中断をすることもできます。ただし、ファイナライズ終了約4分前になると、中断表示が消え、中断できなくなります。また中断表示が最初から表示されていない場合も中断できません。

ディスク保護

- 録画したディスクを保護します。保護したディスクは、録画・編集などディスクの内容を変更する操作ができなくなります。また、ディスク保護を解除するときもこの操作を行います。保護を解除したディスクは、再び録画や編集が可能になります。



※ ディスク保護を設定したディスクは、初期化ができません。
※ 「ディスク保護」はDVD-RW（VRモード）でのみ働きます。
※ タイトル数が多い場合など、ディスクの記録状態によっては処理に2分程度時間がかかる場合があります。
（設定方法について詳しくは**98**ページ）

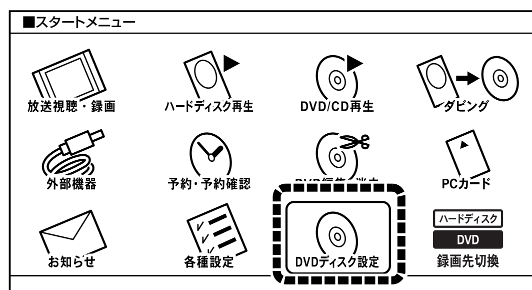


DVDディスク設定の基本操作

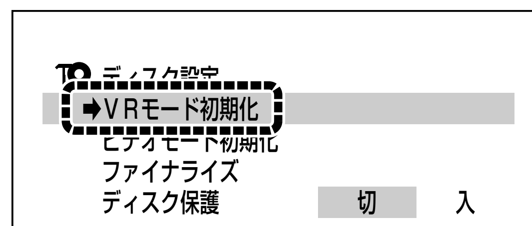
［例］VRモードで初期化するとき

1 ① (スタートメニュー)を押し、スタートメニュー画面を表示する

② (▲)(▼)(◀)(▶)で「DVDディスク設定」を選び、(決定)を押す



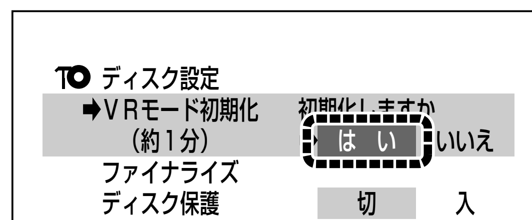
2 (▲)(▼)で「VRモード初期化」を選び、(▶)を押す



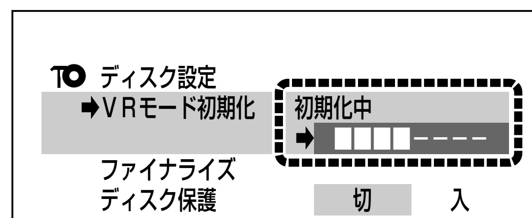
- 設定の途中で止めるときは (戻る) を押します。テレビ画面に戻ります。

3 (◀)で「はい」を選び、(決定)を押す

- 初期化をしないときは、(▶)を押して「いいえ」を選びます。



- 初期化がはじまります。



- 初期化が完了すると手順**2**の画面に戻ります。
- 続けて (戻る) を押すと、テレビ画面に戻ります。

外部機器の接続

- 本機は、ビデオカメラや、外部入出力端子に接続した機器（ビデオカセットレコーダーなど）と接続して、録画することができます。
- 本機には、デジタルビデオカメラから接続するためのDV入力端子（前面）とD-VHSビデオデッキ接続用のi-LINK端子（後面）を装備しています。D-VHSビデオデッキをi.LINK接続するときは**154**ページをご覧ください。

デジタルビデオカメラをDV入力端子接続する
- デジタルビデオカメラの映像を、本機で高画質/高音質に録画できます。
- 本機のリモコンで、デジタルビデオカメラをコントロールできます。

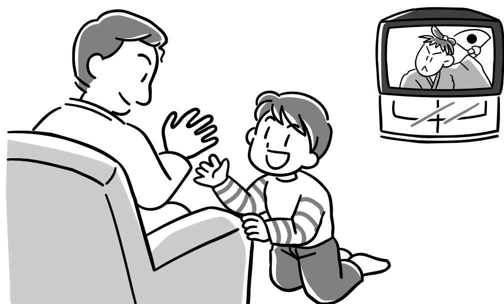
☞「デジタルビデオカメラとDVD入力端子を接続して録画する」をご覧ください。

ビデオカメラをアナログ接続する
- ビデオカメラの映像を、本機で録画できます。

☞「ビデオカメラとアナログ接続して録画する」（**151**ページ）をご覧ください。

外部入出力端子に接続した機器を接続する
- 外部入出力端子に接続した機器の映像を、本機で録画できます。

☞「外部機器の映像を録画する」（**153**ページ）をご覧ください。



デジタルビデオカメラとDV入力端子を接続して録画する

DV入力端子でデジタルビデオカメラと接続して、高画質/高音質の録画ができます。デジタルビデオカメラの映像を本機で録画できます。
また、本機のリモコンで、デジタルビデオカメラをコントロールしながら録画することもできます。（**DVリンク**）。

DV入力端子について

接続機器について

DV方式のビデオカメラとDVケーブルで接続すると、デジタル信号による画質、音質の劣化が少ない録画・編集ができます。

おしらせ
- DV端子付ビデオカメラと本機を接続したとき、ビデオカメラによっては、本機に信号が入力されない場合があります。そのようなときは、アナログ接続（**151**ページ）を行ってください。（シャープ製ビデオカメラVL-DC3をご使用の場合は、アナログ接続してください。）
- DV入力端子を使って他の機器から本機を操作することはできません。
- 本機にDV接続できるのはビデオカメラ1台のみです。
- 本機とビデオカメラは直接接続してください。
  DV入力端子付き機器を経由して、本機にビデオカメラを接続した場合は、DV信号が入力されません。またDVリンクも働きません。
- DV入力端子で本機を2台接続しても、もう一方を操作することはできません。
- デジタルビデオカメラによっては、信号の入力や本機からの操作ができない場合があります。（**143・148・150**ページ）
- 本機のDV端子とi.LINK 端子の両方に、i.LINK機器（デジタルビデオカメラ・D-VHS）を接続した状態では通信できない場合があります。通信できないときは、使用しない機器の接続を外してください。

映像・音声・データの入力について

- 日付、時間の情報、カセットメモリの内容を本機で記録することはできません。
- 「録画禁止」または「1回だけ録画可能」の映像・音声は録画できません。
- モノラル音声はDV入力できません。

音声モードについて

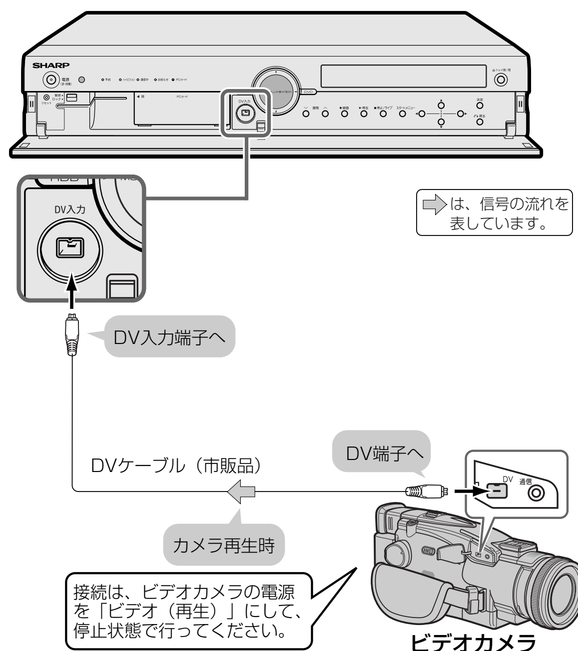
デジタルビデオカメラは一般に、以下の2つの音声モードを持っています。

- 16bit(48kHz)
  高音質ですが、1つのステレオ音声しか扱えません。
- 12bit(32kHz)
  2つのステレオ音声を扱えます。一般に、ステレオ2にはアフレコ音声が記録されます。
- 本機では、入力音声が12bitの音声モードの場合、ステレオ1、ステレオ2のうち一方のみを聴くことや、記録することができます。
- 本機では、44.1kHzの入力音声は扱えません。
- 2重音声が入力されたとき、主音声/副音声の選択はできません。

DV入力端子接続をする（i.LINK）

ビデオカメラとの接続のしかたについては、ビデオカメラの取扱説明書をご覧ください。

本体前面





本機で録画する(DV取り込み)

HDD　DVD RW VRモード　DVD RW ビデオモード　DVD R

本機のDV入力端子に接続したデジタルビデオカメラから映像を録画します。デジタルビデオカメラの制御も画面に操作パネルを表示させ、パネル上のボタンで操作できますので、簡単にディスクへの録画ができます。
あらかじめスタートメニューで「DVリンク設定」と「DV入力音声設定」(**143**ページ)の設定を行ってから録画してください。

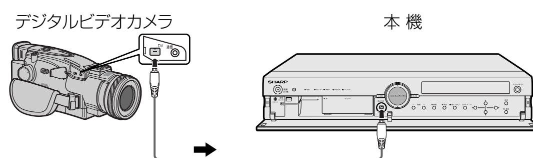
おしらせ

- コピーガードが含まれている映像は録画できません。
- 日付、時刻の情報、カセットメモリの内容を記録することはできません。

1 準備

①DV入力端子にデジタルビデオカメラを接続する

- ビデオカメラの電源を「ビデオ(再生)」にして、「停止」状態で接続を行ってください。



②DVDに録画するときは、録画用のディスクをセットし、「録画先設定」を「DVD」に設定する(**120・124**ページ)

2 外部入力の音声を選ぶ

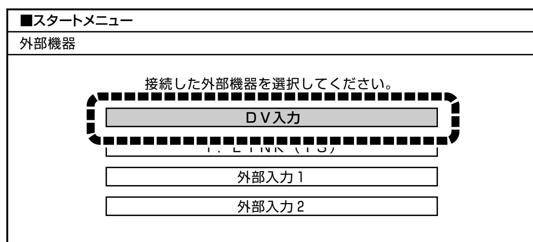
- 録画をはじめる前に、DV入力音声の設定(**143**ページ)を確認してください。
- モノラル音声はDV入力できません。

デジタルビデオカメラとDV入力端子を接続して録画する　つづき

外部機器の接続

次ページの手順3へつづく

3 ① （スタートメニュー）を押し、スタートメニュー画面を表示する
② （▲）（▼）（◀）（▶）で「外部機器」を選び、（決定）を押す
③ （▲）（▼）で「DV入力」を選び、（決定）を押す



4 デジタルビデオカメラを再生する

- （▲）（▼）（◀）（▶）でボタンを選び（決定）し操作します。



- DVリンク設定（**143**ページ）が「する」のときは、画面に表示される操作パネルからビデオカメラの操作をすることができます。
- 次のボタンが使用できます。
  「停止」「再生」「早送り」「巻戻し」「一時停止」「送スロー」「戻スロー」「コマ戻し」「コマ送り」
- 画面に表示される操作パネルはリモコンの（終了）を押すと消すことができます。再度、表示させるときは、手順**3**の操作を行ってください。

5 開始部分で（録画）を押す

- 本機で録画が開始されます。

6 録画を一時停止する（必要な場合）
（一時停止）を押す

- ハードディスクに録画中は一時停止できません。タイムシフトが「入」に設定されているときはタイムシフト視聴になります。

7 録画を停止（終了）する
（停止/ライブ）を押す

DV取り込みがうまくいかないときは「故障かな?と思ったら」（**160**ページ）、取り込み中の画面表示については「エラーメッセージについて」（**164**ページ）をご覧ください。

ご注意

取り込み中に下記のような状態になると、異常な映像が記録されることがあります。
- 接続した機器が無録画部分を再生したとき
- 途中でDVケーブルを抜いたり、ビデオカメラの電源を切ったりしたとき
- ビデオカメラの再生を中止したとき

おしらせ

- メモリーカードから再生しているときは、DV入力に切り換わりません。
- 本機でDV取り込みを行うときはDVC-SD方式の信号のみ入力することができます。
- DVリンク設定が「する」でも本機のリモコンで操作できないデジタルビデオカメラもあります。そのようなときは「DVリンク設定」を「しない」にしてください。（**143**ページ）
- 本機とデジタルビデオカメラを接続するときは、デジタルビデオカメラの電源を「再生（ビデオ側）」にして、停止状態で行ってください。電源が「撮影（カメラ側）」の場合やテープを再生した状態でDV接続したときは、DVリンクが正しく働きません。
- DV入力端子を使って外部から本機を操作することはできません。
- 本機2台をDV端子で接続して一方を操作することはできません。
- 日付、時刻の情報、カセットメモリーの内容を記録することはできません。

ビデオカメラとアナログ接続して録画する

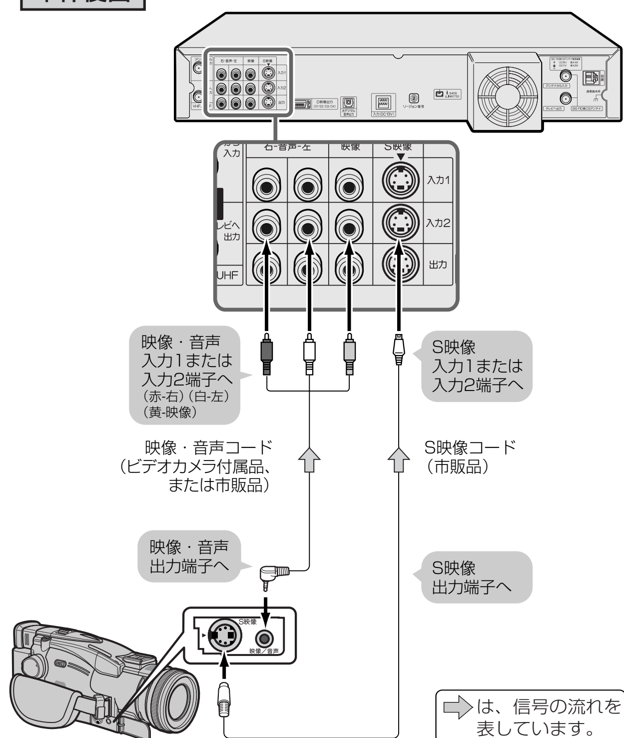
本機とビデオカメラをアナログ接続して、ビデオカメラの映像を本機で録画することができます。

ヒント

- DV端子のついているデジタルビデオカメラと接続するときは、DV入力端子接続をおすすめします。「デジタルビデオカメラとDV入力端子を接続して録画する」(**147**ページ)をご覧ください。

アナログ接続をする

本体後面



ヒント

- 本体前面のS映像入力端子とビデオカメラのS映像出力端子をS映像コードでつなぐと、より鮮明な映像で見ることができます。

おしらせ

- ビデオカメラによっては、専用コードでつなぐ場合があります。
- ビデオカメラとの接続のしかたについては、ビデオカメラの取扱説明書をご覧ください。

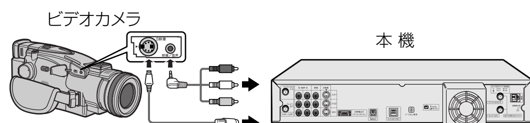
次ページへつづく ▶▶▶

本機で録画する

HDD　DVD RW (VRモード)　DVD RW (ビデオモード)　DVD R

1 本機の準備

①本機の入力1または2端子に機器を接続する



②DVDに録画するときは、録画用のディスクをセットし、「録画先設定」を「DVD」に設定する（**120**・**124**ページ）

2 外部入力の音声を選ぶ

DVDに録画するときは

- 「外部音声入力設定」（**122**ページ）、「ビデオモード音声設定」（**123**ページ）をご覧ください。

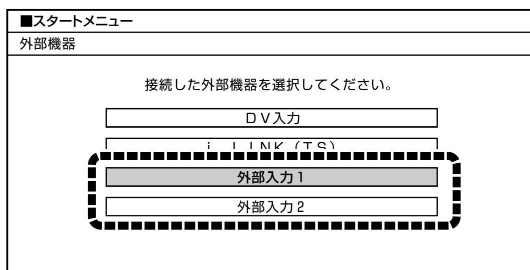
ハードディスクに録画するときは

- ビデオカメラの音声を録画したい音声に切り換えておきます。

3 ① スタート メニュー を押し、スタートメニュー画面を表示する

② ▲ ▼ ◀ ▶ で「外部機器」を選び、決定を押す

③ ▲ ▼ で「外部入力1」または「外部入力2」を選び、決定を押す



4 録画の操作を行う

外部機器の映像を録画する

本機の外部入力端子（L1、L2）に接続した機器から映像を録画します。

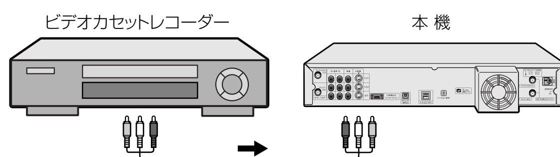


外部機器の映像を録画するには

HDD　DVD RW（VRモード）　DVD RW（ビデオモード）　DVD R

1 本機の準備

①本機の外部入力端子に機器を接続する



②DVDに録画するときは、録画用のディスクをセットし、「録画先設定」を「DVD」に設定する（**120**・**124**ページ）

2 外部入力の音声を選ぶ

DVDに録画するときは

- CS放送やWOWOW放送の二重音声放送番組を録画する場合、外部音声として「二ヶ国語」を選びます。
- 「外部音声入力設定」（**122**ページ）、「ビデオモード音声設定」（**123**ページ）をご覧ください。

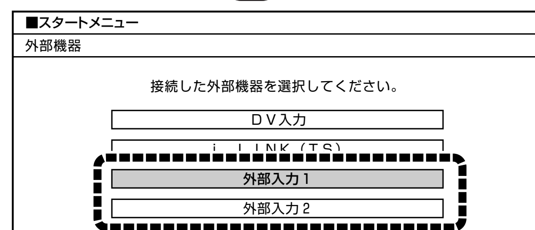
ハードディスクに録画するときは

- 外部機器の音声を録画したい音声に切り換えておきます。

3 ① （スタートメニュー）を押し、スタートメニュー画面を表示する

② ▲ ▼ ◀ ▶ で「外部機器」を選び、（決定）を押す

③ ▲ ▼ で「外部入力1」または「外部入力2」を選び、（決定）を押す



4 録画の操作を行う

ご注意

- コピーガードが入っている映像は録画できません。また、録画せずに視聴する場合にも正しい映像が得られない場合があります。（**12**ページ）

おしらせ

- 外部機器の映像を本機に入力したとき、外部機器の映像を直接テレビで見た場合と本機の外部入力で見た場合とでは、多少画質に差が生じます。

D-VHSビデオデッキをi.LINK接続する

i.LINK(アイリンク)について

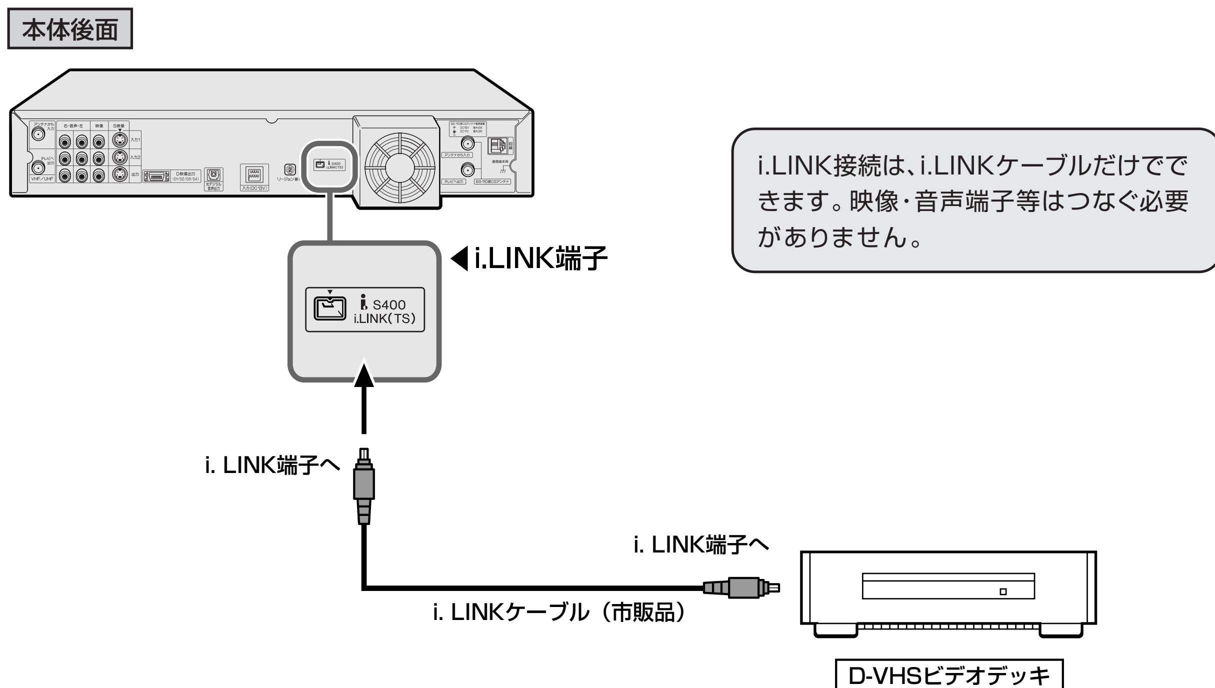
i.LINKとは、i.LINK端子を持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのマルチメディア系のデータ転送や、接続した機器の操作ができるシリアル転送方式のインターフェースで、i.LINKケーブル1本で接続することができます。
i.LINKは、IEEE1394の呼称で、IEEE(米国電子電気技術者協会)によって標準化された国際標準規格です。現在、100Mbps/200Mbps/400Mbpsの転送速度があり、それぞれS100/S200/S400と表示されます。本機では最大400Mbpsの転送速度が可能です。

おしらせ

- 本機のDV端子とi.LINK端子の両方に、i.LINK機器(デジタルビデオカメラ・D-VHS)を接続した状態では通信できない場合があります。通信できないときは、使用しない機器の接続を外してください。
- 本機のi.LINK端子に接続できる機器は、D-VHS1台のみです。ディジーチェーン(連鎖)接続したときは正しく通信できない場合があります。

i.LINK接続のしかた

[例] i.LINK機器(D-VHSビデオデッキ)と接続するとき



おしらせ

- 本機のハードディスクに保存してある録画番組は、i.LINK接続したD-VHSビデオデッキに録画することはできません。また、D-VHSビデオデッキから本機のハードディスクに録画することもできません。

録画モードの設定

本機には、録画時にD-VHSビデオデッキの録画モードを自動的に制御する機能があり、その機能を「入」にするかしないかを選ぶことができます。



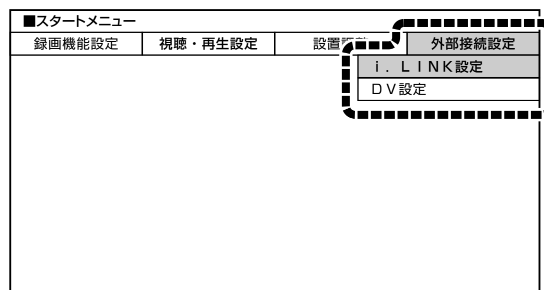
1

① (スタートメニュー)を押し、スタートメニュー画面を表示する

② (▲)(▼)(◀)(▶)で「各種設定」を選び、(決定)を押す

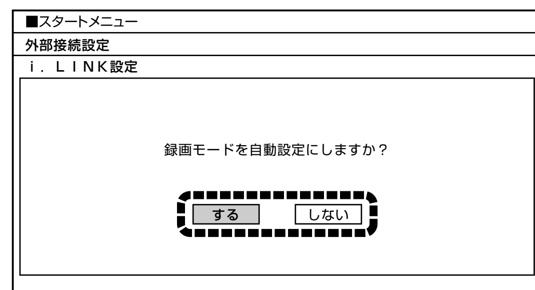
③ (◀)(▶)で「外部接続設定」を選ぶ

④ (▲)(▼)で「i.LINK設定」を選び、(決定)を押す



2

(◀)(▶)で「する」または「しない」を選び、(決定)を押す



- スタートメニュー画面に戻ります。

3

(スタートメニュー)を押し、スタートメニュー画面を終了する

おしらせ

- 現在発売されているD-VHSビデオデッキのほとんどは、記録している映像･音声の伝送レートを自動認識し録画モードを制御するため、**「録画モード設定」は通常「しない」に設定してください。**
- D-VHSビデオデッキの種類や、D-VHSビデオデッキで記録しようとしている放送の内容によっては、本機から録画モードを正常に制御できない場合があります。この場合は、本機の「録画モード設定」を「しない」に設定してください。

次ページへつづく ▶▶▶

操作パネルの使いかた

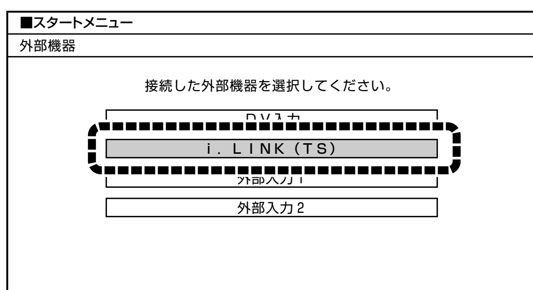
- i.LINKに対応したD-VHSビデオデッキの操作ができます。
  画面にi.LINK操作パネルを表示させ、パネル上のボタンで操作します。
- 操作を始める前に、**155**ページの「録画モードの設定」をしてください。
- 本機で操作するi.LINK機器の取扱説明書をあらかじめご覧ください。

基本操作

1 ① (スタートメニュー)を押し、スタートメニュー画面を表示する

② ▲ ▼ ◀ ▶ で「外部機器」を選び、(決定)を押す

③ ▲ ▼ で「i.LINK（TS）」を選び、(決定)を押してi.LINK操作パネルを表示する

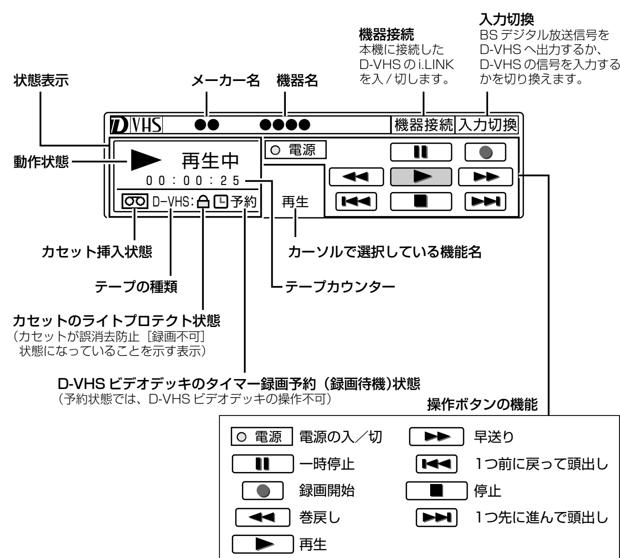


- i.LINK操作パネルを消すときは(終了)を押します。
- 再度i.LINK操作パネルを表示させるときは、もう一度手順**1**の操作を行ってください。

2 操作したい機能を ▲ ▼ ◀ ▶ で選ぶ

3 (決定)を押し、選んだ機能を実行する

i.LINK操作パネルの見かた



おしらせ

- D-VHSビデオデッキによっては、本機のi.LINK操作パネル上の操作ボタンで操作できない場合があります。
- 本機で使用しているD-VHSビデオデッキのタイマー録画予約中は、i.LINK操作パネルでの操作ができません。
- 本機のi.LINK操作パネルの録画ボタンによる録画では、本機が受信しているBS·110度CSデジタル放送の映像·音声がD-VHSビデオデッキに記録されます。
- 本機で受信しているBS·110度CSデジタル放送の映像·音声をD-VHSビデオデッキで記録するときは、D-VHSテープを使用してください。VHSテープやS-VHSテープでは記録することができません。
- i.LINK操作パネルと、番組表やメニューなどを同時に（重ねて）表示することはできません。
- IEEE1394は、米国電子電気技術者協会（IEEE）によって標準化された国際標準規格です。
- i.LINK（アイリンク）とi.LINKロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
- 著作権保護に対応したi.LINK対応機器には、デジタルデータのコピー·プロテクション技術が採用されています。この技術は、DTLA（The Digital Transmission Licensing Administrator）というデジタル伝送における著作権保護技術の管理運用団体から許可を受けているものです。このDTLAのコピー·プロテクション技術を搭載している機器間では、コピーが制限されている映像、音声、データにおいて、i.LINKでのデジタルコピーができない場合があります。また、DTLAのコピー·プロテクション技術を搭載している機器と搭載していない機器との間では、映像、音声、データのやりとりができない場合があります。
- 番組の内容によっては、D-VHSビデオデッキで録画·録音ができない場合があります。
- 本機に接続したi.LINK機器（D-VHSビデオデッキ）で録画した内容を再生したとき、ビデオサーチ（早送り／巻戻し）すると、画面がモザイク状に見える場合があります。

D-VHSデッキを操作する

［例］視聴中の番組をD-VHSビデオデッキで録画する

- 録画操作をする前に、D-VHSビデオデッキの接続と必要な設定をしておいてください。（**154**～**155**ページ）
- 本機で操作するi.LINK機器の取扱説明書も併せてご覧ください。

1 録画したいBS・110度CSデジタル放送の番組を選局する

2 ① (スタートメニュー)を押し、スタートメニュー画面を表示する

② ▲ ▼ ◀ ▶ で「外部機器」を選び、(決定)を押す

③ ▲ ▼ で「i.LINK（TS）」を選び、(決定)を押す



- i.LINK操作パネルが表示されます。
- i.LINK操作パネルを消すときは(終了)を押します。
- 再度、操作パネルを表示させるときは、もう一度手順**2**の操作を行います。

3 ▲ ▼ ◀ ▶ で ● （録画ボタン）を選び、(決定)を押す

再生中に放送を視聴したいときは入力切換を選び決定する



再生するときは ▶ を選ぶ

- 録画を止めるときは、■（停止ボタン）を選んで(決定)を押します。

おしらせ

- 本機のハードディスクに録画した番組や、DVD、CDの映像・音声、地上放送（VHF/UHF）、外部入力の映像・音声は、i.LINK出力することはできません。
- i.LINK接続でD-VHS映像を本機で録画することはできません。
- 手順**2**の③で「i.LINK（TS）」を選んだ後映像が出るまで多少時間がかかります。録画ボタンは映像が出てから選んでください。
- 入力切換について：
  通常（停止時/録画時）はD-VHSへBS・110度CSデジタル放送を出力します。D-VHSを再生すると自動的にD-VHSの再生信号入力に切り換わります。

光デジタル音声出力端子の使いかた

- 本機の光デジタル音声出力端子は、MPEG2 AAC音声フォーマットを出力することができます。AAC対応のオーディオ機器を接続すると、サラウンド放送の番組を迫力ある音声でお楽しみいただけます。
- 接続のしかたについて詳しくは、別冊の取扱説明書「1.接続・準備編」**21**ページをご覧ください。

おしらせ

- 詳しくは、接続するオーディオ機器の取扱説明書をご覧ください。
- 接続する前に本機とオーディオ機器の電源を切ってください。
- 字幕放送やデータ放送の一部の音声は、本機の光デジタル音声出力端子から出力されません。
- あなたが録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 番組により録音・録画が制限されている場合があります。
- 一部のラジオ放送は、デジタル録音することができません。

オーディオ機器について

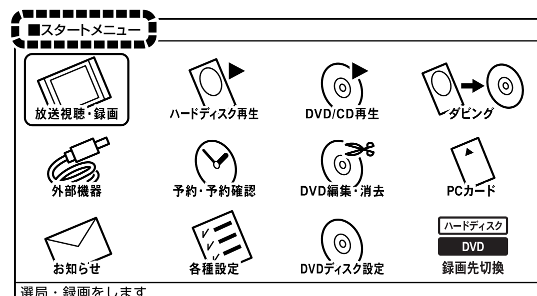
- デジタル録音できるのは、サンプリング周波数32kHz、48kHzの両方に対応したデジタル入力端子付きオーディオ機器に限ります。
  例）MDプレーヤーの場合：
  サンプリングレートコンバータ内蔵型



デジタル音声出力の設定

接続するオーディオ機器に合わせて、光デジタル音声出力端子から出力される信号の形式を選択することができます。

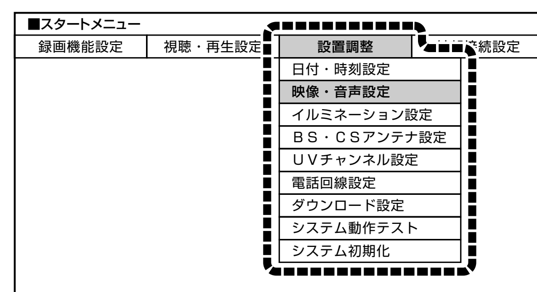
1 （スタートメニュー）を押し、スタートメニュー画面を表示する



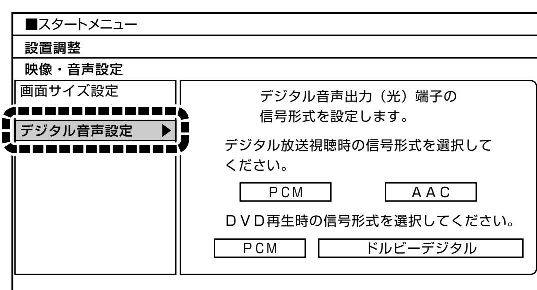
2 ① ▲ ▼ ◀ ▶ で「各種設定」を選び、（決定）を押す

② ◀ ▶ で「設置調整」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「映像・音声設定」を選び、（決定）を押す



3 ▲ ▼ で「デジタル音声設定」を選び、（決定）を押す

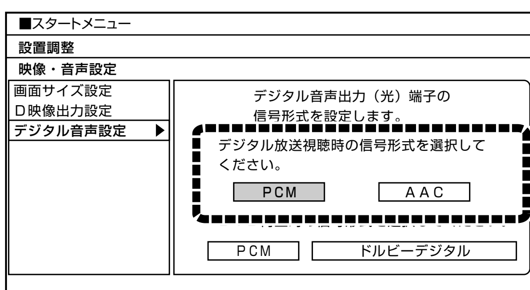


次ページの手順4へつづく

4 ◀▶ でデジタル放送視聴時の信号形式を「PCM」または「AAC」から選ぶ

「PCM」........AACに対応していないオーディオ機器（例. MDプレーヤー、MDコンポなど）を接続するとき。

「AAC」.........AAC対応のAVアンプなどを接続するとき。

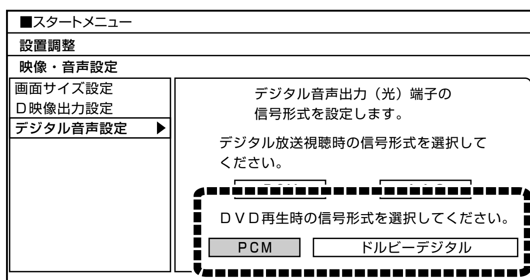


- ハードディスクに録画したデジタル放送の番組を再生する時もこの設定が有効となります。

5 ▲▼ でDVD再生時の信号形式を選び、◀▶ で「PCM」または「ドルビーデジタル」から選び、決定 を押す

「PCM」........AACに対応していないオーディオ機器（例. MDプレーヤー、MDコンポなど）を接続するとき。

「ドルビーデジタル」.....ドルビーデジタルサラウンド対応のアンプなどを接続するとき。

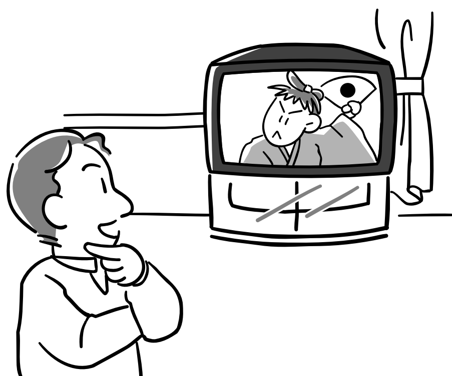


6 スタートメニュー を押し、スタートメニュー画面を終了する

おしらせ

- 接続するオーディオ機器がPCM／AACの自動切換えに対応していない場合は、オーディオ機器側の設定を手動で切り換えてください。
- 「PCM」に設定した場合、字幕放送やデータ放送の一部の音声が出力されません。
- 「AAC」に設定した場合、字幕放送やデータ放送の音声が出力されません。

その他



故障かな?と思ったら

次のような現象は故障でない場合がありますので、修理サービスをお申しつけになる前に次のことをお確かめください。

電源が入らない

- 電源コードをコンセントに正しく接続してください。(別冊の取扱説明書「1.接続・準備編」**27**ページ)
- 電源プラグがコンセントに差し込まれている場合は、いったん電源プラグを抜き、約1分後にもう一度電源プラグを差し込んでから、電源を「入」にしてください。(別冊の取扱説明書「1.接続・準備編」**27**ページ)

電源を「切」にしたのに動作音がする

- 契約情報や購入情報の通信などのため、電源が「切」のときでも一時的に動作することがありますが、故障ではありません。
- 録画予約やダウンロード予約などを実行している動作音です。

ディスクトレイを閉めても出てきてしまう

- ディスクをディスクトレイに正しくセットしてください。(**75**ページ)
- ディスクをクリーニングしてください。(**16**ページ)
- DVDビデオの場合、リージョン番号が一致しているか確認してください。(**13**ページ)
- 再生できるディスクかどうか、確認してください。

画面が映らない

- 接続が正しいか確認してください。(別冊の取扱説明書「1.接続・準備編」**18**～**20**ページ)
- テレビまたはAVアンプ側で本機をつないだ入力端子を選択してください。
- ディスクをクリーニングしてください。(**16**ページ)
- DVDビデオの場合、リージョン番号が一致しているか確認してください。(**13**ページ)
- D1以外に設定したときは、D端子以外から映像信号が出力されません。リセットボタンを押すとD1設定に戻ります。(**168**ページ)

再生できない

- ディスクをクリーニングしてください。(**16**ページ)
- ディスクをディスクトレイに正しくセットしてください。(**75**ページ)
- DVDのリージョン番号が一致しているか確認してください。(**13**ページ)
- 本機内部の結露を除去してください。(**16**ページ)
- PAL/SECAM方式のディスクは再生できません。
- DV入力を選んでいるとき、「DVリンク設定」が「する」に設定されていると、ディスクの再生ができません。(**143**ページ)
- 正常に録画できなかった映像は再生できません。(**10**ページ)

設定内容が消える

- 電源が入っているときに、停電や電源コードが抜かれて電源が切れて約1時間以上放置されてしまったときは、設定内容が消えてしまいます。電源コードはかならず本体の電源ボタン、またはリモコンの電源ボタンを押して、本体の電源が切れたことを確認してから、抜いてください。

画面が止まり、操作ボタンを受け付けない

- 停止ボタンを押してから、もう一度再生してください。
- 一度電源を「切」にし、再度電源を入れ直してみてください。
- 電源が切れないときはリセットボタンを押してください。(**168**ページ)

DV入力に切り換わらない

- カードモードから再生しているときは、DV入力への切り換えができません。
ディスクからの再生に切り換えてください。(**105**ページ)

リモコンで操作できない

- リモコンの設定番号と本機の設定番号が合っていることを確認してください。(別冊の取扱説明書「1.接続・準備編」**54**ページ)
- リモコンの使用範囲で操作してください。(別冊の取扱説明書「1.接続・準備編」**27**ページ)
- リモコンの電池を新しいものと交換してください。(別冊の取扱説明書「1.接続・準備編」**26**ページ)

スピーカーから音が出ない、音が歪む

- テレビまたはAVアンプなどの音量が「MIN」になっている場合はボリュームを上げてください。
- 一時停止またはスロー再生/早送り/早戻し中は、音声が出ません。
- DTS収録のDVD音声は、デジタル出力端子からのみ出力されます。本機のデジタル出力をDTS対応アンプまたはデコーダーとデジタル接続してください。(別冊の取扱説明書「1.接続・準備編」**21**ページ)
- 接続プラグの差し込みかたが不十分、または外れていないか確認してください。
- 接続プラグや端子が汚れていたら拭いてください。
- ディスクをクリーニングしてください。(**16**ページ)
- ディスクに記録されている音声に、オーディオ信号以外の音声や規格外の音声が記録されているなど、音声の記録状態によっては、音声が出ない場合があります。

外部映像入力時にワイド画面に切り換わらない

- 本機のS映像入力端子は、アスペクト信号(ID-1)に対応していて、ワイド切り換えを行います。よって接続されている機器がID-1に対応していない場合は、ワイドにならない場合があります。

外部映像入力時に画像が乱れる

- コピーガード入りの信号ではありませんか。(**12**ページ)
  コピーガード入りの信号は本機を通さず、直接テレビに接続してください。

画面が縦または横に伸びている

- お使いのテレビに合わせて画面の縦横比の設定を行ってください。(**137**ページ)
- 上記で設定できない場合は、テレビ側で画面サイズの設定をしてください。

他のDVDプレーヤーで再生できない

- ビデオモードのディスクの場合は、ファイナライズを行ってください。(**12**、**145**ページ)
- 再生できないDVDプレーヤーがあります。(**12**ページ)
- VRモードのディスクは、RW対応のDVDプレーヤーでないと再生できません(ファイナライズをする必要があることもあります)。(**10**、**145**ページ)
- 静止画(JPEGファイル)をコピーしたディスクは、静止画(JPEGファイル)再生機能のついたプレーヤー以外では再生できません。

二カ国語の音声が切り換えられない

- ビデオモードで録画されたものは再生中に切り換えできません。

DVD映像をVTRに録画したり、VTRを通して再生すると再生画面が乱れる

- 本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。ディスクによってはコピー禁止信号が入っているものがあります。そのようなディスクをVTRに通して再生したり、VTRに録画して再生するとコピーガードにより正常に再生されません。(別冊の取扱説明書「1.接続・準備編」**23**ページ)

テレビなどが誤動作する

- ワイヤレスリモコン機能を持つテレビの一部には、本機のリモコンにより誤動作するものがあります。本機と離してご使用ください。

録画用ディスクに傷や汚れ等があったときは

- ディスクに傷や汚れがなどあり録画ができない部分では、録画が一時中断される場合があります。再度録画が開始されると、その開始部分が別のタイトルとして録画されます。ディスクが録画できない状態のときは、排出されます。
- ビデオモードで録画している場合、録画が中断された地点より前の部分の内容が最大で約60秒ぶん損なわれることがあります。

録画したが何も録画されていない

- 放送のない(放送が終了している)チャンネルを録画しているときは、映像のない状態で録画されます。電波状態の悪いチャンネルを録画したときも、映像のない状態が録画される場合があります。
- ディスクをクリーニングしてください。(**16**ページ)

録画ができない、録画が途中で止まる

- 録画ディスクの空き時間は足りているか確認してください。(**43**ページ)
- ディスクが保護されていないか確認してください。(**98**、**145**ページ)
- オリジナルのタイトル数が99になっていないか確認してください。(**43**ページ)
- 録画が禁止された映像を録画しようとしていないか確認してください。(**12**ページ)
- 予約待ちのあいだ、または予約録画中に停電がなかったか確認してください。
- ディスクをクリーニングしてください。(**16**ページ)

DVD-RWディスクにビデオモードで録画できない

- Ver.1.0のDVD-RWディスクにはビデオモードでの録画はできません。Ver1.1以降のディスクを使用してください(バージョンはジャケットの裏面などに表示されています。)(**10**、**12**ページ)

待機ランプが点滅している

- コンセントに電源コードを差し込んだときは、時計情報取得等のため電源を入れることができるようになる(待機ランプ点灯)まで多少時間がかかります。
  しばらく待ってから操作してください。
- 電源を「切」にしたときも、システム処理のため次に電源を入れることができるようになるまで多少時間がかかります。
  しばらく待ってから操作してください。

DV入力端子に接続したカメラの映像が映らない／音が出ない／誤動作する

- コピーガードが入っている映像は見られません。
- 接続を確認してください。（**147**〜**150**ページ）
- 一度電源を「切」にし、再度電源を入れ直してみてください。
- DVケーブル設定を接続し直してください。
- 「DVリンク設定」を「切」にしてみてください。（**143**ページ）
- 「DV入力音声設定」を切り換えてください。（**143**ページ）

DV入力端子に接続したカメラが操作できない

- 「DVリンク設定」を「する」にしてください。画面上の操作パネルで操作が行えます。（**143**ページ）
- 接続したカメラの機種によっては、操作できないものもあります。

外部入力や電波状態の悪い放送を受信したときに映像が乱れる（おかしく見える）

- 「DVD録画設定」の「3次元 Y/C分離回路設定」を「しない」に設定してご使用ください。（**121**ページ）

静止画が再生できない

- 再生したい静止画はJPEGファイルですか。
- 画像サイズは2MBを超えていませんか。

再生できる静止画とは

- DCFフォーマットに準拠した静止画ファイルです。

ディスクにメモリーカードの静止画（JPEGファイル）をコピーできない

- DVD-Rディスクには、コピーできません。
- DVD-RW（VRモード）のディスクには、コピーできません。ビデオモードフォーマットのディスクをご使用ください。
- DVD-RWビデオフォーマットのディスクでも、放送等がすでに記録されているディスクにはコピーできません。初期化するか、ビデオモードで初期化された別のディスクをご使用ください。

カードモードの再生に切り換わらない

- 録画先がハードディスクになっていませんか。DVDに変更してください。（**120**ページ）
- DV入力にしていませんか。DV入力では、カードモードに切り換わりません。他の入力または別のチャンネルに切り換えてください。

メモリーカードが認識できない

- メモリーカードは、正しく装着されていますか。
- PCカード扉が開いていませんか。
- メモリーカードを正しく装着し、PCカード扉を確実に閉じてください。（**103**ページ）
- 使用するメモリーカードおよびPCカードアダプターが、本機で使用できるものか確認してください。（**15**ページ）
- デジタルカメラでフォーマットしたメモリーカードですか。パソコン等でフォーマットしたメモリーカードは認識できない場合があります。

映像も音声も出ない

- 電源プラグがコンセントから抜けていませんか。（別冊の取扱説明書「1.接続・準備編」**27**ページ）
- 電源「切」の状態になっていませんか。（別冊の取扱説明書「1.接続・準備編」**27**ページ）
- アンテナ電源が「切」になっていませんか。（**141**ページ）
- 映像、音声のない放送ではありませんか。

映像が出ず、音だけ出る

- 映像出力の接続ケーブルがはずれていませんか。（別冊の取扱説明書「1.接続・準備編」**18**、**19**ページ）
- D映像出力の設定は、テレビに合わせて正しく設定されていますか。（**137**ページ）
- D1以外に設定したときは、D端子以外から映像信号が出力されません。リセットボタンを押すとD1設定に戻ります。（**168**ページ）

横長の映像や縦長の映像になる 画面の上下に黒い帯が出る

- 画面サイズ設定は、接続されているテレビに合っていますか。（**137**ページ）
- ワイドテレビの場合、映像に合った画面サイズ設定にしてありますか。（**137**ページ）

画面に四角のノイズ（モザイク）が出る

- アンテナの向きがずれていませんか。「設置調整」メニューの「BS・CSアンテナ設定」で受信強度を確認してください。（**141**ページ）
- アンテナの前方に障害物がありませんか。
- アンテナケーブルは衛星放送用を使用していますか。（別冊の取扱説明書「1.接続・準備編」**17**ページ）
- デジタル画像圧縮技術の特性上、動きの早い場面などでブロック状の画像が目立つことがあります。

映像が停止する

- 本機に衝撃や振動を与えませんでしたか。不安定な場所で使用していませんか。衝撃や振動を感知すると停止します。
- ハードディスクの特性上、ごくまれに画像が乱れることがありますが、故障ではありません。

音が左右逆になる／片方しか音が出ない

- 音声ケーブルが左右逆に接続されたり、片方がはずれたりしていませんか。（別冊の取扱説明書「1.接続・準備編」**18**、**19**ページ）

2つの音が混ざって聞こえる

- 音声切換が間違っていませんか。音声ボタンを押し、音声モードを切り換えます。（**29**ページ）

110度CSデジタル放送が受信できない

- BS・110度CSデジタル放送共用のアンテナ（市販品）を使用していますか。
- ブースターや分配器等をご使用になっている場合は、110度CS帯域（2150MHz）まで対応した機器に交換する必要があります。

電子番組表（EPG）が表示されない

- 電源を「入」にした後、最初に番組表を表示するときは、番組表データの受信に時間がかかります。しばらくお待ちください。

電子番組表（EPG）に表示されない番組がある

- 受信強度は60以上になっていますか。アンテナの向きなどを確認してください。（**141**ページ）

タイムシフト視聴ができない

- 録画先がDVDになっていませんか。（**120**ページ）
- 録画先がハードディスクになっていてタイムシフト視聴ができないときは、初期設定でタイムシフトが「しない」に設定されています。設置調整のシステム初期化を行い再度設定し直してください。（**139**ページ）

有料放送が視聴できない

- B-CASカードは正しく挿入されていますか。（別冊の取扱説明書「1.接続・準備編」**37**ページ）
- 有料放送を視聴するための契約はしていますか。（別冊の取扱説明書「1.接続・準備編」**38**ページ）
- 電話回線の接続や設定は正しいですか。（別冊の取扱説明書「1.接続・準備編」**24**、**33**ページ）

番組予約をしても110度CSデジタル放送が受信できない

- 予約している番組は有料ではありませんか。110度CSデジタル放送は、プロモーション放送など以外は、基本的に有料です。放送局との受信加入申込みを行ってください。

予約したのに実行されていない

- アンテナは正しく接続されていますか。（別冊の取扱説明書「1.接続・準備編」**14**～**17**ページ）
- 予約待機中に停電がありませんでしたか。
- ハードディスクが満杯になっていませんか。不要な録画番組をリストから消去してください。（**71**ページ）
- 他の録画をしていませんでしたか。
- 温度の低い場所で使用すると、ハードディスクが準備状態になることがあります。予約実行前しばらくの間、電源を「入」のままにしておきます。
- 電源プラグがコンセントから抜けていませんでしたか。（別冊の取扱説明書「1.接続・準備編」**27**ページ）
- 録画禁止または未契約の番組ではありませんか。（**52**ページ）

予約録画した内容が途中で切れている

- 予約録画実行中に電源プラグが抜けたり、停電がありませんでしたか。
- ハードディスクが満杯になっていませんか。不要な録画番組をリストから消去してください。（**71**ページ）
- 途中から録画禁止または未契約の番組が始まると、録画は中断されます。（**52**ページ）
- ディスクをクリーニングしてください。（**16**ページ）

予約録画した番組が消されている

- おこのみ番組は、自動的に上書き録画されます。（**54**、**113**ページ）

リストの録画番組が再生できない

- 記録時間が1分以下の録画番組は再生できません。

回線接続できない

- 電話線またはアンテナケーブルがはずれていませんか。（別冊の取扱説明書「1.接続・準備編」**14**～**17**、**24**ページ）
- 電話回線の設定は、お使いの電話回線に合っていますか。（別冊の取扱説明書「1.接続・準備編」**33**ページ）
- 電話機を使用中、または自動受信中ではありませんか。

i.LINK接続されない

- i.LINK機器に出力できる信号はデジタル放送だけです。（**154**ページ）
- 接続先の機器の電源は入っていますか。
- i.LINKケーブルがはずれていませんか。（**154**ページ）
- 接続先はD-VHSビデオデッキですか。本機はD-VHSビデオデッキのみ接続が可能です。（**154**ページ）

リスト（録画番組一覧）が表示されない

- タイムシフト視聴中や録画番組再生中は、リストを表示できません。停止／ライブボタンを押し、ライブ視聴に戻ってください。
- 温度の低い場所にあったものを使用すると、ハードディスクが準備状態になることがあります。しばらくお待ちください。
- ハードディスクの異常が考えられます。お買い上げの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口（**172**ページ）にご連絡ください。

このようなときも故障ではありません

アンテナへの積雪や豪雨などによる一時的な映像障害

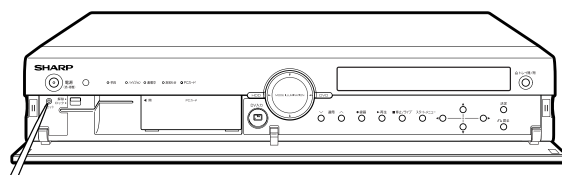
- 衛星放送は雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり、雪がアンテナに付着すると電波が弱くなり、一時的に画面や音声に雑音が出たり、ひどい場合にはまったく受信できなくなることがあります。これは気象条件によるもので、アンテナや本機の故障ではありません。



- 録画先が「ハードディスク」に設定されている状態で、地上放送を受信したときは、実際に録画される録画モードの画質となります。通常は録画モードを「FINE」に設定しておくことをおすすめします。
  録画モードを「FINE」以外に設定しているとき、再度電源を入れると録画モードは「FINE」になります。

おしらせ

- 本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより、正常に動作しないことがあります。そのようなときは一度電源を「切」にし、再度電源を入れ直してください。
- 電源を入れなおしても正常に動作しないときは、電源を「入」にしたまま、先の細い棒状のものでリセットボタンを押してください。



エラーメッセージについて

■DVD、メモリーカードに関するメッセージ

再生しようとしたディスクが正しくなかったり、操作を誤ったときは、テレビ画面に次のような表示が出ます。

テレビ画面表示	エラーの内容	対応
このディスクは再生できません	• ディスクに傷があるなど本機で再生できないディスクを入れたり、表裏逆に入れたとき、表示が出てディスクトレイが自動的に出てきます。 • リージョン番号が「ALL」以外、または「2」を含まないDVDビデオディスクを入れたとき	• ディスクを確かめて入れ直してください。
ディスクが入っていません	• ディスクトレイにディスクが入っていないとき	
この操作はできません	• 誤った操作をしたとき • この取扱説明書に記載されている操作を、ディスク側で禁止しているとき	――――
ディスクが保護されてます	• ディスク保護がされているディスクに録画や編集をしようとしたとき	• ディスク保護を解除するか、別の録画用ディスクを入れ直してください。
ディスクが修復できませんでした	• 録画中に停電があった場合、停電回復後データの修復を自動的に行いますが、その修復ができなかったとき	――――
ファイナライズできませんでした	• ディスクに傷、汚れなどがあるとき	• ディスクを確かめて入れ直してください。
この映像は録画が許されていません	• コピーガード信号が入った映像が入力されたとき	• 録画できません。
これ以上録画できません	• ディスクにタイトルが99タイトル録画されているとき • チャプターマークが200あるとき	• 不要なタイトルを消去してください。 • 不要なチャプターを消去してください。
このディスクは録画できません	• 本機で録画できないディスク（CD-Rなど）や傷、汚れのあるディスクがセットされているとき	• 録画用ディスクをセットし直してください。
DVカメラにテープが入っていません	• DV接続したデジタルビデオカメラにテープが入っていないとき	• デジタルビデオカメラにテープを入れてください。
初期化できませんでした	• ディスクに傷、汚れなどがあるとき	• ディスクを確かめて入れ直してください。 • 不要なタイトルを消去してください。
ディスクが満杯です。 録画・保存できません。	• ディスクの空き容量がないとき	• 空き容量のあるディスクを入れてください。
この映像はこのディスクでは録画できません	• 「1回だけ録画可能」の放送をCPRMに対応していないディスクで録画しようとしたとき	• VRモードで初期化したDVD-RW Ver1.1以降のCPRM対応ディスクを入れてください。
DVカメラが接続されていません	• デジタルビデオカメラを接続せずにDV入力にしたとき	• デジタルビデオカメラを接続し、もう一度DV入力に設定し直してください。
時刻を設定してください。	• 本機の時計合わせをしていないときに予約設定を行ったとき	• 時計合わせを行い、再度予約し直してください。
ディスクが満杯になりましたので 録画を停止しました	• ディスクの空き容量がなくなりました。	――――

テレビ画面表示	エラーの内容	対応
ディスク修復しています 操作できません。	• 停電などにより、ディスク情報が正しく書き込まれない状態で録画が停止した場合など	• ディスクの修復が完了するまでお待ちください。
規定外のディスクです ディスクを取出してください	• 規定外のディスクや傷などにより、録画・再生できないディスクが入っています。	• ディスクを取り出してください。
動作を中止しました	• メモリーカードアクセス中にPCカード扉を開いたとき	• PCカード扉を閉めてください。
データが読み込みできません	• メモリーカードが装着されていない状態・PCカードが認識できない状態で、カードモードにしたとき	• メモリーカードを確かめて装着しなおしてください。
ＪＰＥＧファイルがありません	• メモリーカードに本機で認識(再生)できるファイルが記録されていないとき	
再生できません	• 2MB以上の静止画(JPEGファイル)を再生しようとしたとき	• 2MB以下の静止画(JPEGファイル)を再生してください。
コピーできません	• メモリーカードまたはディスクがセットされていない状態でコピーしようとしたとき	• メモリーカードまたはディスクをセットしてください。
コピーできないファイルがありました	• すべての静止画をコピーしているとき、コピーできなかったファイルがあります。	――――

■受信に関するメッセージ

デジタル放送では、1つの電波で複数のチャンネルが送信できます。この中には現在放送されているチャンネルのほかに、これから放送が予定されているようなチャンネルの情報も含まれています。
どんなチャンネルがあるかを示す情報を受信することで、多チャンネルになっても希望するチャンネルを選択することができます。
このチャンネルを示す情報と実際の電波での放送状況により、テレビ画面に次のようなメッセージが表示されます。

テレビ画面表示	エラーの内容	対応
放送が受信できません。(E202)	• 選択したチャンネルの電波が送信されていないとき • 電波は送信されているが、大雨などで受信できないとき • BSデジタル／110度CSデジタル放送対応のアンテナが接続されていません。 • アンテナの方向が正しくなかったり、アンテナに電源が供給されず電波が受信できないとき	―――― • 天気の回復をお待ちください。 ―――― • アンテナの設置やアンテナの設定を確かめてください。
現在放送されていません。番組表などで放送時間を確認してください。	• 選択したチャンネルを含む電波は送信されているが、番組は放送されていないとき	• 番組表などで放送時間を確認してください。
○○○チャンネルが見つかりません。番組表などでチャンネルを確認してください。	• 選局したチャンネルがみつからないとき	• 番組表などでチャンネルを確かめてください。
○○○チャンネルのサービスは、この受信機では受信できません。	• 選局したチャンネルが受信できないとき	• 選局されたチャンネルとは別のチャンネルを選局してください。
放送チャンネルではないため、視聴できません。	• 選局したチャンネル(番組)が視聴できないとき	――――
降雨対応画面選択中です。 映像切換ボタンでもとの画面に戻ります。	• 電波は送信されているが、大雨などで受信できないとき	• 天気の回復をお待ちください。

■B-CASカードによるメッセージ

有料放送を受信するには、B-CASカードが必要となります。
B-CASカードと信号のやりとりをすることで、有料放送の契約状況が分かります。B-CASカードとの信号のやりとりの結果により、テレビ画面次のようなメッセージが表示されます。

テレビ画面表示	エラーの内容	対応
B-CASカードを正しく装着してください。	• 有料放送を受信するとき、B-CASカードが正しく装着されていない場合に表示されます。	• B-CASカードを本機前面扉内のB-CASカードスロットに差し込み、ロックスイッチでロックしてください。（別冊の取扱説明書「1.接続・準備編」**37**ページ）
このチャンネルは契約されていません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	• 有料放送事業者に契約を申し込んでいないとき • 申し込み後、契約情報が設定されるまでの期間に表示されます。	• ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまでご連絡ください。
このチャンネルはご覧いただけません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	• 契約したチャンネルの放送で、PPV番組など別契約が必要なとき	
契約期限が切れています。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	• 契約したチャンネルの契約期間が過ぎているとき	
このチャンネルは視聴条件により、ご覧いただけません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	• 契約上の制限によって視聴できないとき	
受付時間を過ぎていますので購入できません。	• PPV番組の購入可能な時間を過ぎているとき	
電話回線を接続のうえ、ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	• PPV番組の購入金額が有料放送事業者に電話回線で連絡できないため、PPV番組が購入できなくなったとき	
このB-CASカードには必要な情報がありません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	• B-CASカードに必要な情報がないとき	
B-CASカードの交換が必要です。	• B-CASカードの記憶装置に異常が発生したとき	• B-CASカスタマーセンターへご連絡ください。
このB-CASカードは使用できません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	• B-CASカードが正しくセットされていないとき	• B-CASカードを抜き差ししてみてください。（別冊の取扱説明書「1.接続・準備編」**37**ページ）それでも注意文が表示される場合は、B-CASカスタマーセンターおよびご覧のチャンネルのカスタマーセンターまでご連絡ください。
このカードは使用できません。 正しいB-CASカードを装着してください。	• 本機で使用できないカードを装着したとき	• 専用のB-CASカードを挿入してください。（別冊の取扱説明書「1.接続・準備編」**37**ページ）

■ハードディスクに関するメッセージ

テレビ画面表示	エラーの内容	対応
ハードディスクにエラーが発生しましたので操作できません。ライブ視聴のみ可能です。	• ハードディスクに問題がある場合、特殊再生や録画など、ハードディスクの動作が必要な操作を行ったとき	• ライブ視聴は可能ですが、なるべくお早めにお買い上げの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口（**172**ページ）にご連絡ください。
システムエラーが発生しました。 電源を「切」にします。	• 電源「入」のとき、ハードディスクに問題が生じたとき 自動的に電源が切れます。	――――
ハードディスクを確認中です。確認完了までは、ライブ視聴のみ可能です。	• 停電の後や、電源「入」のまま電源プラグを抜き差ししたとき	• ハードディスクの確認に1～2分かかる場合があります。その間は、ライブ視聴のみの動作となります。しばらくお待ちください。

■データ放送に関するメッセージ

テレビ画面表示	エラーの内容	対応
データの通信に失敗しました。	• データの通信に失敗したとき	• 電話回線の接続と設定を確認して、スタートメニューの「電話回線設定」を行ってください。（別冊の取扱説明書「1.接続・準備編」**24**、**33**ページ）
データが受信できません。	• データが受信できないとき	• 現在ご覧のチャンネルとは別のチャンネルをいったん選局した後、エラーが起こったデータ放送チャンネルを再度選局してください。
対象地域外のため、データを表示できません。	• 対象地域外のため、データを表示できないとき	• 現在ご覧のデータ放送チャンネルを終了し、別のチャンネルを選局してください。
この受信機では、データを表示できません。	• この受信機では、データを表示できないとき	• 現在ご覧のデータ放送チャンネルを終了し、別のチャンネルを選局してください。
データの表示に失敗しました。	• データの表示に失敗したとき	• 現在ご覧のチャンネルとは別のチャンネルをいったん選局した後、エラーが起こったデータ放送チャンネルを再度選局してください。

■特殊再生時のメッセージ

テレビ画面表示	エラーの内容	対応
正常に録画されていないため、操作できません。	• 録画が正常に行われなかったとき • 録画番組再生時、特殊再生の動作が一部制限されます。	――
ハードディスクの状態が悪いので操作できません。	• ハードディスクに異常があるとき、特殊再生などの操作を行ったとき	• ハードディスクの修理が必要ですので、お早めにお買い上げの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口（**172**ページ）にご連絡ください。
ハードディスクの準備中です。操作できません。	• ハードディスクが準備中のとき、特殊再生や録画など、ハードディスクの動作が必要な操作を行ったとき	• 準備が終わるまではライブ視聴のみ可能です。操作可能になるまで、しばらくお待ちください。（寒い場所で使用している場合など、ハードディスクの温度が低くなっていると、ハードディスクの準備に時間がかかることがあります。）

■その他のメッセージ

テレビ画面表示	エラーの内容	対応
本体背面のファンが正しく動作していません。背面のファンをご確認ください。 解消しない場合は電源を「切」にします。	• 後面パネルのファンが停止するなど、内部マイコンの動作がおかしくなったとき	• 電源を入れなおしてください。電源を入れなおしてもこの注意文が再度表示される場合は、本機前面扉内のリセットボタンを押してください。（**168**ページ）
アンテナ線がショートしています。 アンテナ線との接続を確認ください。	• アンテナ線がショートしているとき	• アンテナ線を確かめてください。（別冊の取扱説明書「1.接続・準備編」**14**～**17**ページ）

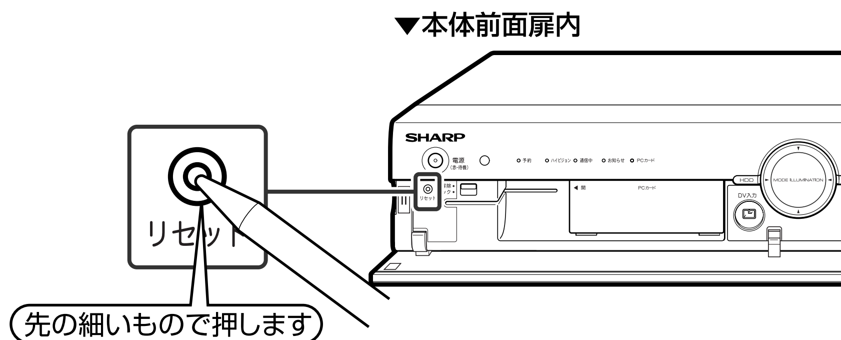
■ダウンロード時のメッセージ

テレビ画面表示	エラーの内容	対応
ただ今、ダウンロード受信中です。 ソフトウェアを新しいものに入れ替えています。 電源を抜いたりせず、 このまましばらくお待ちください。	• ダウンロード実行中のとき	• しばらくお待ちください。
ダウンロードによるソフトウェアの更新に失敗しました。 お客様相談センターまでご連絡ください。	• 何らかの理由でダウンロードがうまくいかなかったとき	• お客様相談センターにご相談ください。

リセットボタンについて

- 本機を使用中に、強い外来ノイズ（過大な静電気、または落雷による電源電圧の異常など）を受けた場合や誤った操作をした場合など、操作を受けつけなくなるなどの異常が発生することがあります。
- このようなときは、本機の電源を入れた状態で本機前面扉内のリセットボタンを押してから操作をやりなおしてください。
- リセット後は、いったん電源が「切」になります。再度電源を「入」にしてください。
  このとき、ご使用になれるまで多少時間がかかります。

▼本体前面扉内



おしらせ

- リセットボタンを押すと、D映像出力設定が「D1」に戻ります。「D1」以外に設定していた場合は、「設置調整」メニューの「映像・音声設定」で、D映像出力設定を再度行ってください。（**137**ページ）

本機は、MPEG2 AACに関する下記番号の特許を使用しています。

特許番号

5,848,391	5,291,557	5,451,954	5,400,433	5,222,189
5,357,594	5,752,225	5,394,473	5,583,962	5,274,740
5,633,981	5,297,236	4,914,701	5,235,671	07/640,550
5,579,430	08/678,666	98/03037	97/02875	97/02874
98/03036	5,227,788	5,285,498	5,481,614	5,592,584
5,781,888	08/039,478	08/211,547	5,703,999	08/557,046
08/894,844	5,299,238	5,299,239	5,299,240	5,197,087
5,490,170	5,264,846	5,268,685	5,375,189	5,581,654
5,548,574	5,717,821			

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
本機搭載のソフトウェアは、Independent JPEG Groupのソフトウェアを一部利用しております。

保証とアフターサービス

保証書（別添）

- 保証書は、「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。
  保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。

- **保証期間**
  お買い上げの日から1年間です。
  保証期間中でも、有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

ご不明な点や修理に関するご相談は

- 修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。（**172**ページ）

補修用性能部品の最低保有期間

- 当社は、デジタルハイビジョンレコーダーの補修用性能部品を製造打切後、8年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは　出張修理

- 「故障かな?と思ったら」（**160**ページ）を調べてください。それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容

- 品　　名：デジタルハイビジョンレコーダー
- 形　　名：DV-HRD1またはDV-HRD10
- お買い上げ日（年月日）
- 故障の状況（できるだけくわしく）
- ご住所（付近の目印も合わせてお知らせください）
- お名前
- 電話番号
- ご訪問希望日

便利メモ

お客様へ…
お買い上げ日・販売店名を記入されると便利です。

お買い上げ日	販売店名
年　月　日	電話（　　）　—

保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

愛情点検



長年ご使用のデジタルハイビジョンレコーダーの点検を！
こんな症状はありませんか？
- 電源コードやプラグが異常に熱い。
- 映像が乱れたり、きれいに映らない。
- その他の異常や故障がある。

以上のような症状のときは、スイッチを切り、プラグをコンセントから抜いて使用を中止し、故障や事故の防止のため必ず販売店に点検をご依頼ください。なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

仕様

品名			デジタルハイビジョンレコーダー	
型名			DV-HRD1	DV-HRD10
一般	ハードディスク容量		80GB（ギガバイト）	180GB（ギガバイト）
	電源電圧		AC 100V、50/60 Hz （専用ACアダプター使用）	
	消費電力		51W （本体のみ）	45W （本体のみ）
	待機時消費電力		1W以下 （本体のみ）	
	外形寸法		幅430mm、奥行283mm、高さ78mm	
	本体質量		5.9kg	5.6kg
	使用温度範囲		＋5℃～＋35℃	
	使用湿度範囲		10%～80%（結露なきこと）	
	動作姿勢		水平	
記録	録画可能ディスクメディア※		DVD-RW・DVD-R	
	再生可能ディスクメディア		DVDビデオ、ビデオCD、音楽CD、CD-RW・CD-R(音楽CDフォーマット、JPEG形式データ)、DVD-RW・DVD-R	
	記録圧縮方式 (ハードディスク)		映像： MPEG2(リアルタイムVBR) 音声： MPEG1(LAYER2)/MPEG2 AAC	
	記録圧縮方式 (DVD-RW/R)		映像： MPEG(リアルタイムVBR・・・VRモード) MPEG(CBR・・・ビデオモード) 音声： ドルビーデジタル(2ch)録画時間	
	録画時間 (ハードディスク)	デジタル放送	HD（ハイビジョン放送）：約7時間 SD（スタンダード放送）：約20時間	HD（ハイビジョン放送）：約16時間 SD（スタンダード放送）：約48時間
		アナログ放送	FINE：約18時間 SP：約30時間 LP：約68時間 EP：約110時間	FINE：約43時間 SP：約71時間 LP：約161時間 EP：約258時間
	録画時間 (DVD-RW/R:4.7GB時)		FINE： 約1時間 SP：約2時間 LP： 約4時間 EP： 約6時間（VRモード時のみ）	
再生	再生可能ディスク		DVDビデオ DVD-RW DVD-R 音楽用CD ビデオCD CD-R （ビデオCDフォーマット／音楽用CDフォーマット／JPEGファイル形式の静止画） CD-RW （ビデオCDフォーマット／音楽用CDフォーマット／JPEGファイル形式の静止画）	
チューナー	受信チャンネル	BSデジタル	000～999ch	
		110度CSデジタル	000～999ch	
		VHF	1～12ch	
		UHF	13～62ch	
		CATV	C13～C63ch	
タイマー	予約番組数		1年30番組	

※ 今後、各社から発売予定の高速記録用DVD-R/RWディスクを使用した場合、通常の録画･再生（1倍速）は可能です。
本機は、高速記録には対応していません。

入出力端子	映像入力	入力1、入力2の2系統 ピンジャック：1 V p-p(75Ω不均衡)
	S映像入力	入力1、入力2の2系統 4ピンミニDIN： Y＝1 V p-p(75Ω不均衡) C＝0.286 V p-p(75Ω不均衡)
	音声入力	入力1、入力2の2系統 ピンジャック(L/R)：2 V rms (入力インピーダンス 22kΩ以上)
	DV 入力	4ピン(i.LINK/IEEE1394準拠)1系統
	映像出力	ピンジャック：1 V p-p(75Ω不均衡)
	S映像出力	4ピンミニDIN： Y＝1 V p-p(75Ω不均衡) C＝0.286 V p-p(75Ω不均衡)
	音声出力	ピンジャック(L/R)：2 V rms (1kHz 0dB、出力インピーダンス 1.5kΩ以下)
	デジタル音声出力	光コネクタ：角形光ジャック1系統
	D1/D2/D3/D4映像出力	Y：1.0 V p-p(75Ω不均衡) C_B、C_R：0.7 V p-p(75Ω不均衡)
	i.LINK入出力端子 (MPEG-TS)	1系統(i.LINK/IEEE 1394準拠)
	BS・110度CSアンテナ入出力	1系統 75Ω不平衡型(F型)
	VHF/UHFアンテナ入出力	VHF/UHF1軸 75ΩF型コネクター
	電話回線端子	モジュラー式　V.22bis (2400bps)
カードスロット	スロット	PCMCIA-TYPEⅡ(3.3V/5.0V)
	対応カード (PCカードスタンダートに準拠したメモリーカード)	ATA Flash メモリーカード　MMC SDメモリーカード　スマートメディア コンパクトフラッシュ　メモリースティック
	フォーマット	FAT16/FAT12
静止画方式(JPEG)	画像ファイル形式(JPEG)	JPEGベースライン準拠/JPEG(Exif2.2) ※Design rule for Camera File System(DCF)準拠
	再生可能ファイルサイズ	容量：最大2MB
付属品	ワイヤレスリモコン、映像・音声コード、75Ω同軸ケーブル (両側F接栓ケーブル)、モジュラー分配器、電源コード、AC アダプタ、電話線、B-CASカード(B-CASユーザー登録はがき、B-CASカード使用許諾契約約款付き)、単3形乾電池2個、取扱説明書(本書)、取扱説明書「1.接続・準備編」、保証書	

※ DCFは、(社)電子技術産業協会(JEITA)の規格「Design rule for Camera File System」の略称です。

- 仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。
- 海外では使用できません。このデジタルハイビジョンレコーダーは日本国内のみで、外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。<This Digital Hi-Vision Recorder is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.>
- あなたがテレビ（ラジオ）放送や録画（レコード録音）物などから録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上の権利者に無断で使用できません。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、シャープお客様ご相談窓口へご連絡ください。

転居や贈答品などで、保証書記載の販売店にご相談できない場合は、下記窓口にご相談ください。

- 製品の故障や部品のご購入に関するご相談は ………… **修理相談センター** へ
- 製品のお取扱い方法、その他ご不明な点は …………… **お客様相談センター** へ

修理相談センター

● **修理相談センター（沖縄・奄美地区を除く）**

■受付時間　＊月曜～土曜：午前9時～午後6時　＊日曜・祝日：午前10時～午後5時　（年末年始を除く）



0570 - 02 - 4649

当ダイヤルは、全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
呼出音の前に、NTTより通話料金の目安をお知らせ致します。

（注）携帯電話・PHSからは、下記電話におかけください。

		＜東日本地区＞	＜西日本地区＞
○携帯電話／PHSでのご利用は ……………	一般電話	043 - 299 - 3863	06 - 6792 - 5511
○FAXを送信される場合は ……………………	F　A　X	043 - 299 - 3865	06 - 6792 - 3221

○沖縄・奄美地区については、下表の「那覇サービスセンター」にご連絡ください。

◎ **持込修理および部品購入のご相談** は、上記「修理相談センター」のほか、下記地区別窓口にても承っております。

■受付時間　＊月曜～土曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）

〔但し、沖縄・奄美地区〕は……＊月曜～金曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）

担当地域	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
北海道地区	札幌サービスセンター	011-641-4685	〒063-0801	札幌市西区二十四軒1条7-3-17
東北地区	仙台サービスセンター	022-288-9142	〒984-0002	仙台市若林区卸町東3-1-27
関東地区	さいたまサービスセンター	048-666-7987	〒330-0038	さいたま市宮原町2-107-2
	宇都宮サービスセンター	028-637-1179	〒320-0833	宇都宮市不動前4-2-41
	東京テクニカルセンター	03-5692-7765	〒114-0013	東京都北区東田端2-13-17
	多摩サービスセンター	042-586-6059	〒191-0003	日野市日野台5-5-4
	千葉サービスセンター	047-368-4766	〒270-2231	松戸市稔台295-1
	横浜サービスセンター	045-753-4647	〒235-0036	横浜市磯子区中原1-2-23
東海地区	静岡サービスセンター	0543-44-5781	〒424-0067	清水市鳥坂1170
	名古屋サービスセンター	052-332-2623	〒454-8721	名古屋市中川区山王3-5-5
北陸地区	金沢サービスセンター	076-249-2434	〒921-8801	石川郡野々市町御経塚町4-103
近畿地区	京都サービスセンター	075-672-2378	〒601-8102	京都市南区上鳥羽菅田町48
	大阪テクニカルセンター	06-6794-5611	〒547-8510	大阪市平野区加美南3-7-19
	神戸サービスセンター	078-453-4651	〒658-0082	神戸市東灘区魚崎北町1-6-18
中国地区	広島サービスセンター	082-874-8149	〒731-0113	広島市安佐南区西原2-13-4
四国地区	高松サービスセンター	087-823-4901	〒760-0065	高松市朝日町6-2-8
九州地区	福岡サービスセンター	092-572-4652	〒816-0081	福岡市博多区井相田2-12-1
沖縄･奄美地区	那覇サービスセンター	098-861-0866	〒900-0002	那覇市曙2-10-1

お客様相談センター

■受付時間　＊月曜～土曜：午前9時～午後6時　＊日曜・祝日：午前10時～午後5時　（年末年始を除く）

東日本相談室	TEL **043 - 297 - 4649**	FAX **043 - 299 - 8280**	〒261-8520 千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2
西日本相談室	TEL **06 - 6621 - 4649**	FAX **06 - 6792 - 5993**	〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3-1-72

●所在地・電話番号などについては変更になることがありますので、その節はご容赦願います。（03.02）

用語の解説

用語	説明
AAC	デジタル放送の音声圧縮方式です。
B-CAS カード（ビーキャスカード）	各ユーザー独自の番号などが記載されている、BS・110度CSデジタル放送視聴用ICカードのことです。ユーザー登録し、B-CASカードを受信機に挿入すると、双方向サービスの利用が可能となり、放送局からのメッセージを受信できるようになります。また、有料放送の視聴を希望される場合やNHKとの受信確認、そして、今後予定されている各種双方向サービスを希望される場合などにも登録済みカードが必要になります。
BSデジタル放送	2000年12月から本格サービスが開始された新しい衛星放送で、従来のBS（アナログ）放送に比べ、より高画質で多チャンネルの放送を楽しむことができます。さらに、BSデジタル放送では、高品位のデジタル音声放送（BSラジオ）、ニュース・スポーツ・番組案内などの情報提供、オンラインショッピングやクイズ番組への参加が可能なデータ放送など、多彩なサービスを行います。
110度CSデジタル放送	BSデジタル放送の放送衛星（BS）と同じ東経110°に打ち上げられた通信衛星（CS）を利用した新しいデジタル放送です。放送サービスは「プラットワン」と「スカイパーフェクトTV！2」の2つのプラットフォーム（運営会社）によって提供され、BSデジタル放送と同じく、テレビ、ラジオ、データのチャンネルがあります。細かいジャンルに特化した多数の専門チャンネルの中から見たいチャンネルを購入して視聴する仕組みになっています。一部、無料放送もあります。
CATV	ケーブルテレビ（有線放送）のことです。
DTS	デジタルシアターシステムズ社が開発した、劇場向けデジタル音声システムのことです。音声6chを使って、正確な音場定位とリアルな音響効果が得られます。DTS対応プロセッサやアンプとの接続で映画館のような音声が楽しめます。
EPG（Electronic Program Guide）	BS・110度CSデジタル放送で送られてくる番組情報のデータを使って画面で見られるようにした電子番組表のことです。
JPEGファイル	静止画ファイルを圧縮する技術の1つです。ファイル容量を小さくできるので、デジタルカメラやインターネットなどで、広く使われています。
PPV（Pay Per View）	「ペイパービュー」と読みます。番組単位で購入契約が必要な有料番組のことです。
VBRコントロール	Variable Bit Rateコントロールの略で、動きの速い部分や色の移り変わりの激しいところなどの複雑な映像には符号量を多く割り当てて、逆の場合には少なく割り当てるというようにビットレート（一定時間に転送する符号量）を可変で制御することです。
インターレース（とび越し走査）	テレビは525本の走査線のうち、まず奇数番目の走査線（262.5本）を1/60秒で描きます。（この1画面を1フィールドと言います。）次に偶数番目の走査線（262.5本）を1/60秒で描きます。これで、合わせて走査線525本の1枚の完全な画像（この画像を1フレームと言います。）を作っていく方式のことです。
コピーガード	複製防止機能のことです。著作権者等によって複製を制限する旨の信号が記録されているソフトおよび放送番組は録画することができません。
視聴制限（パレンタルレベル）	デジタル放送やDVDビデオディスクの中には、視聴者の年齢に合わせて、ディスクを見るための規制レベルが設定されているものがあります。そのような放送やディスクを視聴したときの規制レベルを本機は設定することができます。
初期化	DVD-RWディスクを本機で使用できるようにすることです。 初期化すると、録画されていた番組が全て消去されます。
スキップ	再生中のチャプター（トラック）の先頭に戻る、または次のチャプターに進む機能です。
スライドショー	メモリーカードやディスクに記録されている静止画（JPEGファイル）を一定間隔で次々と表示していく機能です。
タイトル	本機で録画した番組の1つをタイトルといいます。
タイムシフト	本機は、電源を入れているあいだ中、放送中の番組をハードディスクに自動録画するしくみになっています。自動録画された番組はいろいろな再生のしかたで視聴することができます。タイムシフトは、「初期設定」時の「タイムシフトの設定」で「する」を選択したときに働きます。
チャプター	ディスクのタイトル中にある章をチャプターといいます。

用語	説明
チャンネルスキップ	本体のチャンネル選局をしたときに放送のないチャンネルをとばして選局できる機能です。
つづき再生	ディスクの再生中に一度停止すると、停止した位置を本機がメモリーし、停止した位置から続けて再生することができる機能です。
ディスクメニュー	DVDビデオディスクに記録されているメニューで、字幕の言語や吹き替え音声などを選ぶことができます。
トップメニュー	DVDビデオディスクで、再生するチャプターや字幕の言語などを選ぶメニューのことです。DVDビデオディスクによっては、トップメニューのことを「タイトル」と呼んでいるものもあります。
トラック	音楽用CDなどの各曲をトラックといいます。
ドルビーデジタル（5.1ch）	ドルビー社が開発した立体音響効果のことをいいます。ドルビーデジタル（5.1ch）対応プロセッサやアンプとの接続で、映画館のようなディスクの再生音声が楽しめます。
ハイビジョン放送	BSデジタルハイビジョン高画質放送のことです。現行の地上波テレビ放送が525本の走査線で表示しているのに対し、BSハイビジョン放送は750本や1,125本の走査線を使用しているため、より緻密で高画質な映像を楽しめます。BSデジタル放送では、番組によって「デジタルハイビジョン映像」と「デジタル標準映像」という異なる画質で放送されています。
4：3　PS パンスキャン	4：3のテレビと本機を接続しワイド（16：9）記録のディスクを再生したときに、再生画像の左右をカットし4：3のサイズにする機能です。 テレビ画面
ピックアップレンズ	ディスクに記録されている信号を、光学的に読み取る部分のことです。
ファイナライズ	DVD-RWやDVD-Rに対応した他のDVDプレーヤーで、本機で録画したディスク（ビデオモード）を再生できるようにすることです。（全てのDVDプレーヤーでの再生を保証するものではありません。） VRモードのディスクを再生できるDVDプレーヤーは「RW COMPATIBLE」のマークの付いたDVDプレーヤーです。
フォルダ	ディスクやメモリーカード内のファイルは、管理しやすくするために、いくつかのグループに分けて保存されています。このグループのことを「フォルダ」といいます。
プレイバックコントロール（PBC）	ビデオCDの再生方式の一つで、再生したときに画面に表示される情報を対話形式で選ぶことができる機能です。
プログレッシブ	とび越し走査（インターレース）しないで1フィールド目で525本の走査線を順番通りに描き、次のフィールドで再度同じ場所を525本全部の走査線で描いていく順次走査のことです。
マルチアングル	DVDビデオディスクの特長の一つで、同じ画像を角度を変えて撮影したものを、一枚のディスクに収録し、アングルを変えて再生画像を楽しめる機能です。（マルチアングル記録のディスクで楽しめる機能です。）
マルチ音声	DVDビデオディスクの特長の一つで、同じ画像に対して異なる音声をいくつも記録し、音声を切り換えて楽しめる機能です。（マルチ音声記録のディスクで楽しめる機能です。）
メモリーカード	デジタルカメラやパソコンなどで普及しているカード型の記憶装置です。専用のPCカードアダプターに挿入して、機器に装着します。
リージョン番号（再生可能地域番号）	DVDは、各国に合わせて再生できるソフトが決められています。その再生できるディスクの番号をリージョン番号といいます。
リニアPCM音声	音楽用CDに用いられている信号記録方式です。
リモコン番号	本機を操作するためのリモコンの信号の種類です。リモコンの番号は、「リモコン番号1」「リモコン番号2」の2種類があります。
4：3　LB レターボックス	4：3のテレビと本機を接続しワイド（16：9）記録のディスクを再生したとき、上下に黒い帯のある画像で再生される機能です。

録画や再生時の時間表示について

本機の録画や再生時間は、実際の録画・再生時間より0.1％程度短く表示されます。放送などの映像では、1秒あたり29.9フレームの映像が送られてきます。本機では便宜上30フレームを1秒として計算しています。

このため、約0.1％時間が短く表示されます。

例えば、1時間録画を行うと、実際に1時間分録画が行われます。しかし、本機の時間表示は、「60分×0.999＝59.94分＝59分56秒」となります。

項目別さくいん

DVD再生中に行う設定

ディスクの再生中に行う設定です。主に、DVDビデオを再生するときに働きます。

編集に関する設定

録画を行ったDVD-R/DVD-RWを編集するときに働きます。

停止中に行う設定

ディスクの停止中、またはディスクが入っていないときに働きます。

さくいん

た

な

次ページへつづく ▶▶▶

● 製品についてのお問い合わせは・・			
お客様相談センター	東日本相談室	TEL **043 - 297 - 4649**	FAX **043 - 299 - 8280**
	西日本相談室	TEL **06 - 6621 - 4649**	FAX **06 - 6792 - 5993**
《受付時間》　月曜～土曜：午前9時～午後6時　日曜・祝日：午前10時～午後5時　（年末年始を除く）			

● 修理のご相談は・・	172ページ記載の『お客様ご相談窓口のご案内』をご参照ください。
● シャープホームページ	http://www.sharp.co.jp/

シャープ株式会社

本　　　　　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号
AVシステム事業本部　〒329-2193　栃木県矢板市早川町174番

この取扱説明書は再生紙を使用しています。



アメリカ大豆協会認定の大豆油インキを使用しています。

TINS-A740WJZZ
02P11-JWM